



## ワインク

MNS1(5)A1 - B120(90)UDA

MNT1(5)A1 - B120(90)UDA

MNS1(5)A1 - B120(90)TUDA

MNT1(5)A1 - B120(90)TUDA

MNS1(5)F - 120(90)UDA

MNT1(5)F - 120(90)UDA

MNS1(5)F - 120(90)TUDA

MNT1(5)F - 120(90)TUDA

## 取扱説明書

## 取付・設置説明書

このたびは、お買い上げいただき  
ありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みになって、  
正しく又末永くお使いください。

■取扱説明書は、いつでも見られる場所に  
必ず保管し、必要な時にお読みください。

## もくじ

### 取扱説明書

・安全上のご注意	1～2
・各部の名称	3～4
・ご使用に際して	5～9
・お手入れ方法	9
・ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについて	9
・アフターサービスについて	9
・ホルムアルデヒド発散区分	9

### 取付・設置説明書

・安全上のご注意	10～11
・取付・設置前の確認	11
・製品寸法図	11～15
・取付・設置スペースの確認	16
・部品の確認	17～21
・部品の取付け	22～29
・ユニット本体の組立て	30～32
・中板の取付け	33
・スリット化粧板の取付け	34
・スライドコンセントの取付け	35
・ガイドローラー金具の取付け	36
・ワイヤーの取付け	37～38
・上下スライド扉の取付け	39
・上下スライド扉の固定	40
・上下スライド扉の調整	41～43
・外側板の取付け	44～45
・外側板の固定	46
・ユニット本体の固定	47
・アルミ棚板の取付け	48
・木製棚板の取付け	49
・引出しの取付け	50～51
・スライドボードの取付け	52
・カバーキャップの取付け	52
・アルミ引き戸の取付け	53～55
・アース付コンセントの取付け【電気工事】	56
・取付・設置後の確認	57
・取付・設置後の点検・清掃	57
・ホルムアルデヒド発散区分	57

# 取扱説明書

## 安全上のご注意

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結び付くものです。

安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 <b>注意</b>	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

### **警告**

分解・修理・改造は絶対にしないでください。



分解禁止

スライドコンセントの表示容量（ワット）を超える電気器具を使わないでください。



1200Wまで



発熱により、火災の原因になることがあります。

スライドコンセントに水をかけないでください。

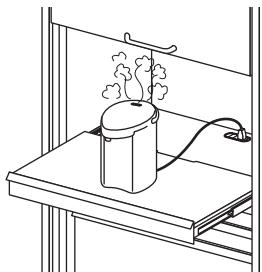


感電や火災の原因になることがあります。

感電、発火、ケガ、異常動作の原因になります。故障と思われた時は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社にご連絡ください。

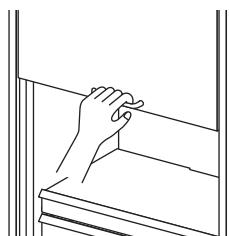
**!** 注意

電化製品をご使用になる時は、必ずスライドボードを引出してください。



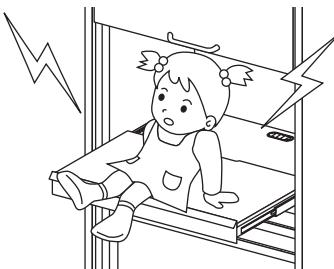
炊飯器、電気ポット、オーブントースター等の水蒸気や高温の熱がユニット内にこもり、本体の変形の原因になります。また、水蒸気が電化製品のコンセントに付着して、感電や故障の恐れがあります。

上下スライド扉の開閉は、必ず把手を持って行ってください。



指等をはさんだり、思わぬケガをする恐れがあります。

上下スライド扉や把手、引出し、スライドボードにぶら下がったり、体重をかけたりしないでください。



ケガや破損の恐れがあります。

金属部のお手入れの際は、必ず手袋を着用してください。



手袋着用



鋼板の切り口や角で手を切る恐れがあります。

アルミ引き戸の開閉は、ツマミを持って、静かに行ってください。



指等をはさんだり、思わぬケガをする恐れがあります。

上下スライド扉を閉める際は、引出しやスライドボードが閉まっていることを確認してください。



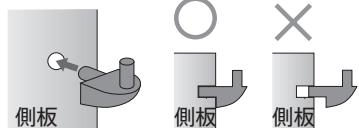
上下スライド扉が引出しやスライドボードに当たって、ケガや破損の恐れがあります。

棚板、引出し、スライドボードには指定の荷重以上載せないでください。



載せているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

棚受け（ダボ）は確実に奥まで差し込んでください。



棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。

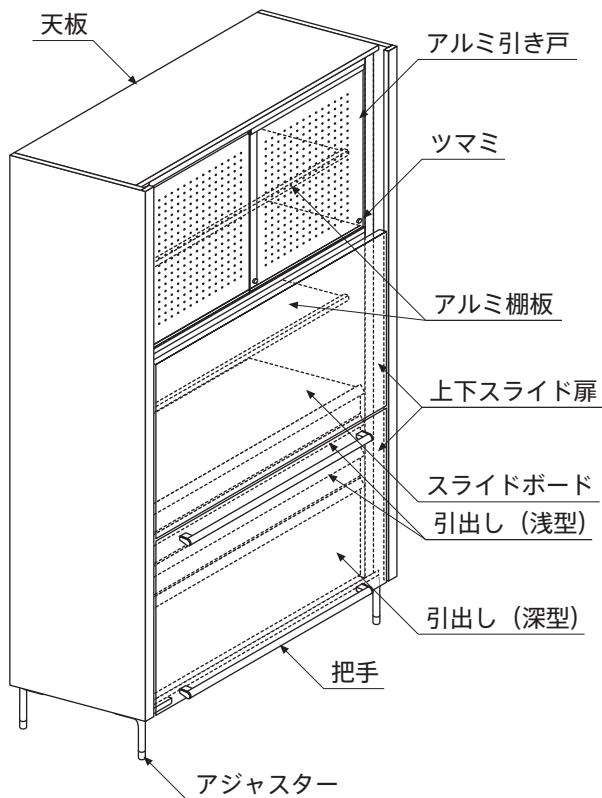
濡れた手でコンセントにさわらないでください。



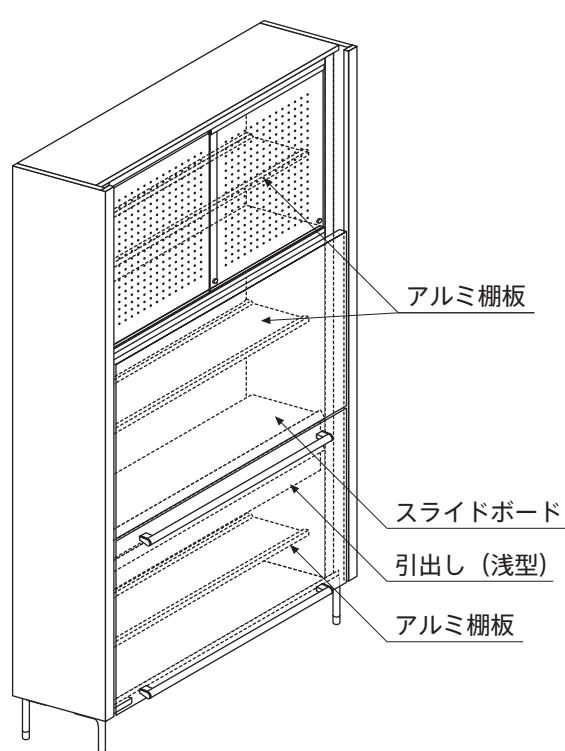
感電する恐れがあります。

## 各部の名称

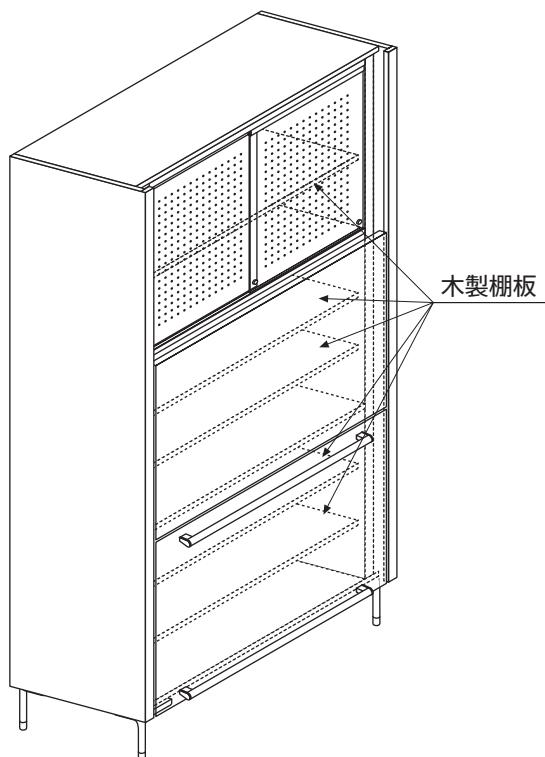
MNS1(5)A1 - B120(90)UDA



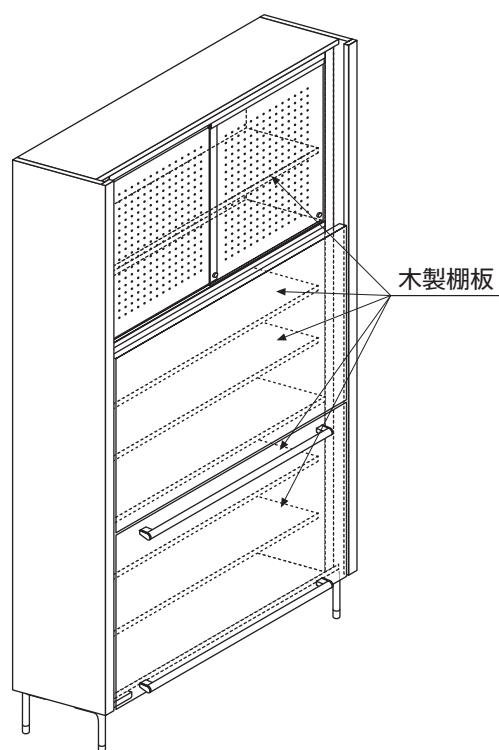
MNT1(5)A1 - B120(90)UDA



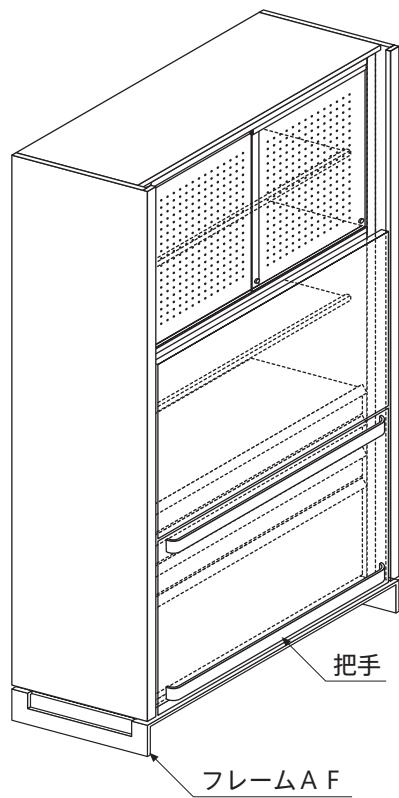
MNS1(5)A1 - B120(90)TUDA



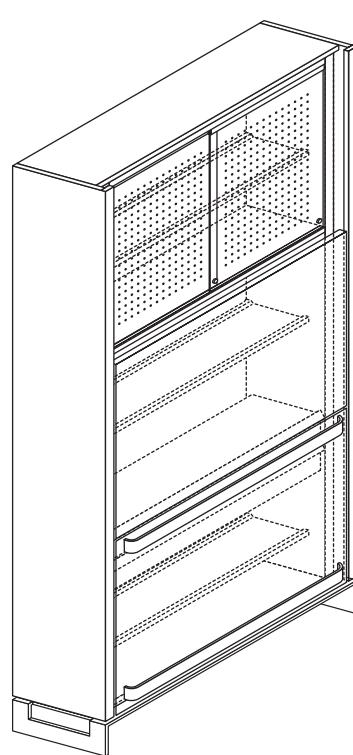
MNT1(5)A1 - B120(90)TUDA



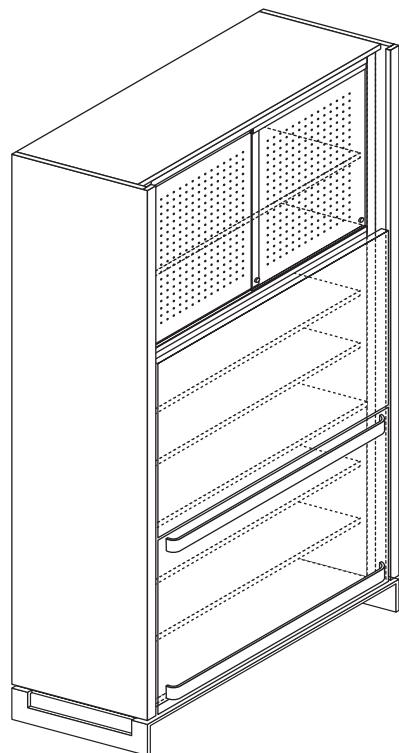
MNS1(5)F - 120(90)UDA



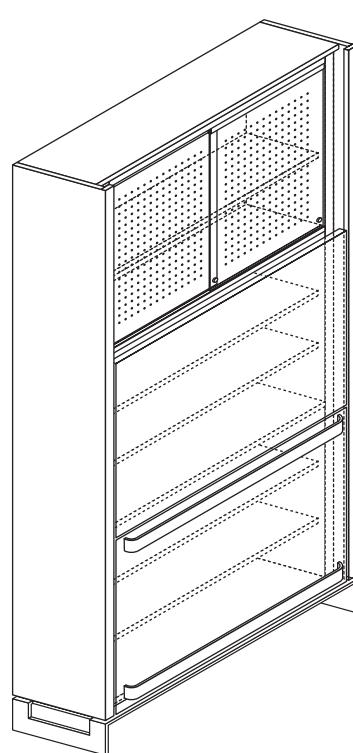
MNT1(5)F - 120(90)UDA



MNS1(5)F - 120(90)TUDA



MNT1(5)F - 120(90)TUDA



## ご使用に際して

### 1. 上下スライド扉の開閉について

上下スライド扉の開閉は静かに行ってください。

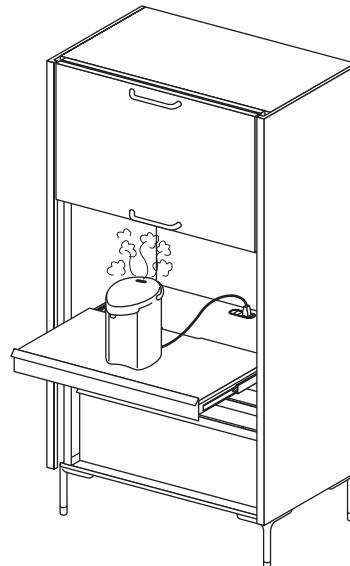
上下スライド扉を勢いよく開けると、上下スライドシステムが破損する恐れがあります。

### 2. スライドボードについて

**【MNS(T)1(5)A1 - B120(90)UDA、  
MNS(T)1(5)F - 120(90)UDAの場合】**

電化製品をご使用になる時は、必ずスライドボードを引出してください。

炊飯器、電気ポット、オーブントースター等の水蒸気や高温の熱がユニット内にこもり、本体の変形の原因になります。また、水蒸気が電化製品のコンセントに付着して、感電や故障の恐れがあります。

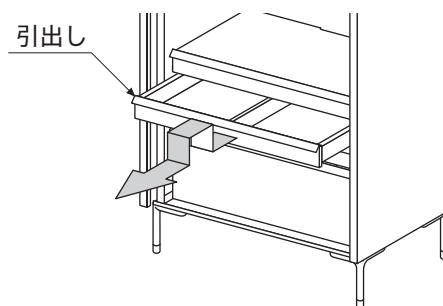


### 3. 引出しの取り外し、取付け

**【MNS(T)1(5)A1 - B120(90)UDA、  
MNS(T)1(5)F - 120(90)UDAの場合】**

#### [取り外し]

- ・引出しがいっぱいまで引出し、手前を持ち上げて取り外してください。  
※必ず両手で引出しが持て取り外してください。



#### [取付け]

- ・引出しレールをいっぱいまで引出してください。（図1）
- ・引出しレールの上に引出しが乗せてください。（図2）
- ・引出しが「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引出しレールに固定します。（図3）

図1

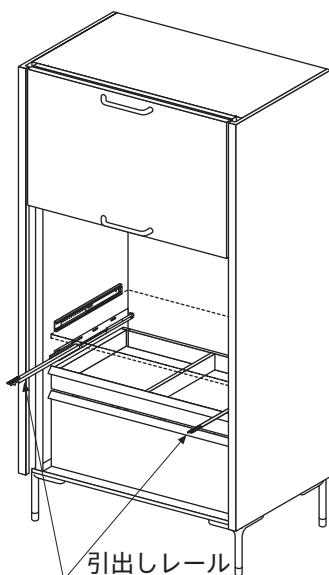


図2

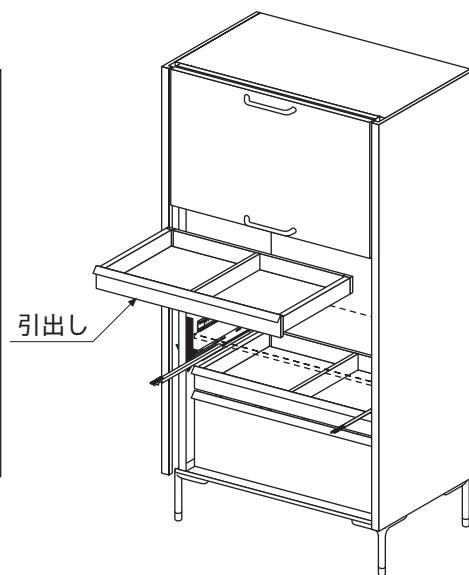
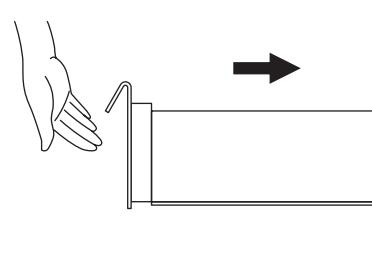


図3

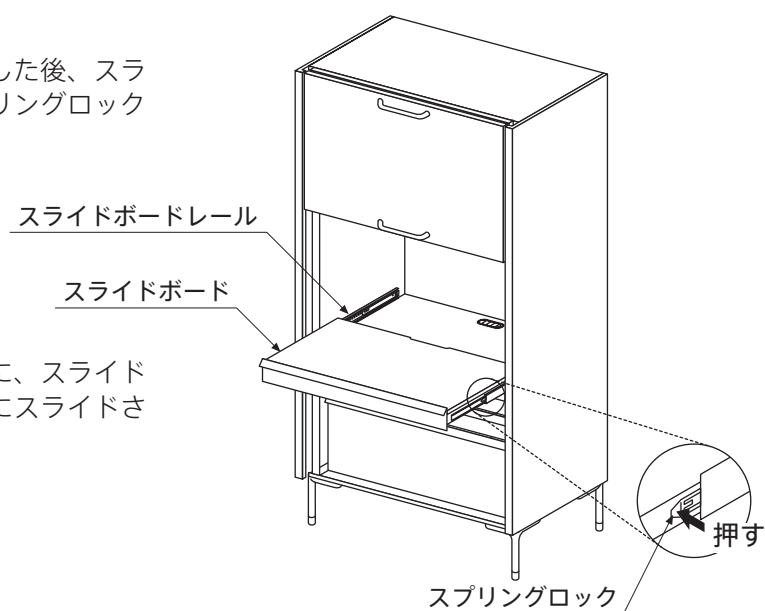


#### 4. スライドボードの取り外し、取付け

【MNS(T)1(5)A1 - B120(90)UDA、MNS(T)1(5)F - 120(90)UDAの場合】

##### [取り外し]

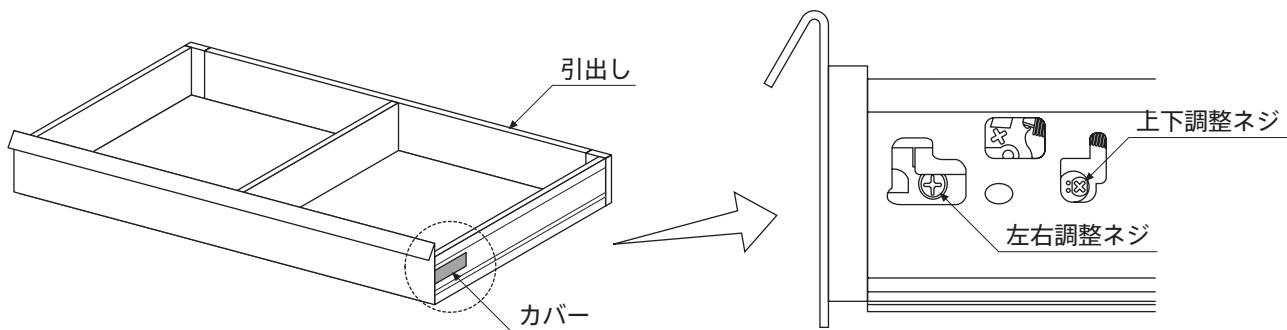
- スライドボードをいっぱいまで引出した後、スライドボードレールについているスプリングロックを押しながら、さらに引出します。



#### 5. 引出し前板の調整

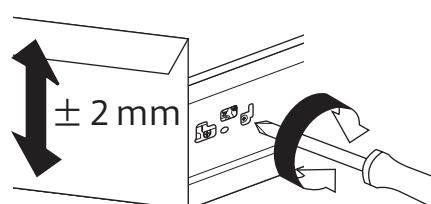
【MNS(T)1(5)A1 - B120(90)UDA、MNS(T)1(5)F - 120(90)UDAの場合】

- 引出しの側板左右外側についているカバーをマイナスドライバー等で外してください。
- 調整が終わりましたら、カバーを取付けてください。



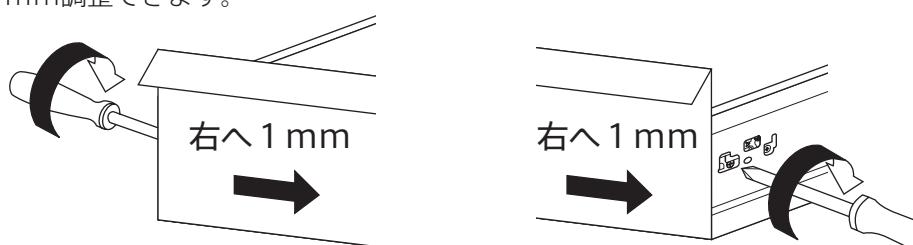
##### [上下方向の調整]

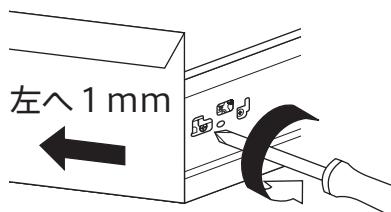
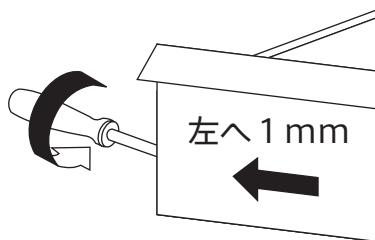
- 上下調整ネジを+ドライバーで回して、引出し前板の上下方向を調整します。
- ±2 mm調整できます。



##### [左右方向の調整]

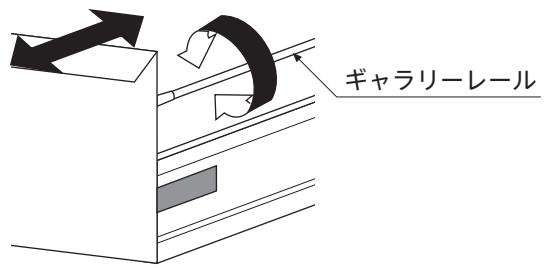
- 左右調整ネジを+ドライバーで回して、引出し前板の左右方向を調整します。
- ±1 mm調整できます。





#### [前板の傾き調整]

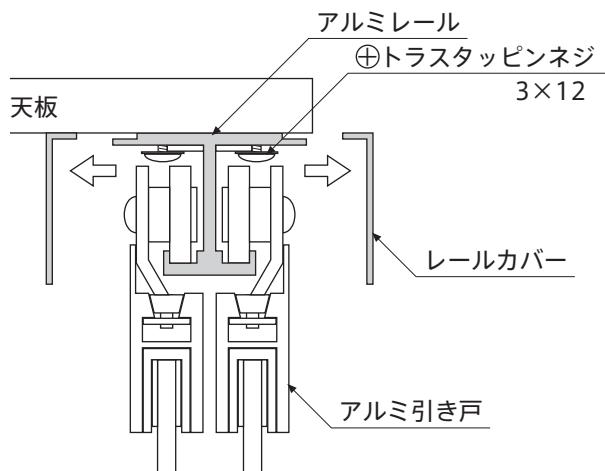
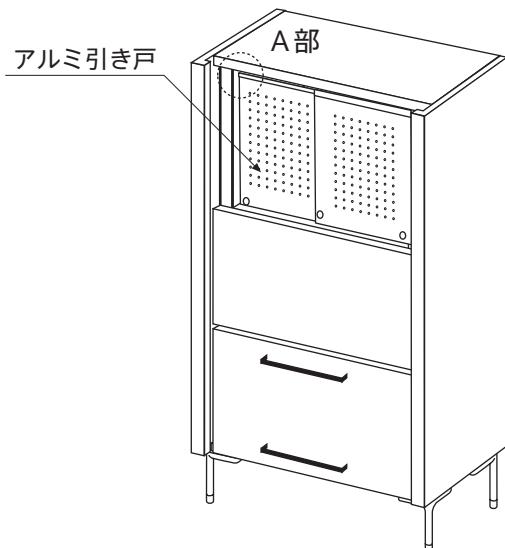
- ※MNS1(5)A1 - B120(90)UDA、  
MNS1(5)F - 120(90)UDAの引出し（深型）  
のみ調整できます。  
・ギャラリーレールを回して、引出し前板の傾き  
を調整します。



## 6. アルミ引き戸の調整

### ■レールカバーの取り外し

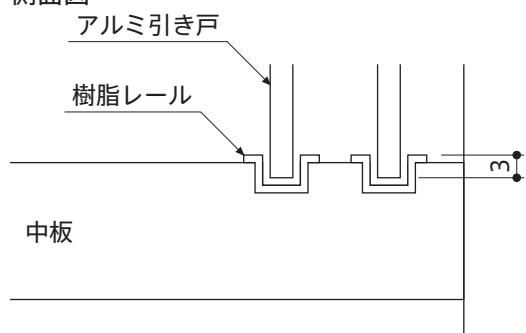
- ・アルミレールとストッパーを固定しているネジ（⊕トラスタッピンネジ3×12）をゆるめます。（アルミ引き戸を片側ずつ開けて行ってください。）
  - ・レールカバーを取り外します。
- ※全ての調整が終わりましたら、レールカバーを取付け、ゆるめたネジを締めてアルミレールとストッパーを固定してください。



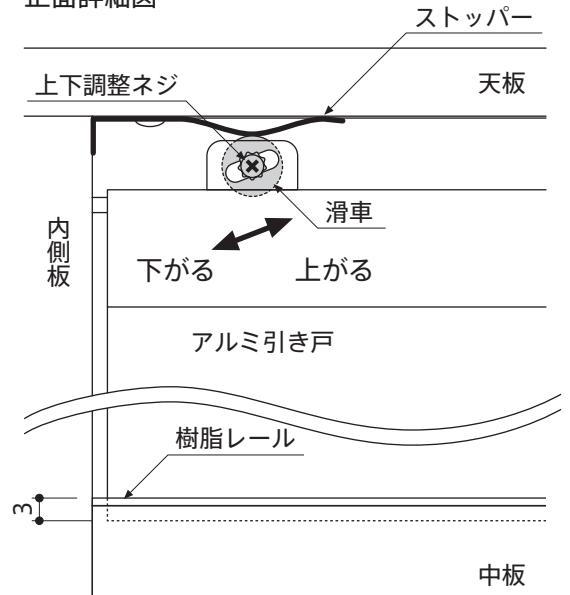
### [上下方向の調整]

- ・アルミ引き戸の滑車の上下調整ネジをゆるめます。
  - ・アルミ引き戸を斜めに移動させ、上下方向を調整します。
- ※アルミ引き戸の下面が樹脂レールに3mm入るように調整します。
- ・調整が終わりましたら、上下調整ネジを締めてアルミ引き戸を固定してください。

### 側面図



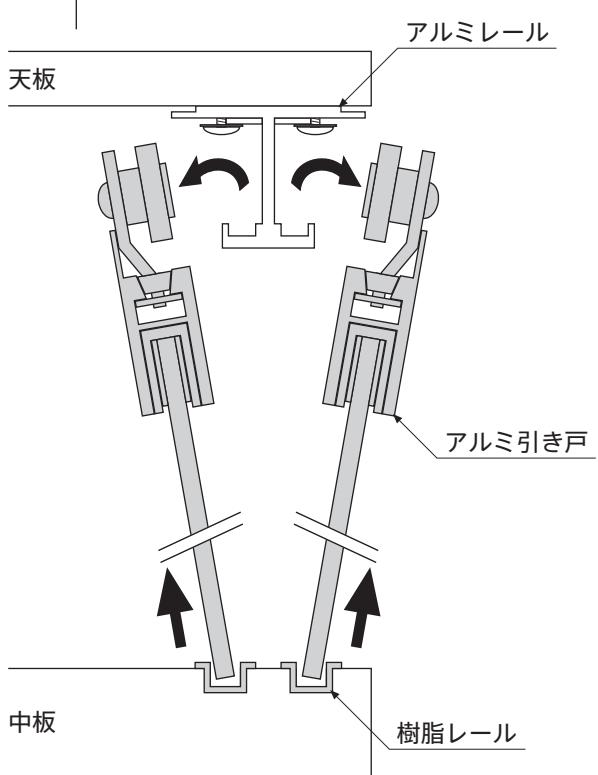
### 正面詳細図



### ■アルミ引き戸の取り外し

- ・前方のアルミ引き戸を両手で持ち上げ、アルミレールから外し、樹脂レールから引き抜きます。
- ・後方のアルミ引き戸も同様にして取り外します。

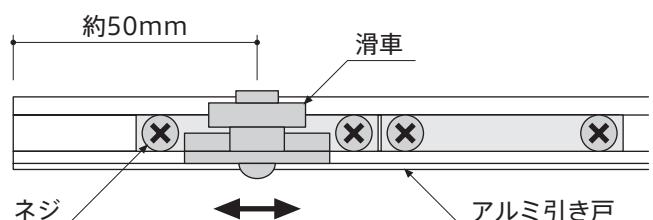
※調整が終わりましたら、取り外した逆の手順から行い、アルミ引き戸を取付けてください。



### [左右方向の調整]

- ・アルミ引き戸上部の滑車の左右のネジをゆるめ、左右に移動させて調整します。
- ※滑車の位置は、「上下方向の調整」の「正面詳細図」のようにストッパーの弧の頂点に滑車の頂点が当たるようにしてください。  
(目安としては、滑車の中心がアルミ引き戸の端から約50mmの位置になります。)
- ・調整が終わりましたら、ネジを締めて滑車を固定してください。

### アルミ引き戸上面詳細図



## 7. 漂白剤・シンナー・ベンジン等は、絶対に使用しないでください。

変質・変色する恐れがあります。

## 8. 耐荷重

※5kg … 直径20cmのお皿15枚程度を目安にしてください。

※均等に物をのせた場合の耐荷重です。

	MNS1(5)A1 - B120(90)***** MNS1(5)F - 120(90)*****	W=900	W=1200	MNT1(5)A1 - B120(90)***** MNT1(5)F - B120(90)*****	W=900	W=1200
木製棚板1段につき	<b>10kg</b>	<b>5kg</b>		<b>15kg</b>		
アルミ棚板1段につき	<b>15kg</b>	<b>10kg</b>		<b>15kg</b>	<b>10kg</b>	
引出し1段につき		<b>30kg</b>			<b>15kg</b>	
スライドボード		<b>30kg</b>			<b>15kg</b>	

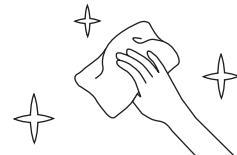
## 9. 棚板の位置変え

棚板は、お好みの位置に変えられます。  
その際は、ダボの位置も変えてください。



## お手入れ方法

●通常のお手入れは、柔らかい布でから拭きしてください。



※汚れは、中性洗剤を柔らかい布にしみこませて拭き、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布でから拭きしてください。

## ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについて

■弊社および弊社関係会社（以下「弊社」）は、お客様よりお知らせいただきましたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を下記の通りお取扱いします。

1. 弊社は、お客様の個人情報を弊社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。  
なお、修理やその確認業務を弊社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 弊社は、お客様の個人情報を適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

## アフターサービスについて

■この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検していただき、異常のあるとき、又はお気づきの点がございましたら、取付・設置店、販売店、又は弊社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

ご連絡して頂きたい内容

・ご氏名 ・ご住所 ・お電話番号 ・お買い上げ日 ・異常の内容 ・品番

■製品の保証期間はお買い上げ後、取扱説明書に従って正常な使用状態において1年間です。

ホルムアルデヒド発散区分

内装仕上げ部分及び下地部分とも

F ★★★★☆

表示ルール

「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による

# 取付・設置説明書

## 安全上のご注意

必ずお守りください

取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく行ってください。

- 表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 <b>注意</b>	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

- 取付・設置完了後、説明書の内容に従って各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。

- この「取扱説明書、取付・設置説明書」は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、取付・設置完了後、お引き渡し時にお客様へお渡しください。

 <b>警告</b>	
ワインクの取付・設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。	電気工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。
 転倒して、ケガをする恐れがあります。	 火災、感電の原因になることがあります。
交流100V以外では、使用しないでください。  火災、感電の原因になります。	

## ⚠ 注意

ワインクは、必ず壁面に固定してください。



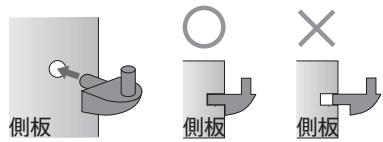
転倒して、ケガをする恐れがあります。

取付・設置完了後は、上下スライド扉、アルミ引き戸のがたつきや部品のゆるみが無いことを確認してください。



使用中に扉が落下して、ケガをする恐れがあります。

棚板を設置する時は、棚受け（ダボ）をすきまの無いよう根元まで確実に差し込んでください。



棚板が外れ、収納物が落下して、ケガをする恐れがあります。

取付・設置について

### 取付・設置前の確認

- 1 注文した製品が納入されているか確認してください。
- 2 壁面の取付位置に取付桿（30×110mm以上）があることを確認してください。
- 3 MNS(T)1(5)A1 - B120(90)UDA、MNS(T)1(5)F - 120(90)UDAの場合、指定位置に電源が壁出ししてあるか確認してください。（交流・単相100V）
- 4 壁の直角・垂直・床の水平レベルを確認してください。
- 5 A F仕様【H=100】場合は天井高さ2350mm、A F仕様【H=150】の場合は天井高さ2400mm以上あることを確認してください。

### 製品寸法図

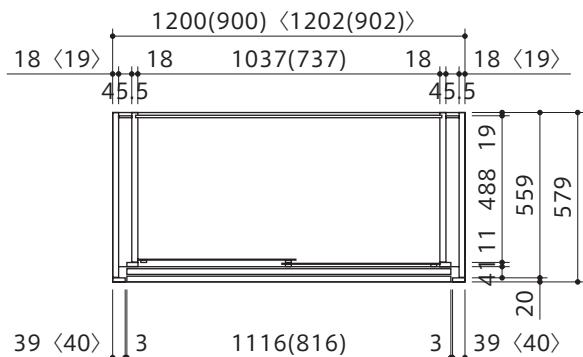
※ ( ) 内寸法は、W=900の場合を示す。

※ [ ] 内寸法は、A F仕様【H=100】の場合を示す。

※ < > 内寸法は、MNS(T)1(5)A1 - B120(90)\*\*\*\*の場合を示す。

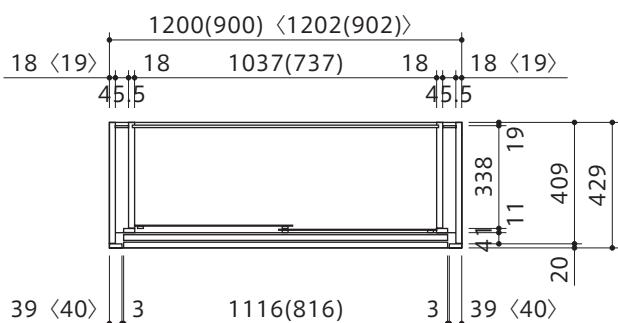
●MNS1(5)A1 - B120(90)\*\*\*\*

●MNS1(5)F - 120(90)\*\*\*\*

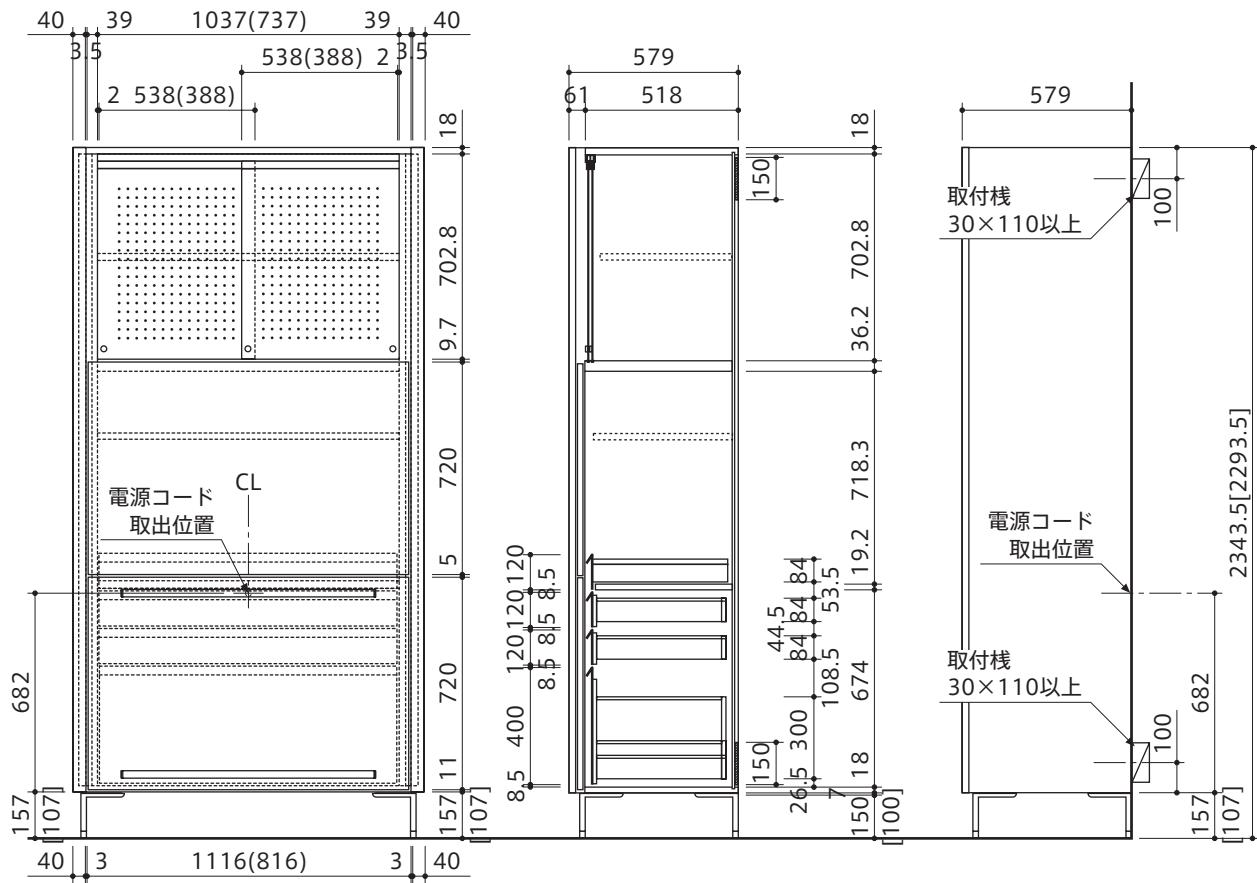


●MNT1(5)A1 - B120(90)\*\*\*\*

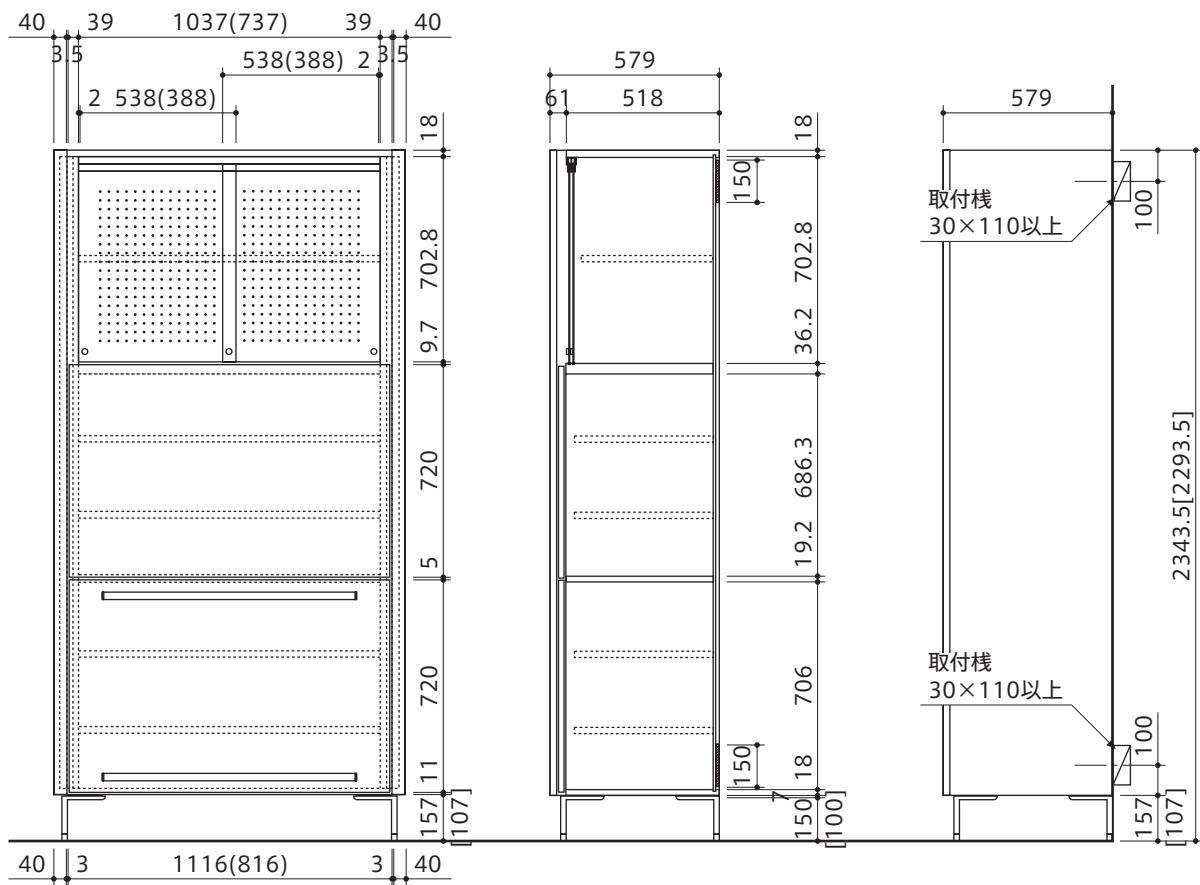
●MNT1(5)F - B120(90)\*\*\*\*



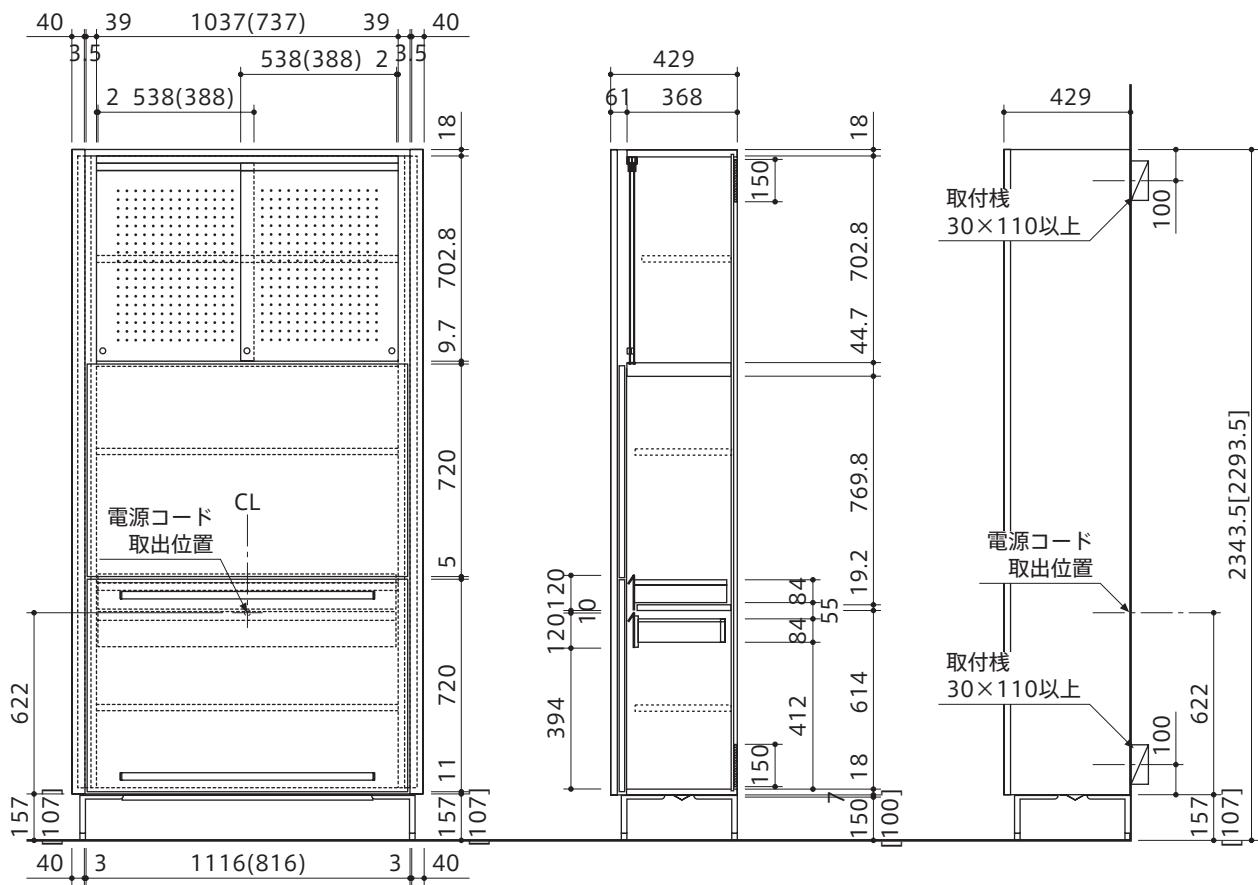
●MNS1(5)A1 - B120(90)UDA



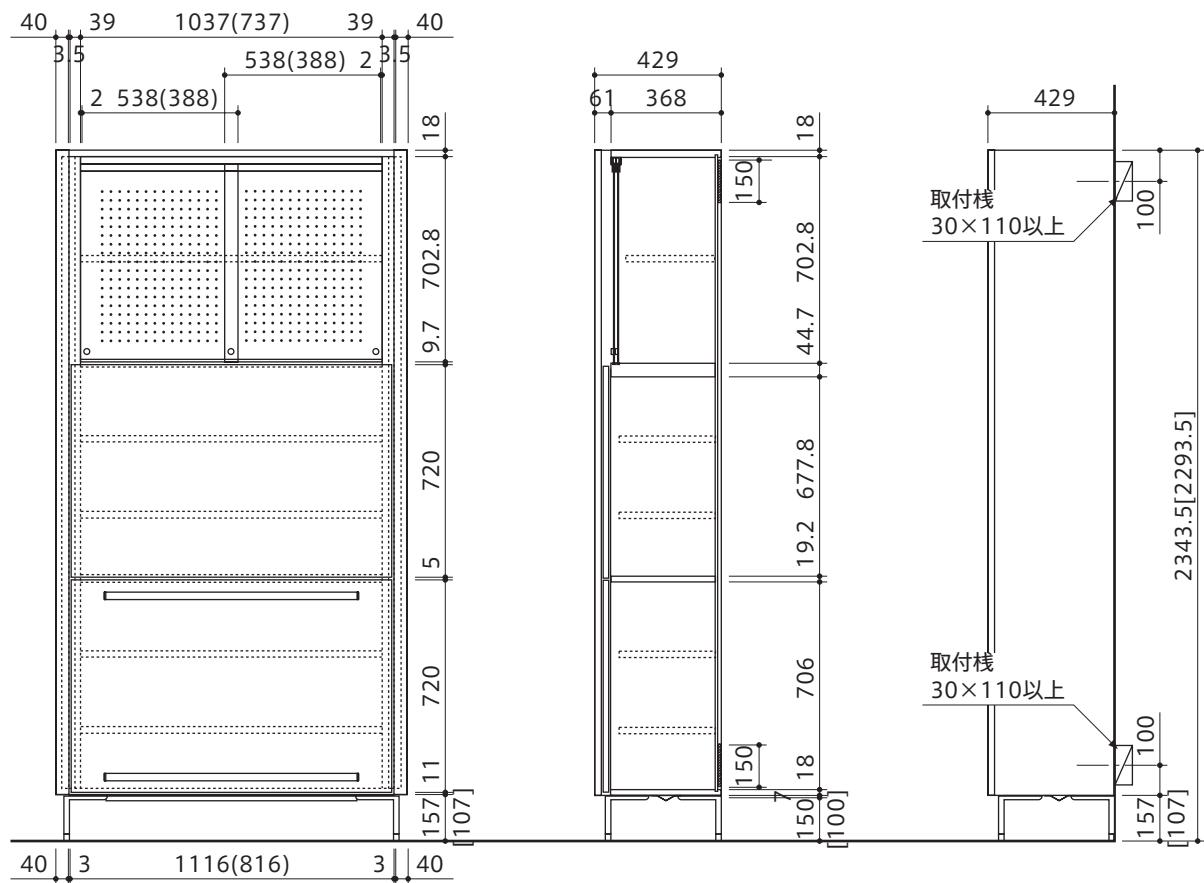
●MNS1(5)A1 - B120(90)TUDA



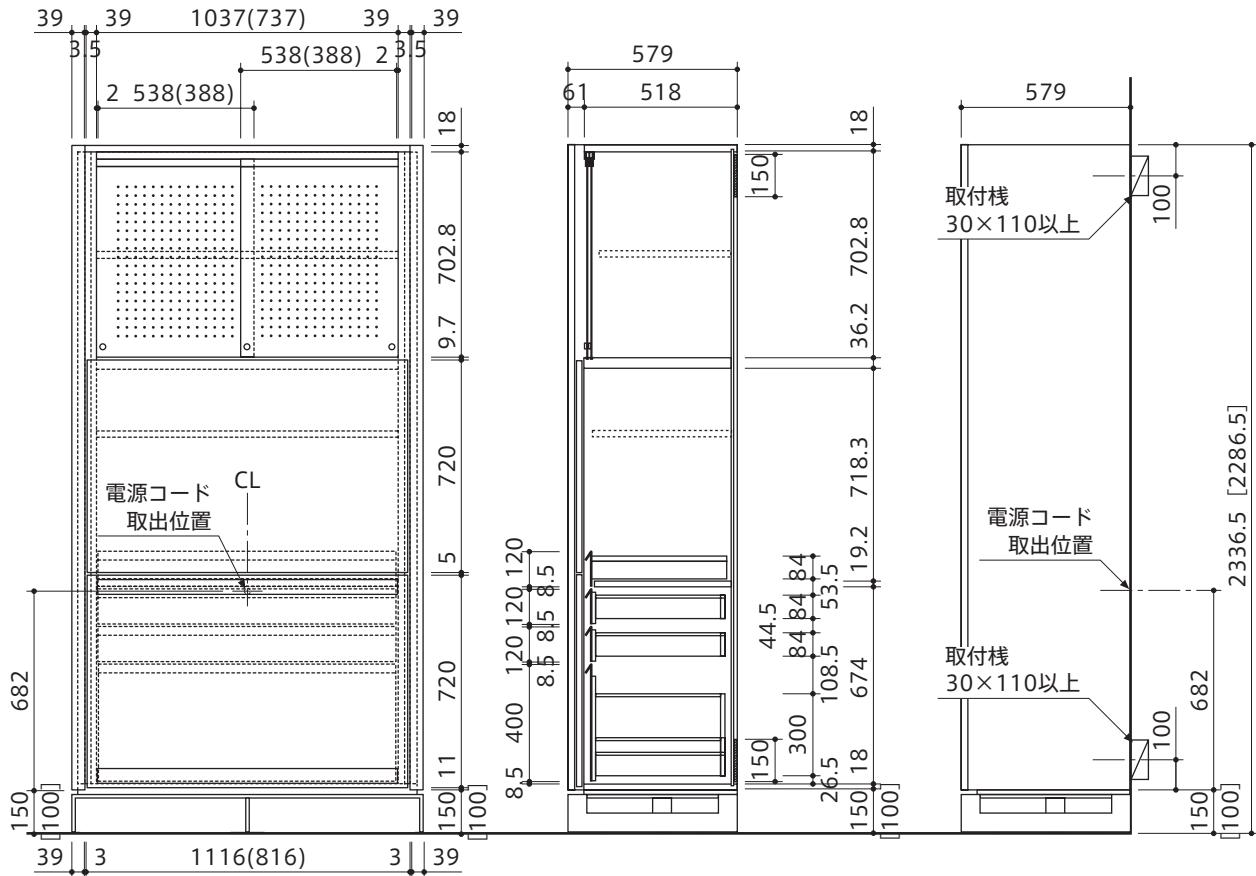
## ●MNT1(5)A1 - B120(90)UDA



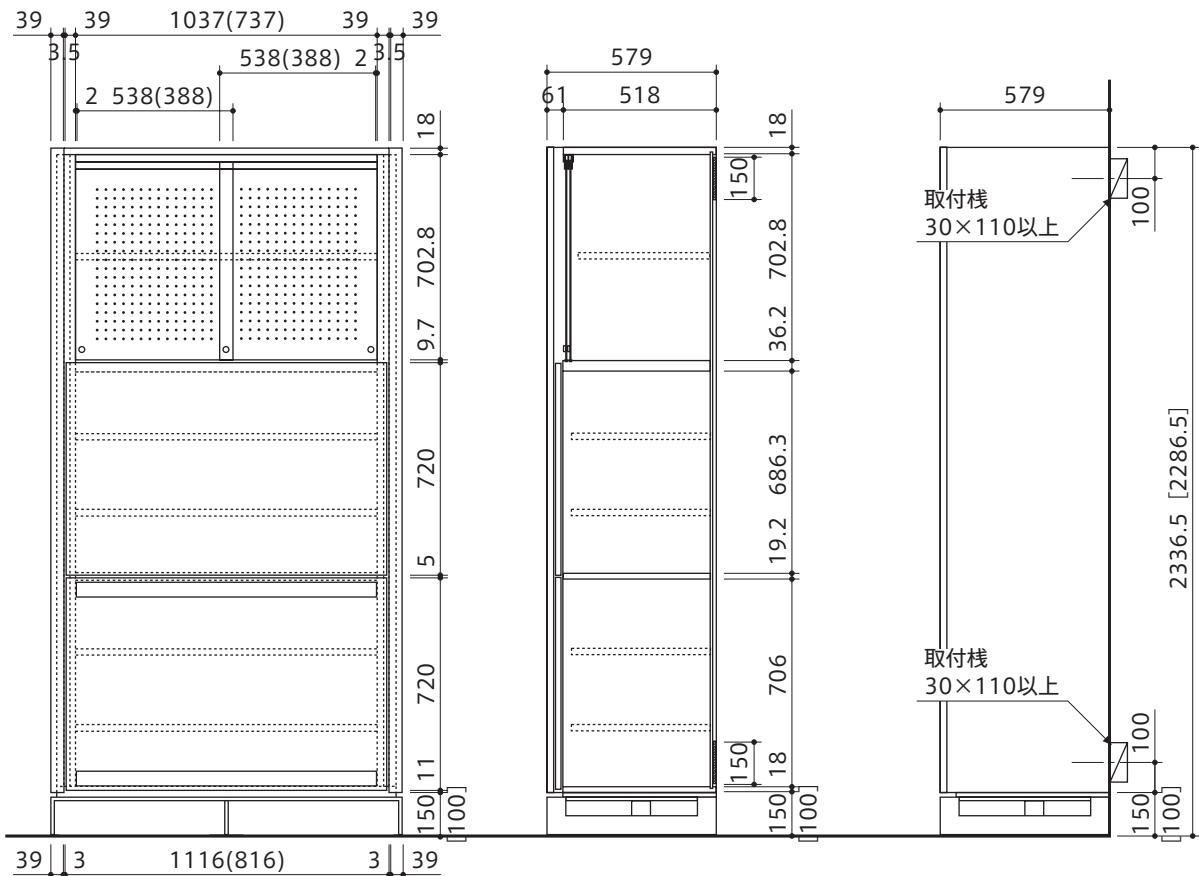
## ●MNT1(5)A1 - B120(90)TUDA



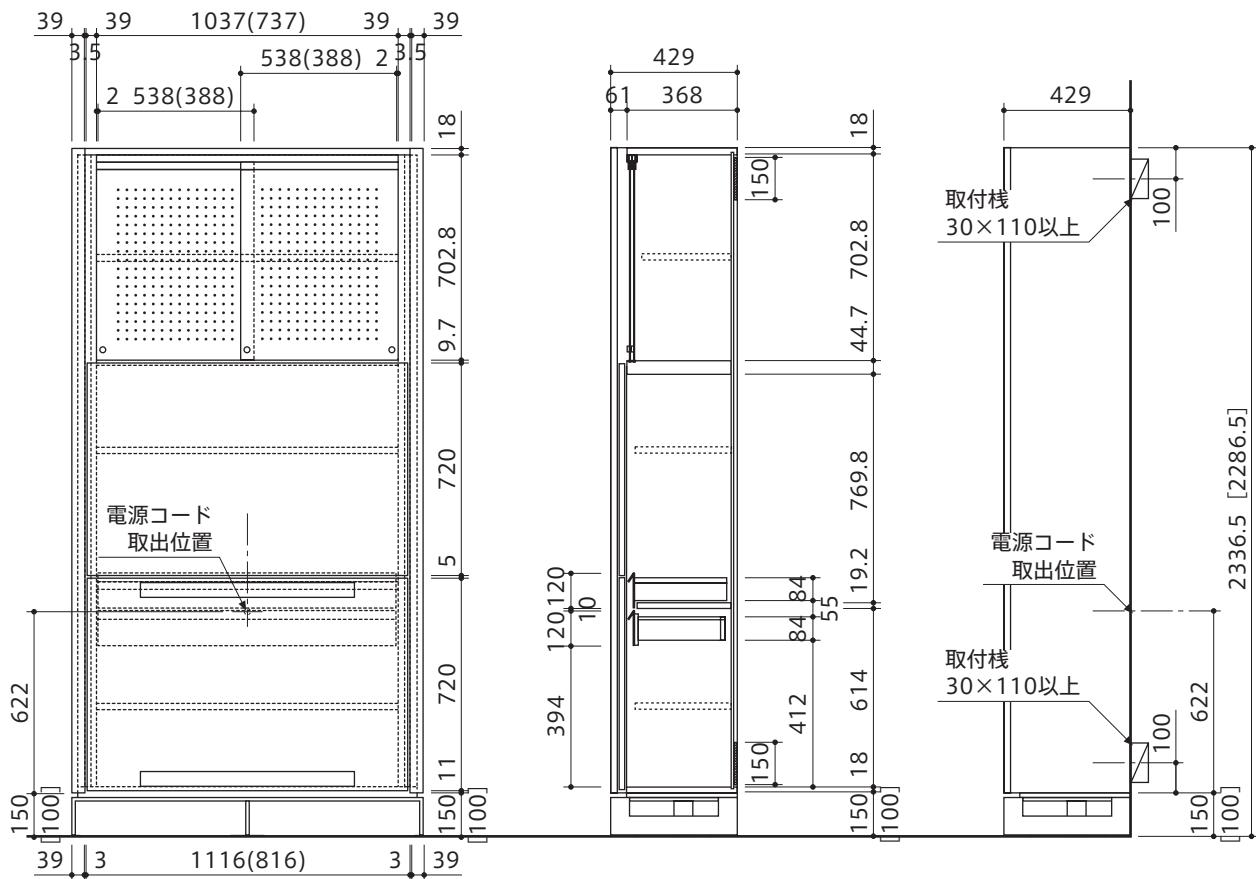
●MNS1(5) F - 120(90)UDA



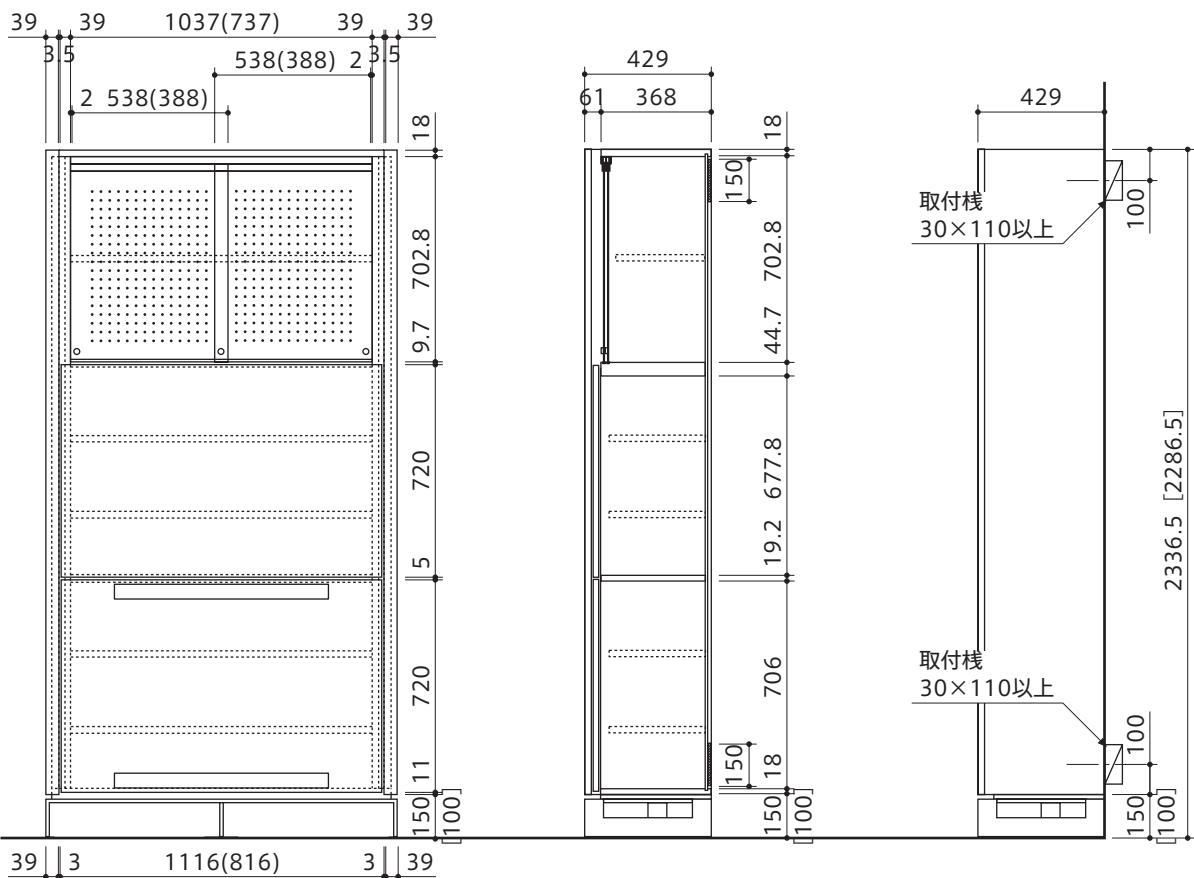
●MNS1(5) F - 120(90)TUDA



● MNT1(5) F - 120(90)UDA

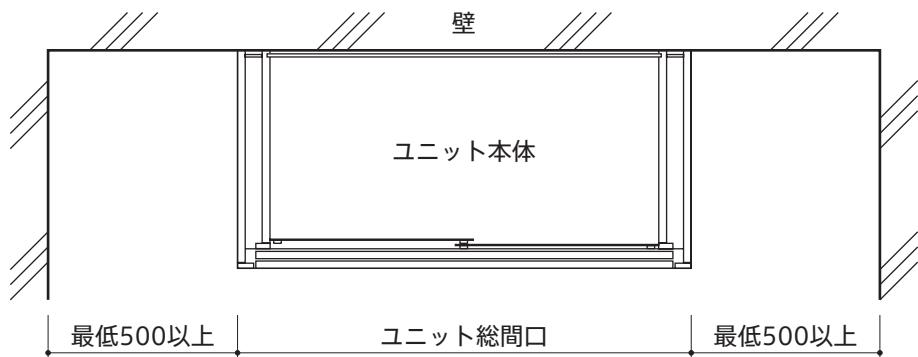


●MNT1(5) F - 120(90)TUDA

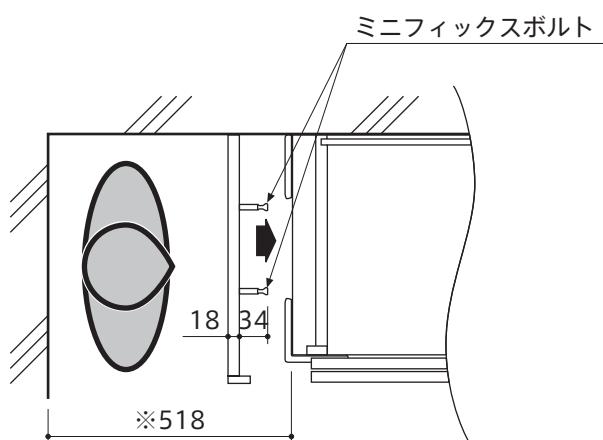


## 取付・設置スペースの確認

- ・ ウインクの取付・設置には、下記のスペースが必要になります。



- ・ 外側板を取付ける場合、外側板に天板・底板取付用のミニフィックスボルトを取付けますので、ミニフィックスボルトの長さと、取付ける人の入るスペースが必要になります。



## 部品の確認

・ ウィンクは、下記の部品にて構成されています。  
欠品等の無いことを確認してください。

### 外側板 (R L各1枚)

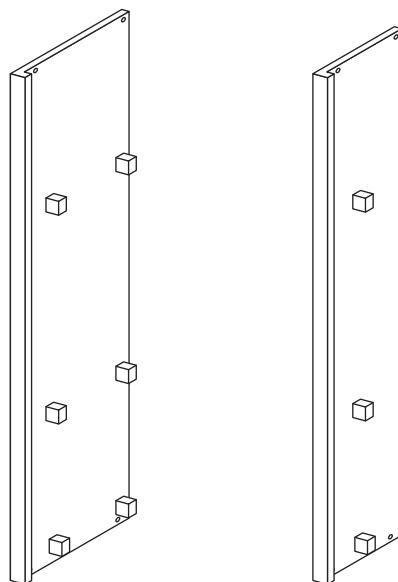
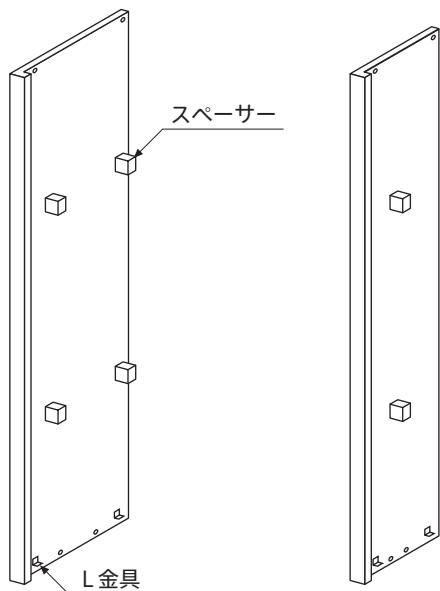
※図はLを示す

●MNS1(5)A1 -  
B120(90)\*\*\*\*  
※スペーサー4個付  
※L金具2個付

●MNT1(5)A1 -  
B120(90)\*\*\*\*  
※スペーサー2個付  
※L金具2個付

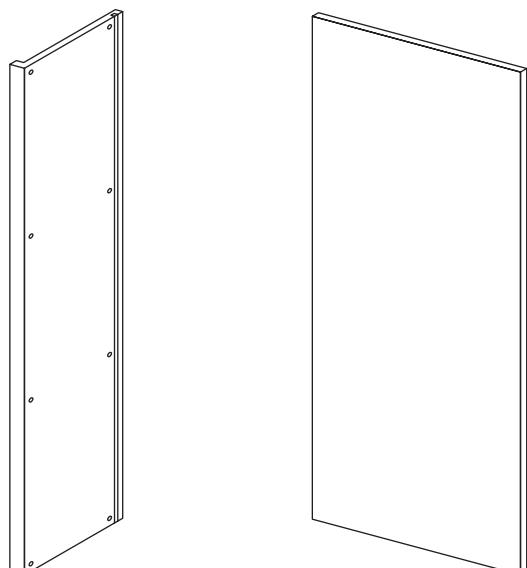
●MNS1(5)F -  
120(90)\*\*\*\*  
※スペーサー6個付

●MNT1(5)F -  
120(90)\*\*\*\*  
※スペーサー3個付



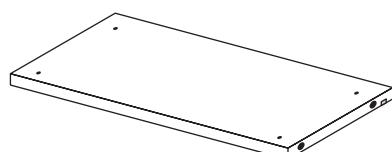
### 内側板 (R L各1枚)

※図はLを示す

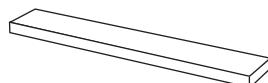


### 背板 (1枚)

### 天板 (1枚)

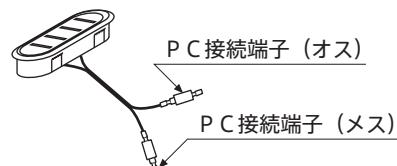


### 背板棧 (2枚)



### スライドコンセント [PC接続端子付] (1個)

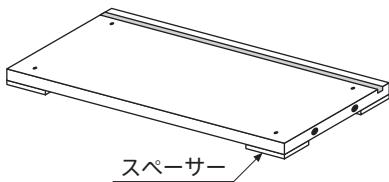
※MNS(T)1(5)A1 - B120(90)UDA、  
MNS(T)1(5)F - 120(90)UDAの場合のみ



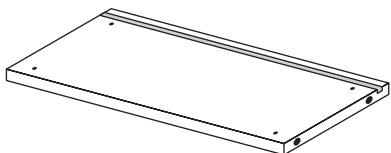
底板（1枚）

●MNS(T)1(5)A1 - B120(90)\*\*\*\*\*

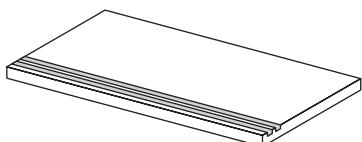
※スペーサー付



●MNS(T)1(5)F - 120(90)\*\*\*\*\*

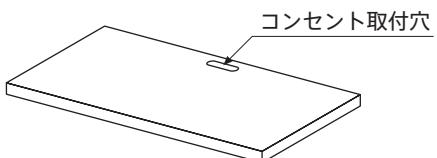


中板（上段用） [樹脂レール付き] （1枚）



中板（下段用）（1枚）

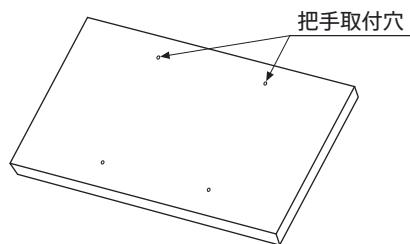
※MNS(T)1(5)A1 - B120(90)UDA、  
MNS(T)1(5)F - 120(90)UDAの場合のみ  
コンセント取付穴有



上下スライド扉

上部扉（把手取付穴無 1枚）

下部扉（把手取付穴有 1枚）

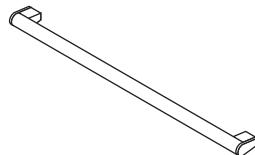


把手（2本）

取付ネジ（4本）

（⊕サラ小ネジM4×30）

※機種によって形状が異なります



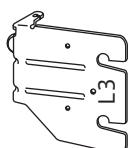
ガイドローラー金具  
(L1、R1各1個)



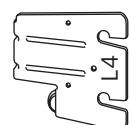
ガイドローラー金具  
(L2、R2各1個)



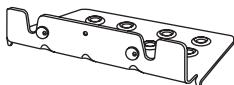
ガイドローラー金具  
(L3、R3各1個)



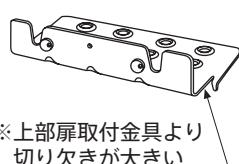
ガイドローラー金具  
(L4、R4各1個)



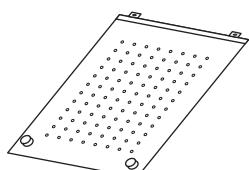
上部扉取付金具（4個）



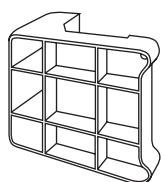
下部扉取付金具（4個）



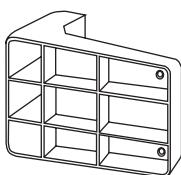
アルミ引き戸（R L各1枚）



上部扉仮止めブロック  
(4個) 下部扉仮止めブロック  
(4個)



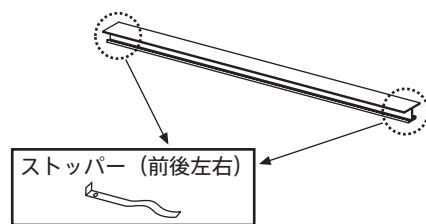
アルミレール [ストッパー4個付] (1本)  
ワッシャー (4個)  
取付ネジ (12本)  
(⊕トラスタッピンネジ3×12)



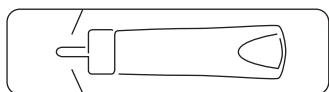
レールカバー (2本)



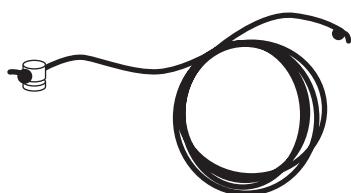
戸当たり (4個)



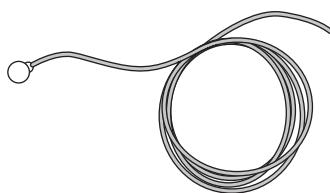
グリス (4個)



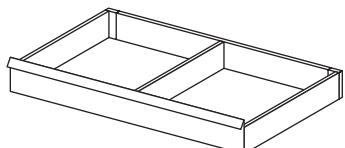
布製ワイヤー (2本)



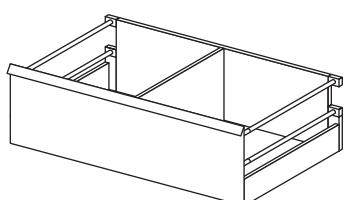
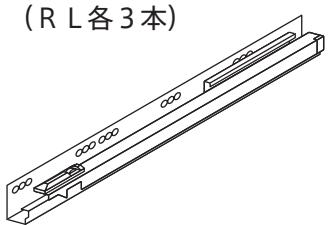
スチールワイヤー (2本)



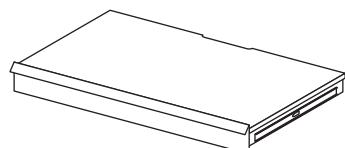
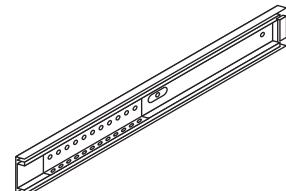
●MNS1(5)A1 - B120(90)UDA、MNS1(5)F - 120(90)UDA  
引出し [ゴムマット付]  
浅型 (2段)



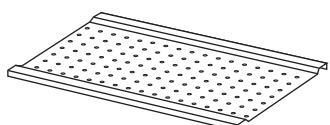
深型 (1段)

引出しレール  
(R L各3本)

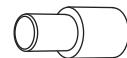
スライドボード (1段)

スライドボードレール  
(2本)

アルミ棚板 (2枚)

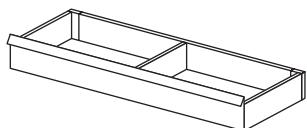


金属ダボ (8個)

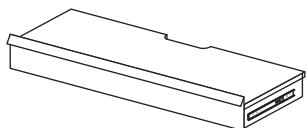


⊕サラタッピンネジ3.5×16 . . . . . 18本  
⊕バインドタッピンネジ3.5×16 . . . . . 8本

●MNT1(5)A1 - B120(90)UDA、MNT1(5)F - 120(90)UDA  
引出し [ゴムマット付]      スライドボード (1段)  
(1段)

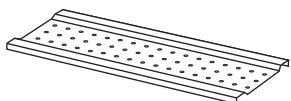


引出しレール  
(R L各1本)

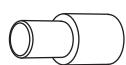
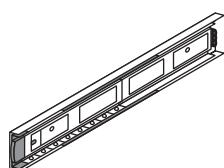
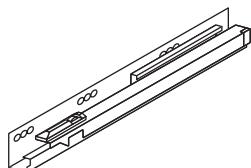


スライドボードレール  
(2本)

アルミ棚板 (3枚)



金属ダボ (12個)

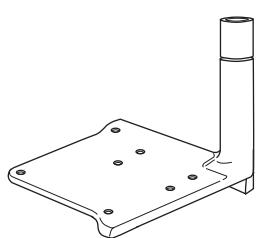
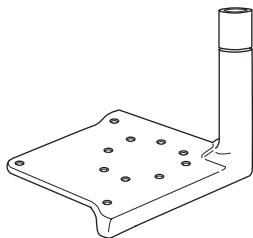


⊕サラタッピンネジ 3.5×16 ······ 6本  
⊕バインドタッピンネジ 3.5×16 ······ 6本

●MNS(T)1(5)A1 - B120(90)\*\*\*\*

アジャスター脚 (前面用)  
(2本)      アジャスター脚 (背面用)  
(R L各1本)

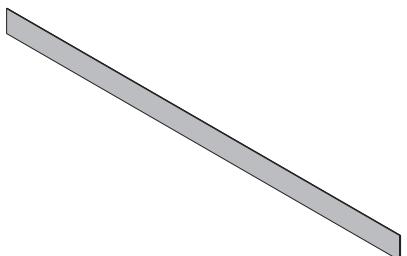
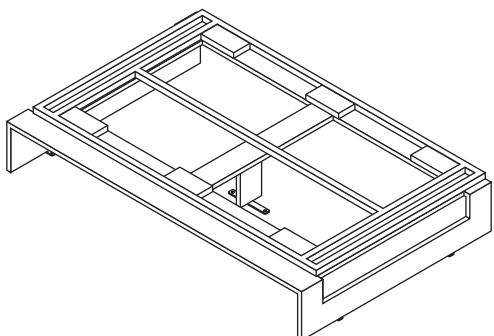
⊕バインドタッピンネジ3.5×25  
(28本)



●MNS(T)1(5)F - 120(90)\*\*\*\*

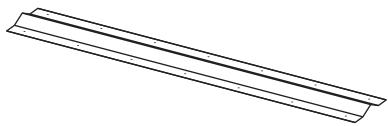
フレームA F (1台)

スリット化粧板  
33mm巾 (1本)  
12mm巾 (1本)



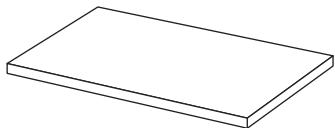
⊕ナゲシネジ3.8×32 ······ 6本  
ワッシャー ······ 6個  
ヘッドキャップカバー (グレイ) ······ 6個

●MNT1(5)A1 - B120(90)\*\*\*\*  
底板補強金具 (1本)

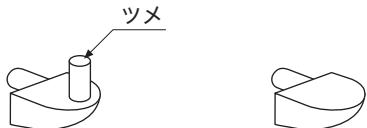


⊕バインドタッピンネジ3.5×14  
W=900 . . . . . 10本  
W=1200 . . . . . 14本

●MNS(T)1(5)A1 - B120(90)TUDA、  
MNS(T)1(5)F - 120(90)TUDA  
木製棚板 (5枚)

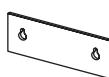


ダボ  
ツメ付 (10個)  
ツメ無 (10個)

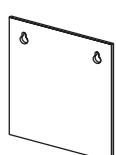


## 《ウェイト部品》

ウェイト0.1kg  
(2枚)

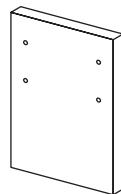


ウェイト1kg  
(2枚)



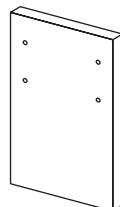
ウェイト6kg  
(2枚)

※W=900  
CORE  
KiraKira  
Rock'n' Roll  
ソリッド  
ドットアルミ  
INO



ウェイト8kg  
(2枚)

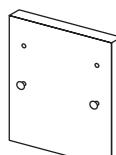
※W=1200  
INO  
カーボンファイバー  
グラスファイバー



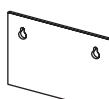
ウェイト0.2kg  
(4枚)



ウェイト4kg  
(2枚)



ウェイト0.5kg  
(6枚)

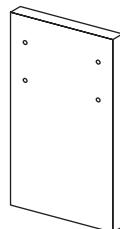


※W=1200  
CORE  
Nuno  
Rock'n' Roll  
メタリックファイバー  
INO

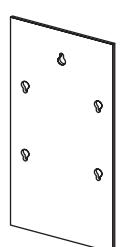
ルシーダ  
ビッグライン  
シルバーアラベスク  
ブラックウェーブ  
エボニー  
ホワイトアラベスク

ウェイト9kg  
(2枚)

※W=1200  
CORE  
KiraKira  
Rock'n' Roll  
ソリッド  
INO



ウェイトホルダー  
プレート (2枚)



## 《付属品》

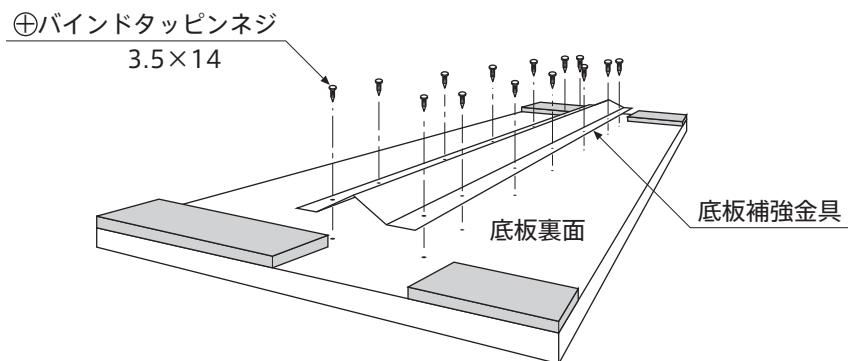
六角レンチ	1本
丸頭小ネジM4	8本
⊕サラ小ネジM4×10	16本
⊕サラタッピンネジ4×16	82本
⊕ナゲシネジ4.2×60	16本
ワッシャー	16個
ヘッドキャップカバー (グレイ)	16個
ミニフィックスボルト	16本
カバーキャップ (ケーシング)	MNS(T)1(5)A1 - B120(90)****の場合 16個 MNS(T)1(5)F - 120(90)の場合 **** 12個
ラフィックスボルト	8個
取扱説明書、取付・設置説明書	1冊

## 部品の取付け

### ■底板補強金具の取付け

#### 【MNT1(5)A1 - B120(90)\*\*\*\*の場合】

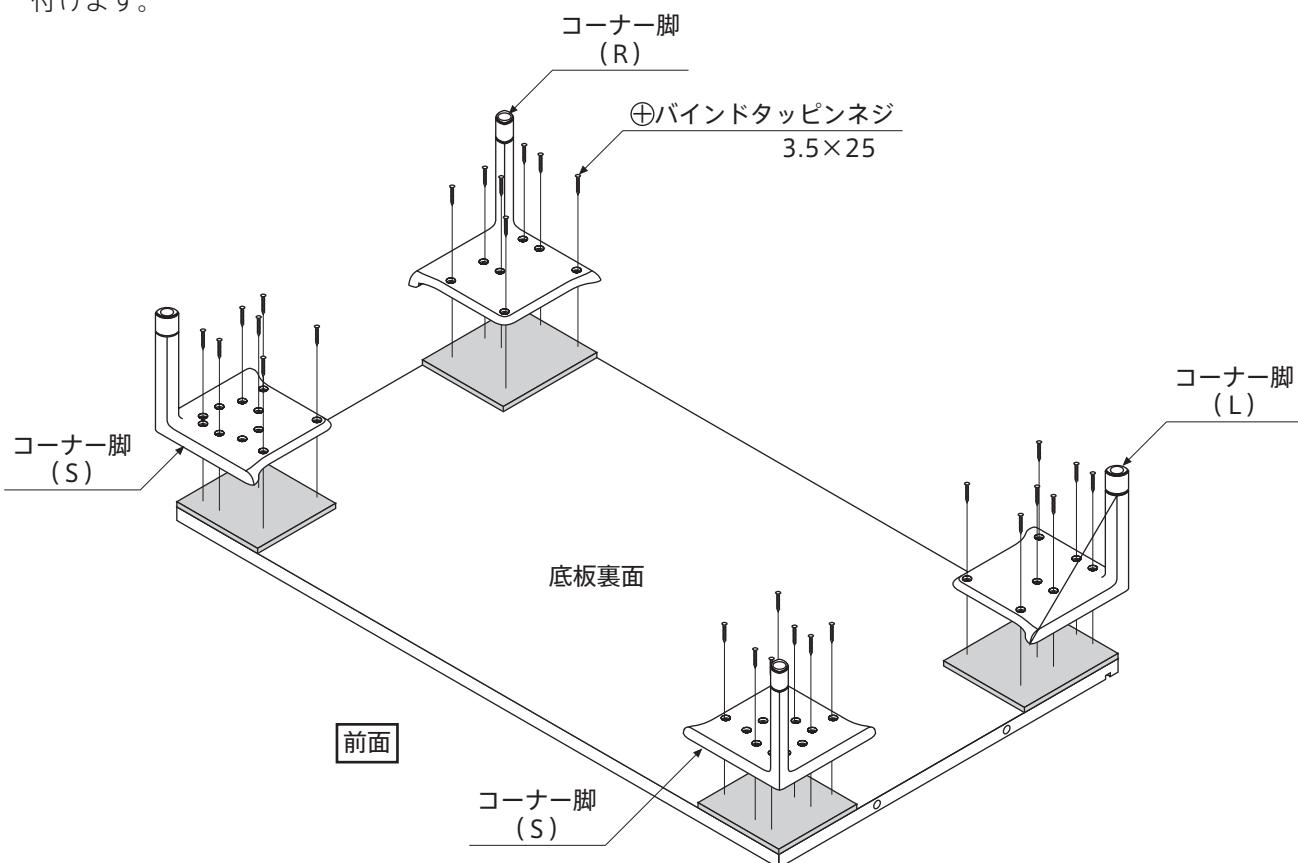
- ・底板裏面の下穴に底板補強金具の穴を合わせ、 $\oplus$ バインドタッピングネジ3. 5×14にて固定してください。



### ■A Fの取付け

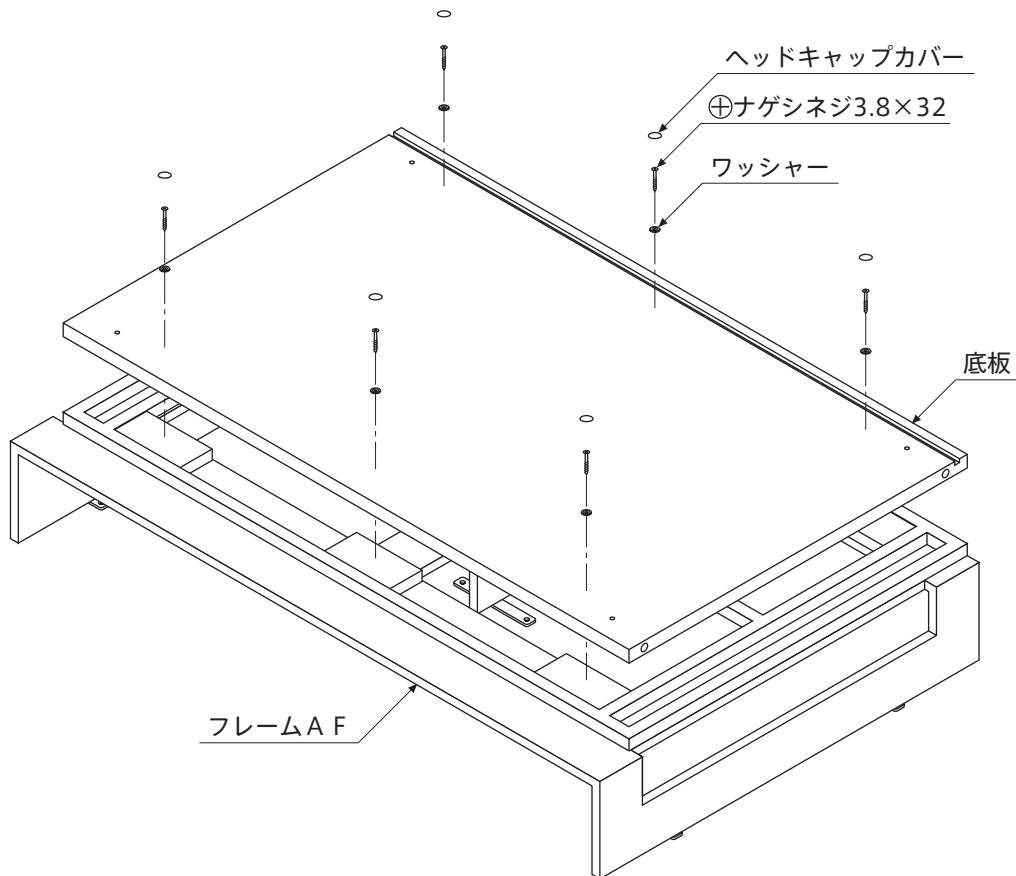
#### 【MNS(T)1(5)A1 - B120(90)\*\*\*\*の場合】

- ・底板裏面にCORE A Fを取付けます。  
CORE A F (コーナー脚S) を $\oplus$ バインドタッピング3. 5×25にて前面側に取付けます。  
CORE A F (コーナー脚R、L) を $\oplus$ バインドタッピング3. 5×25にて背面側の左右それぞれに取付けます。

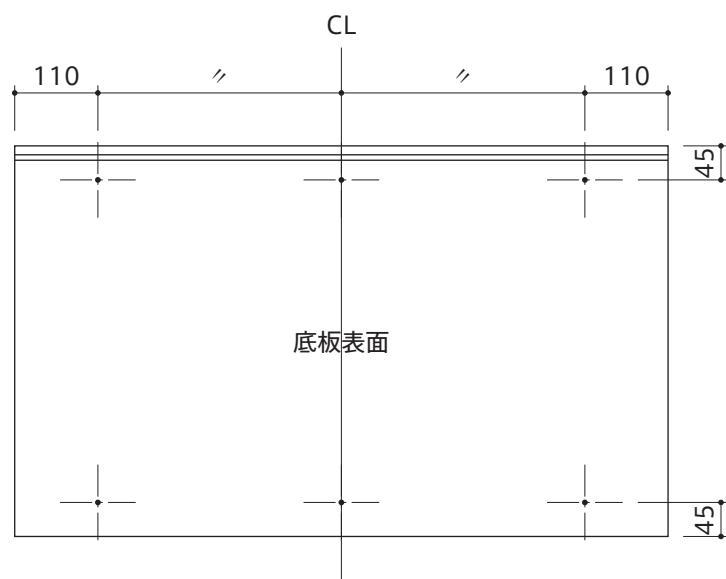


### [MNS(T)1(5)F - 120(90)\*\*\*\*の場合]

- フレームA Fに底板をのせて、フレームA Fの高さスペーサーと底板の四隅を合わせます。
- 底板の指定位置（6ヶ所）にΦ4下穴を開け、 $\oplus$ ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、フレームA Fの下地に固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

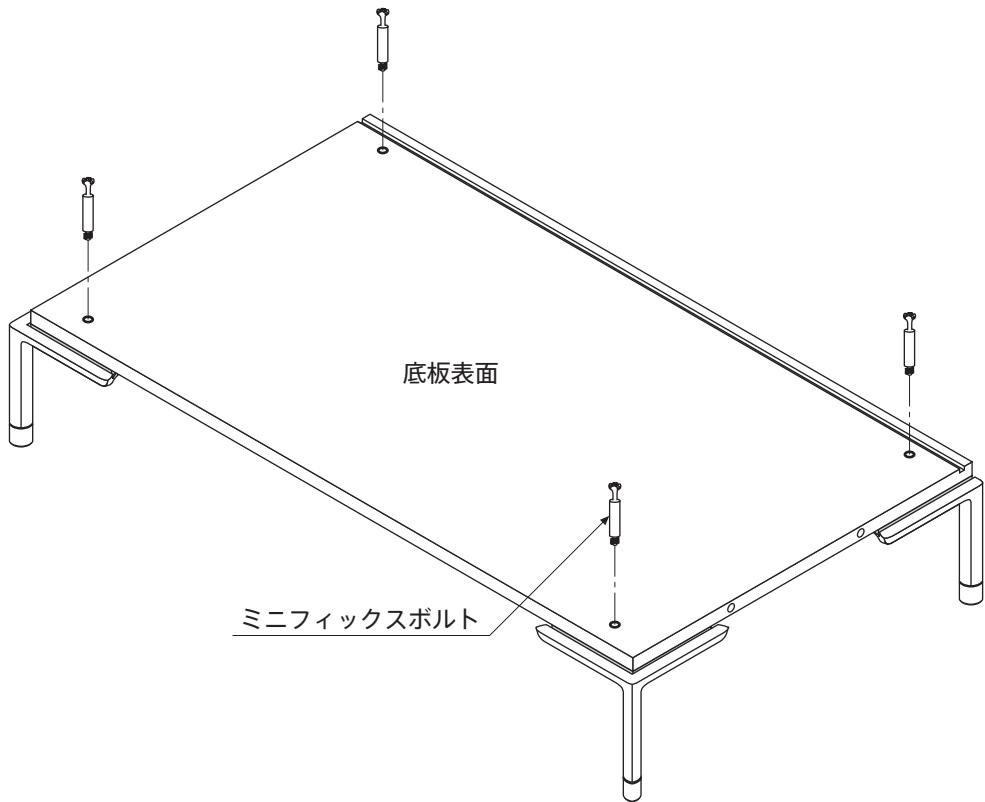


底板固定位置



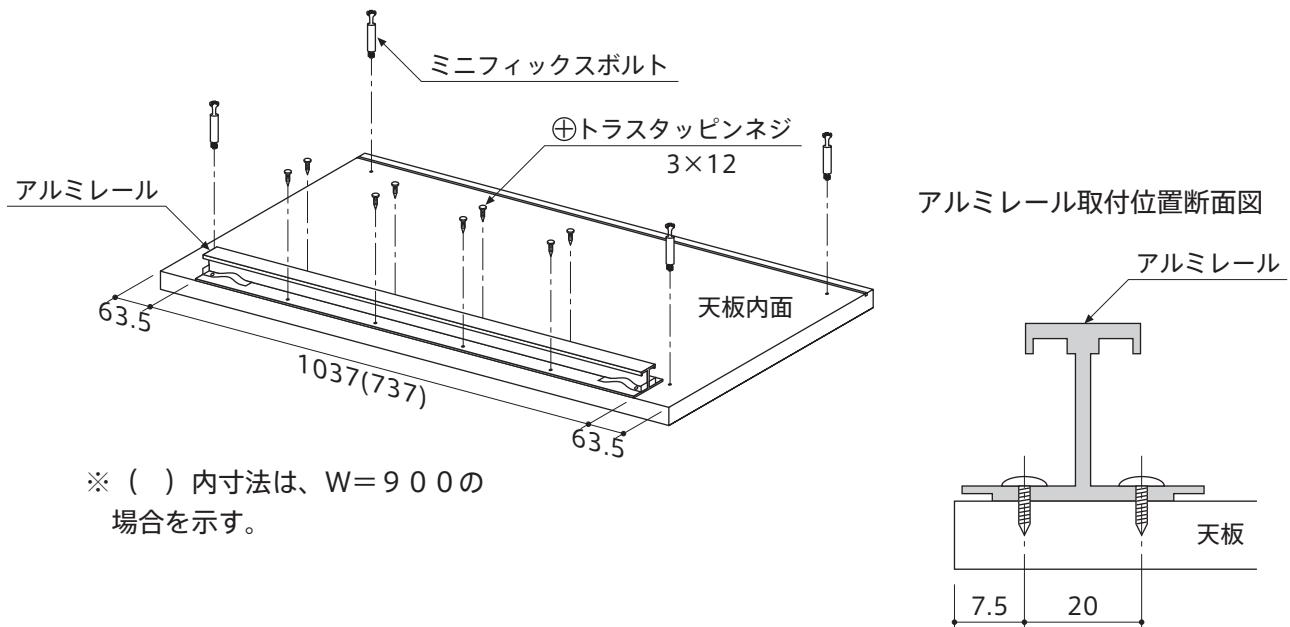
## ■ミニフィックスボルトの取付け - 底板

- 底板表面の4隅の穴（インサートナットが打ち込んであります）にミニフィックスボルトを、+ドライバーで取付けてください。



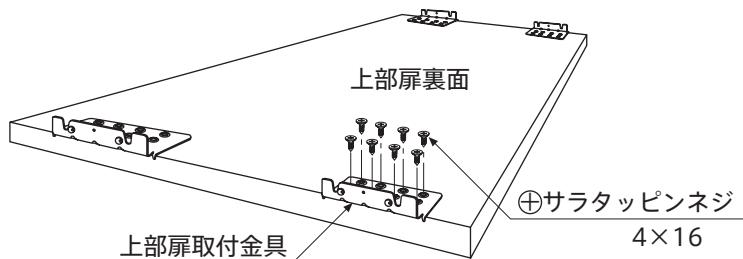
## ■アルミレール、ミニフィックスボルトの取付け - 天板

- 天板内面の指定位置にアルミレールを⊕トラスタッピンネジ  $3 \times 12$  にて取付けてください。  
※後でレールカバーを取付けるため、ネジは少しゆるめに固定してください。
- 天板内面の4隅の穴（インサートナットが打ち込んであります）に、ミニフィックスボルトを、+ドライバーで取付けてください。



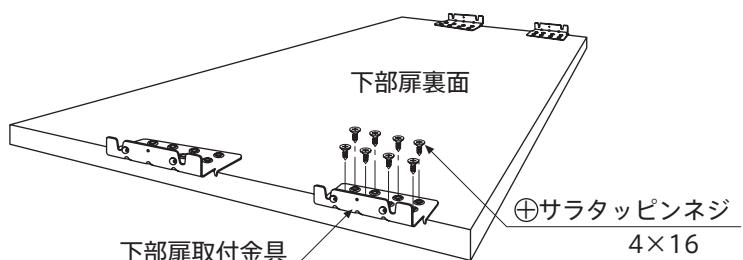
## ■上部扉取付金具の取付け

- 上部扉裏面の両サイド4ヶ所に下穴（1ヶ所につき8個の下穴）が開いていますので、その下穴に上部扉取付金具の穴を合わせ、 $\oplus$ サラタッピンネジ4×16にて取付けます。
- 上部扉取付金具1個につき8本のネジで固定してください。
- ※上部扉取付金具と下部扉取付金具は形状が似ていますので、ご注意ください。



## ■下部扉取付金具の取付け

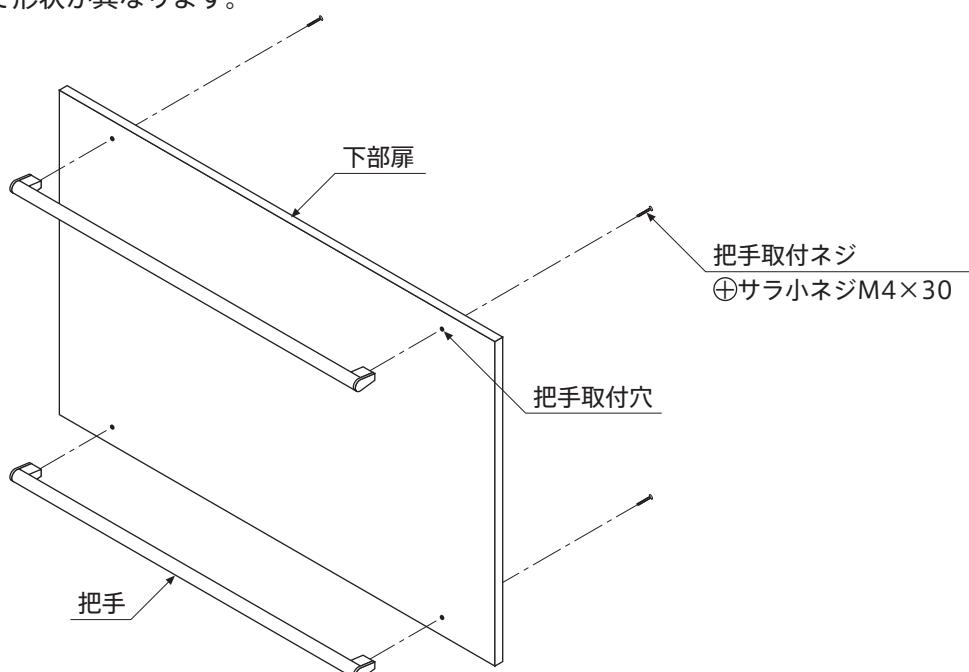
- 下部扉裏面の両サイド4ヶ所に下穴（1ヶ所につき8個の下穴）が開いていますので、その下穴に下部扉取付金具の穴を合わせ、 $\oplus$ サラタッピンネジ4×16にて取付けます。
- 下部扉取付金具1個につき8本のネジで固定してください。



## ■把手の取付け

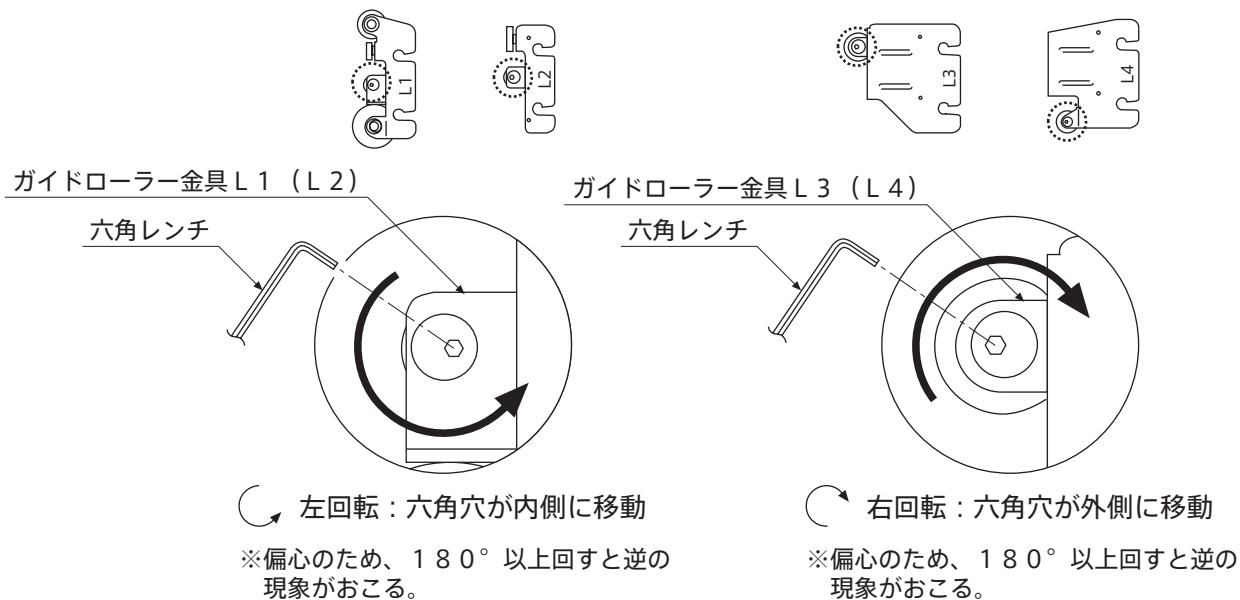
- 下部扉の上下に把手取付穴が開いていますので、 $\oplus$ サラ小ネジM4×30にて把手を2本取付けてください。

※把手の種類によって形状が異なります。



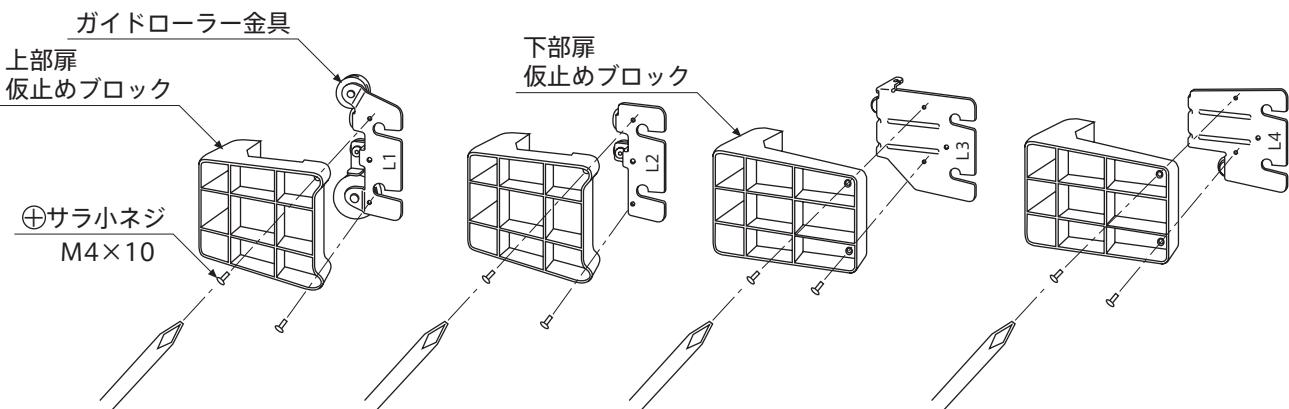
## ■ガイドローラー金具の調整

- ガイドローラー金具のローラーを六角レンチで調整します。  
(上下スライド扉の開閉調整を行う際に、上部扉と下部扉が当たらないようするため。)
- \*ガイドローラー金具 R1・R2・R3・R4 は、L1・L2・L3・L4 と対称になります。



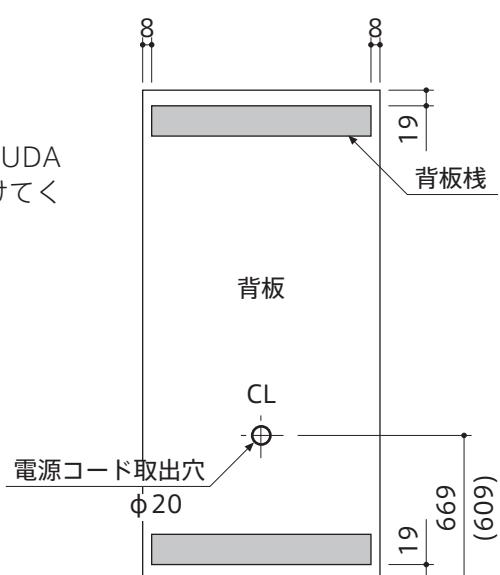
## ■上部扉仮止めブロック、下部扉仮止めブロックとガイドローラー金具の取付け

- 上部扉仮止めブロックとガイドローラー金具を $\oplus$ サラ小ネジM4×10で各2ヶ所固定します。
- 下部扉仮止めブロックとガイドローラー金具を $\oplus$ サラ小ネジM4×10で各2ヶ所固定します。
- \*ガイドローラー金具 R1・R2・R3・R4 は、L1・L2・L3・L4 と対称になります。



## ■背板棧の取付け、電源コード取出用の穴開け

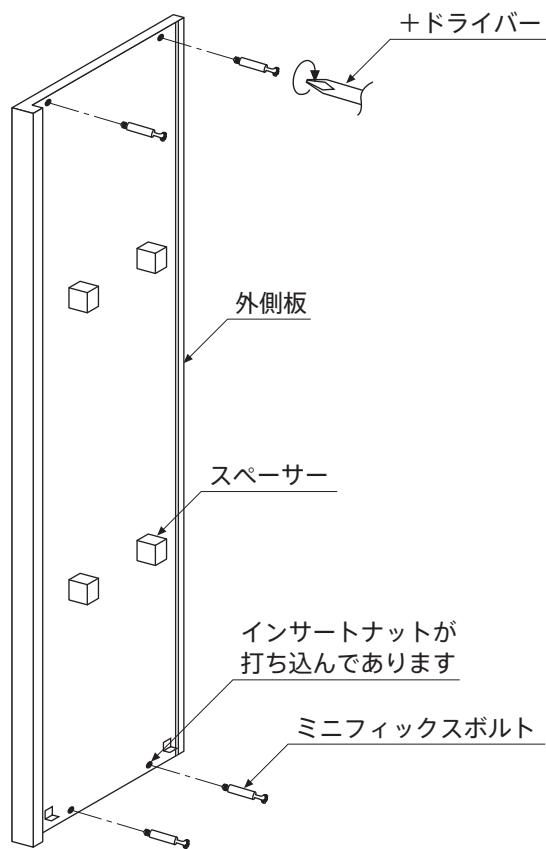
- 背板の指定位置に背板棧を両面テープで貼り付けてください。
- MNS(T)1(5)A1 - B120(90)UDA、MNS(T)1(5)F - 120(90)UDA の場合、背板の指定位置に電源コード取出用の穴Φ20を開けてください。
- \* ( ) 内寸法は、MNT1(5)A1 - B120(90)UDA、MNT1(5)F - 120(90)UDAの場合を示す。



## ■ミニフィックスボルトの取付け - 外側板

- 外側板に開いている穴（インサートナットが打ち込んであります）に、天板・底板取付用のミニフィックスボルトを+ドライバーで取付けてください。

※機種によってスペーサーの数量、L金具の有無等、多少形状が異なります。



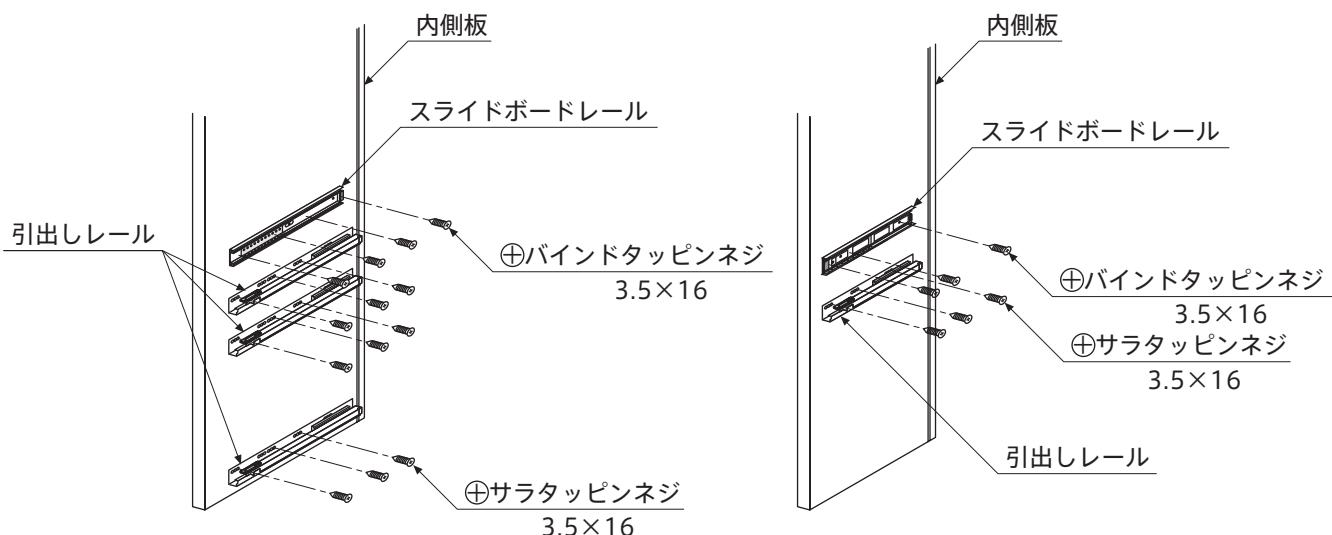
## ■引出しレール、スライドボードレールの取付け - 内側板

### 【MNS(T)1(5)A1 - B120(90)UDA、MNS(T)1(5)F - 120(90)UDAの場合】

- 内側板の下穴の位置に合わせて、⊕サラタッピンネジ 3.5×16 にて引出しレールを取付けます。
- 内側板の下穴の位置に合わせて、⊕バインドタッピンネジ 3.5×16 にてスライドボードレールを取付けます。

#### ●MNS1(5)A1 - B120(90)UDA、 MNS1(5)F - 120(90)UDAの場合

#### ●MNT1(5)A1 - B120(90)UDA、 MNT1(5)F - 120(90)UDAの場合



## ■内側板の付属部品名とウエイトホルダープレートの取付け

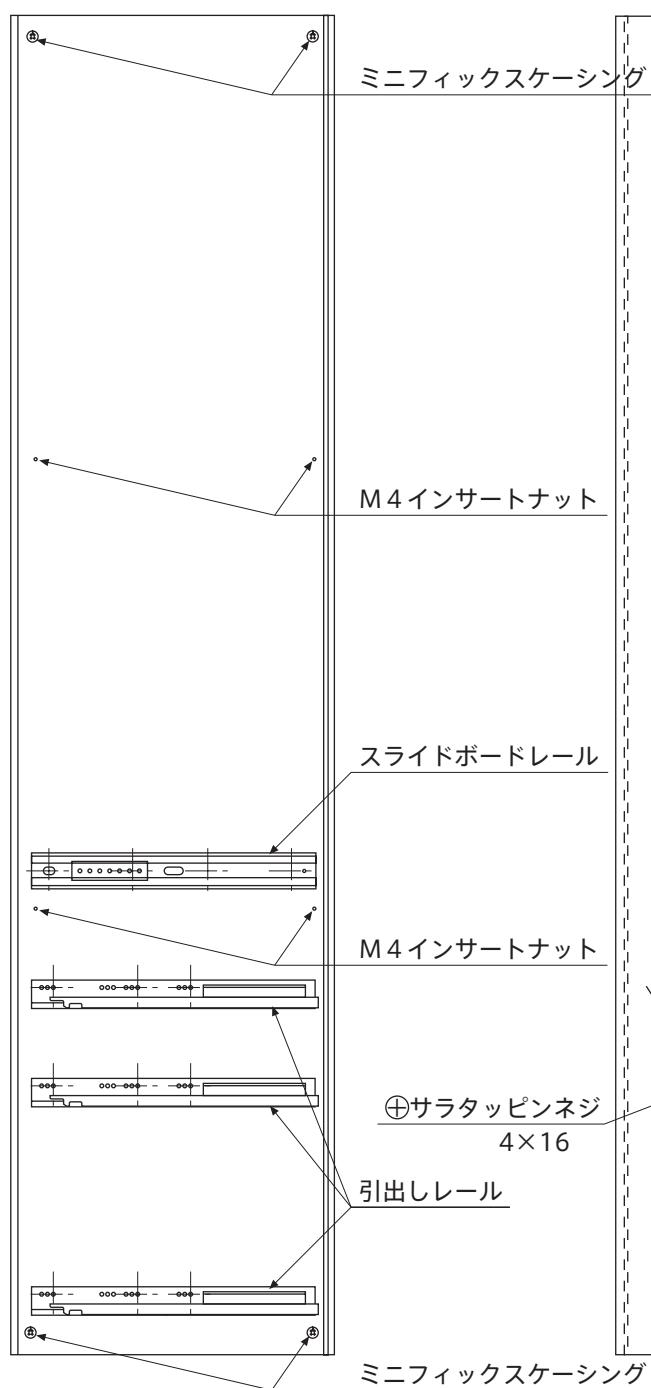
- 内側板に取付けてあるウエイトガイドレールの下側より、ウエイトホルダープレートをローラーに滑らせながらはめ込み、 $\oplus$ サラタッピンネジ  $4 \times 16$  にて内側板の下からはみ出ない位置で仮止めします。
- ※ウエイトホルダープレートが内側板よりも下へはみ出ていると、ユニットを組立てた場合に、底板と内側板の間に隙間ができ、取付けができませんのでご注意ください。

## ■グリスの塗布

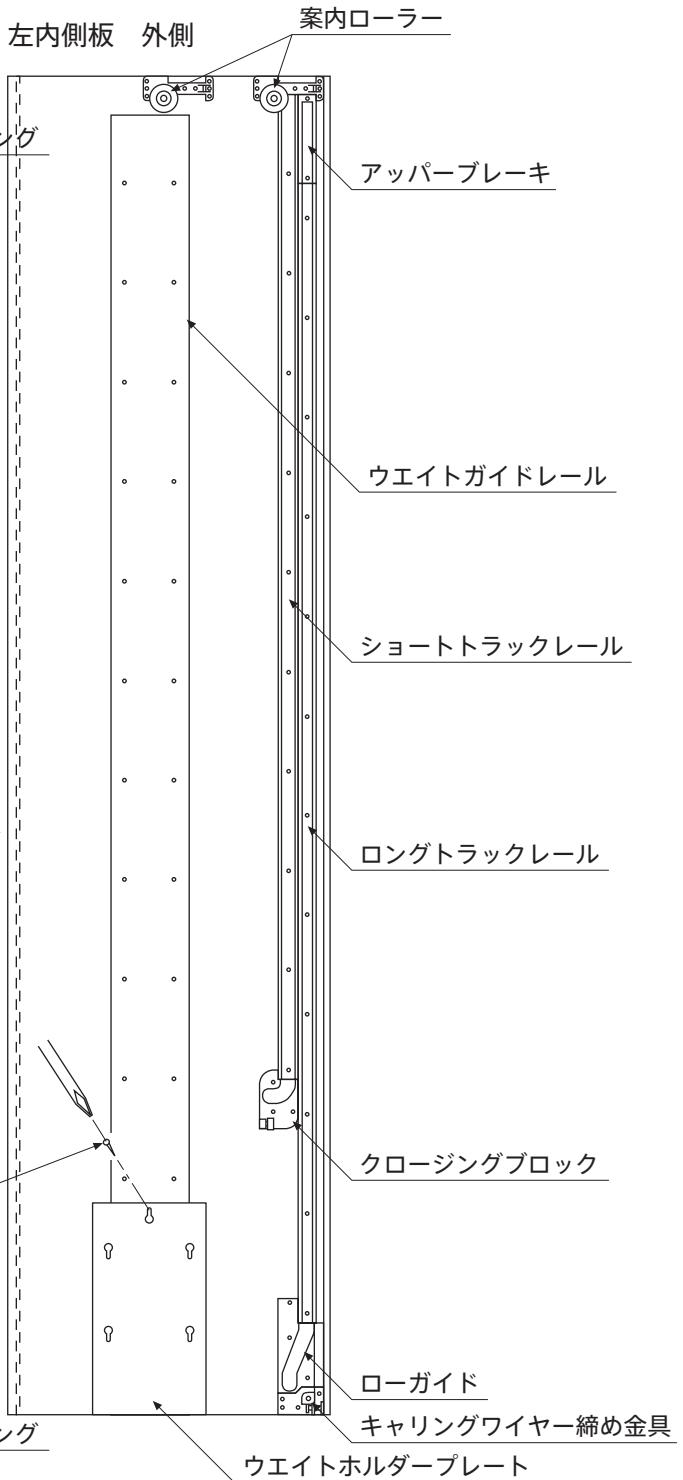
- 内側板に取付けてあるショートトラックレール、ロングトラックレール1本につき、付属のグリス1個を塗布してください。扉の開閉が滑らかになります。

### ●MNS1(5)A1 - B120(90)\*\*\*\*、MNS1(5)F - 120(90)\*\*\*\*の場合

左内側板 内側



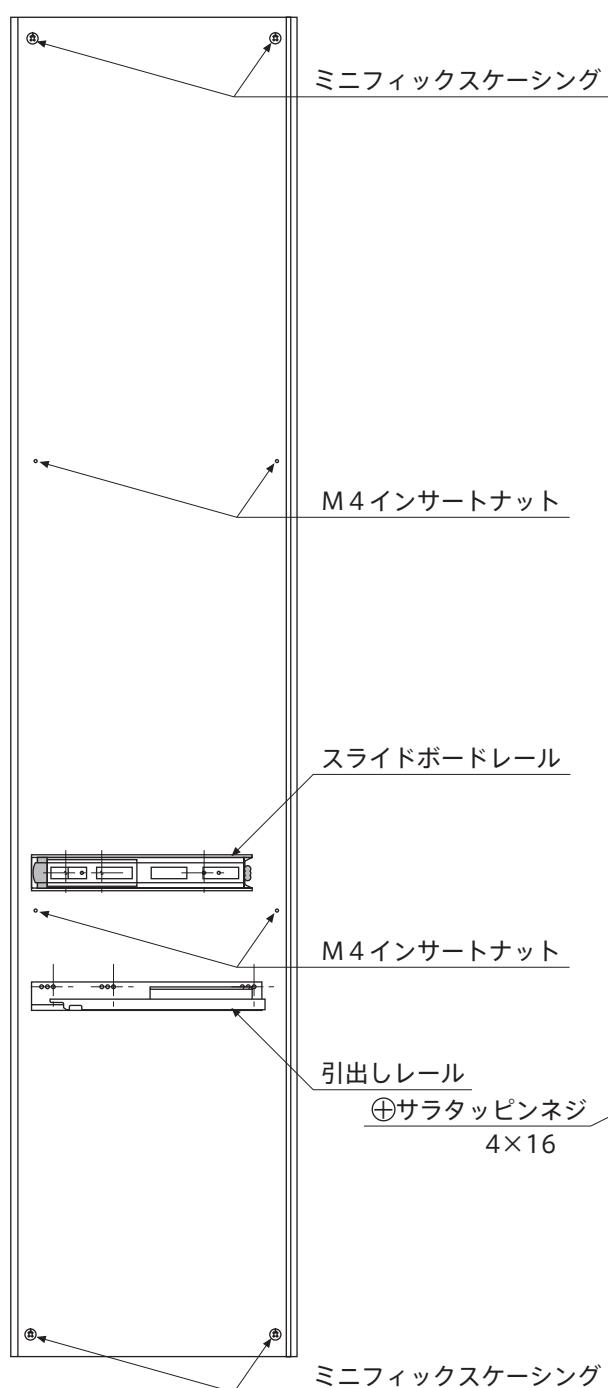
左内側板 外側



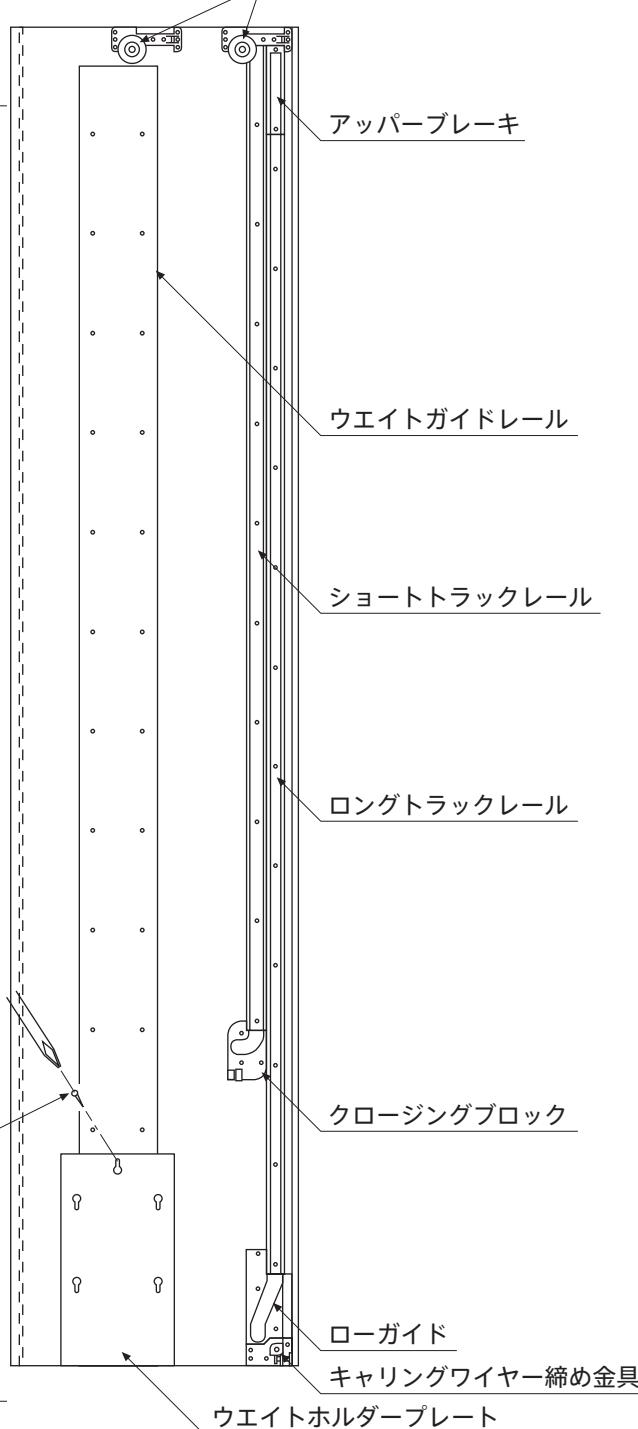
※MNS1(5)A1 - B120(90)UDA、MNS1(5)F - 120(90)UDAの場合のみ、スライドボードレールと引出しレールがつきます。

●MNT1(5)A1 - B120(90)\*\*\*\*、MNT1(5)F - 120(90)\*\*\*\*の場合

左内側板 内側



左内側板 外側 案内ローラー



※MNT1(5)A1 - B120(90)UDA、MNT1(5)F - 120(90)UDAの場合のみ、スライドボードレールと引出  
しレールがつきます。

## ユニット本体の組立て

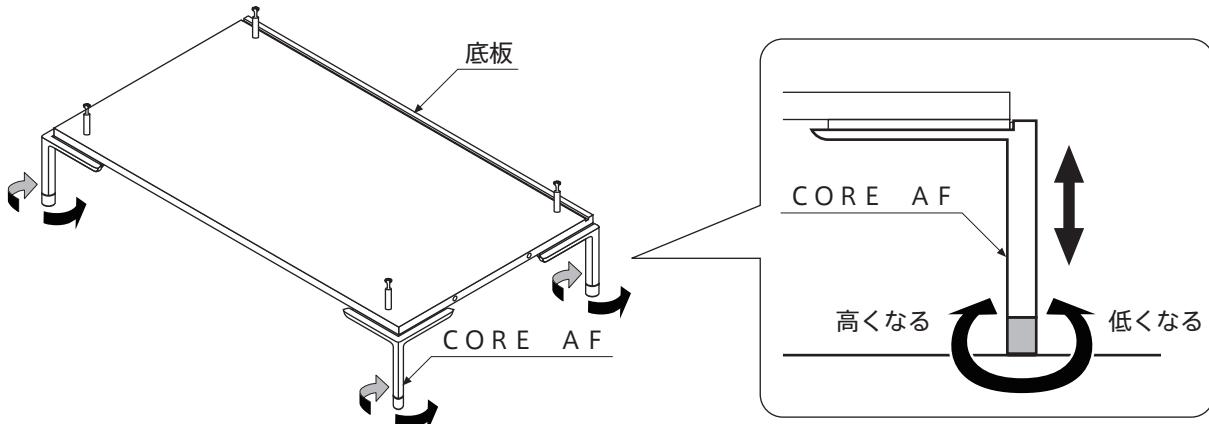
### ■ レベル調整

- 底板を設置する床面に置き、前後・左右のレベルをしっかり出してください。

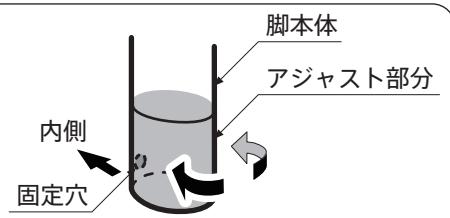
#### 【MNS(T)1(5)A1 - B120(90)\*\*\*\*の場合】

- CORE AF先端のアジャスト部分を回して調整します。

※調整範囲 -0 ~ +10 mm



- アジャスト部分の固定穴が見えないように内側へ向けてください。
- 脚本体とアジャスト部分の形状が揃うように調整してください。



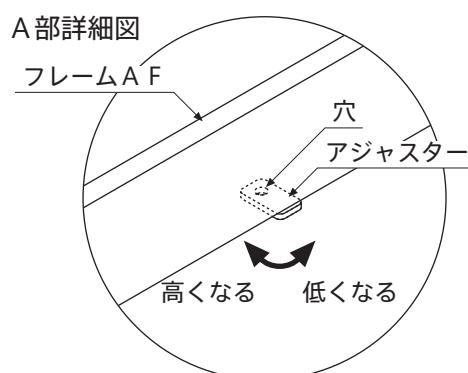
#### 【MNS(T)1(5)F - 120(90)\*\*\*\*の場合】

- フレームAFのアジャスター、プレートアジャスターを回して調整します。

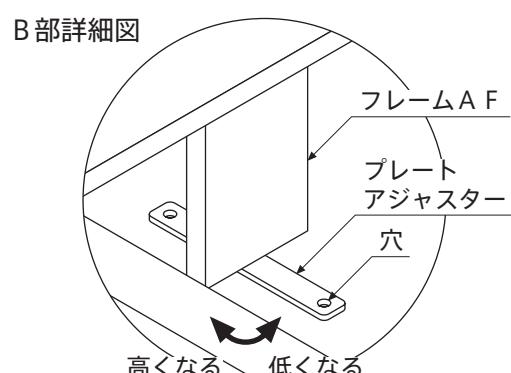
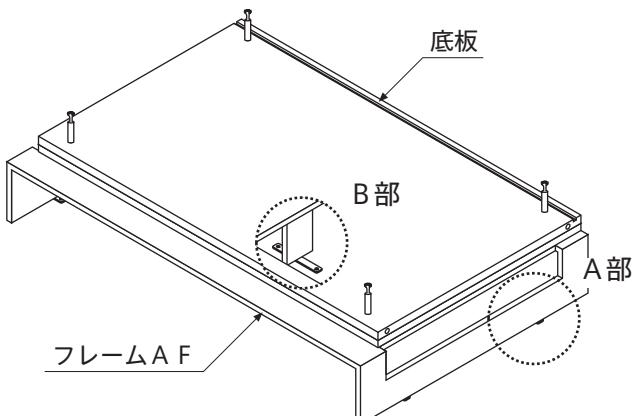
※プレートアジャスターは床に接していない方が調整しやすくなります。

※プレートアジャスターは間口に対して平行に、アジャスターは内側に穴がくるように調整します。

※調整範囲 -1.5 ~ +10 mm



※内側に穴がくるように調整



※間口に対して平行に穴がくるよう調整

## ■内側板、背板の取付け

- ・内側板、底板の背板ミゾに木工用ボンドを塗布してください。 (図1)  
※背板を差し込んだときに、ユニット内部へ木工用ボンドがはみ出ない程度に塗布してください。  
はみ出した木工用ボンドは、湿った布で拭き取ってください。
- ・底板に取付けたミニフィックスボルトに、左内側板下木口に開いている穴を合わせ、しっかりと差し込んでください。 (図2)  
(ミニフィックスケーシングに付いている矢印が底板側に向いているか確認してください。)
- ・左内側板と底板の背板ミゾに背板を差し込んでください。 (図3)
- ・底板に取付けたミニフィックスボルトに、右内側板下木口に開いている穴を合わせ、背板ミゾに背板を差し込みながら、右内側板をしっかりと差し込んでください。 (図4)  
(ミニフィックスケーシングに付いている矢印が底板側に向いているか確認してください。)

図1

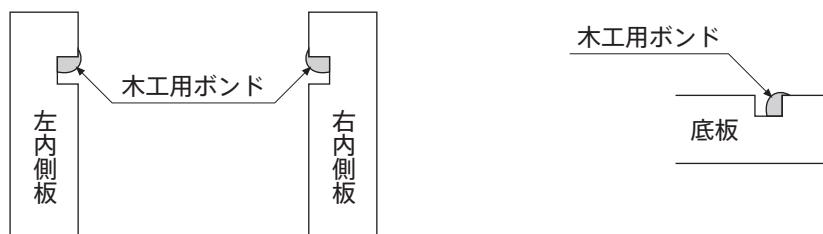
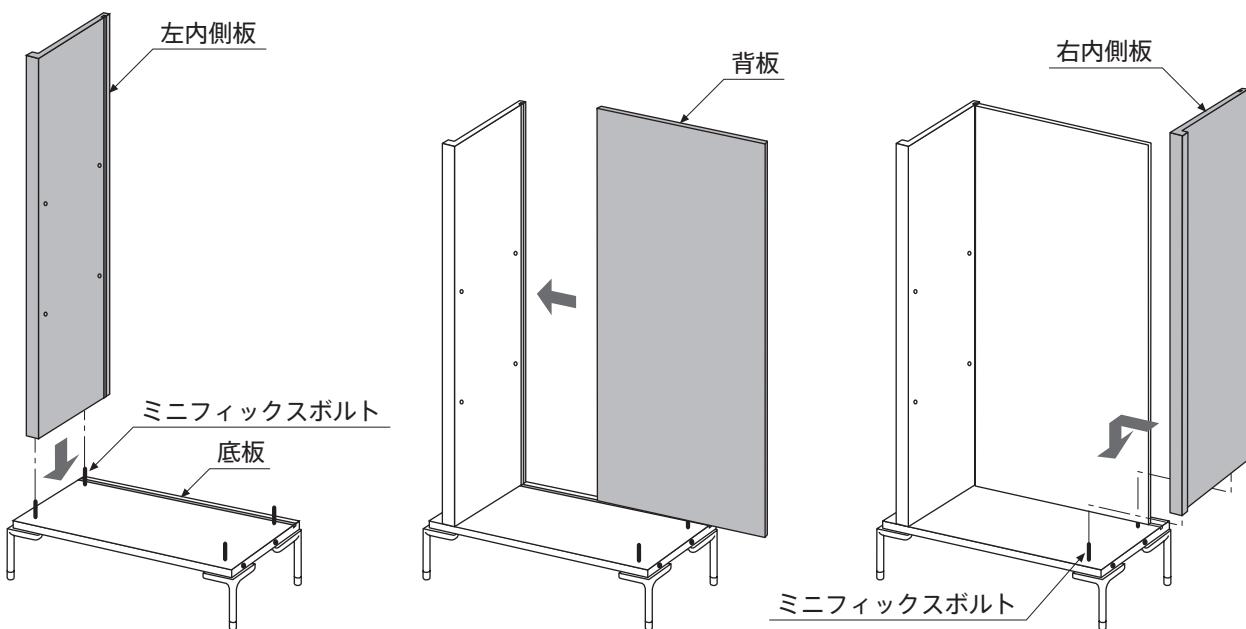


図2

図3

図4



## ■天板の取付け、内側板の固定

・天板の背板ミゾに木工用ボンドを塗布してください。 (図5)

※天板を差し込んだときに、ユニット内部へ木工用ボンドがはみ出ない程度に塗布してください。

はみ出した木工用ボンドは、湿った布で拭き取ってください。

・天板に取付けたミニフィックスボルトに、両内側板上木口に開いている穴を合わせ、背板ミゾに背板を差し込みながら、天板をしっかりと差し込んでください。 (図6)

(ミニフィックスケーシングに付いている矢印が天板側に向いているか確認してください。)

・内側板の上下各2ヶ所(左右共に)に取付けてあるミニフィックスケーシングを+ドライバー又は六角ドライバーで図7に示すように締め付けてください。(図7は左内側板の前下部分ですが、他の箇所もこれに準ずる。)

図5



図7

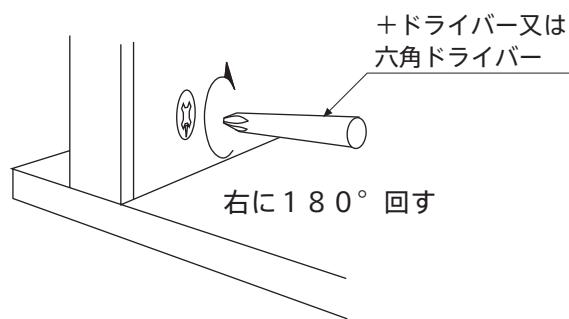
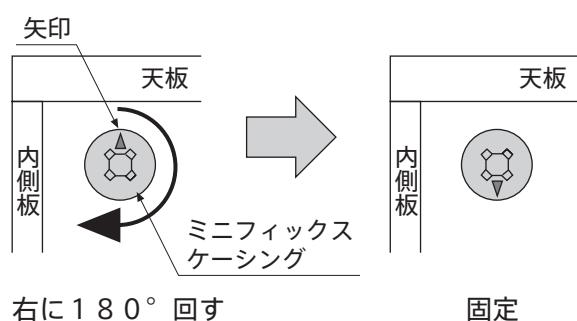
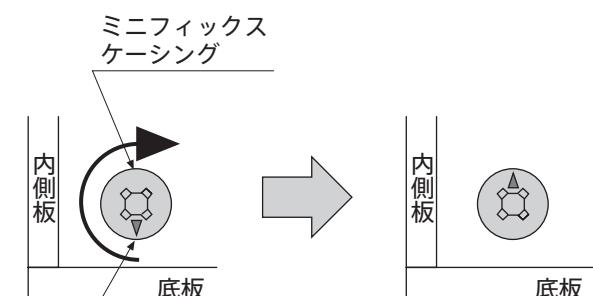
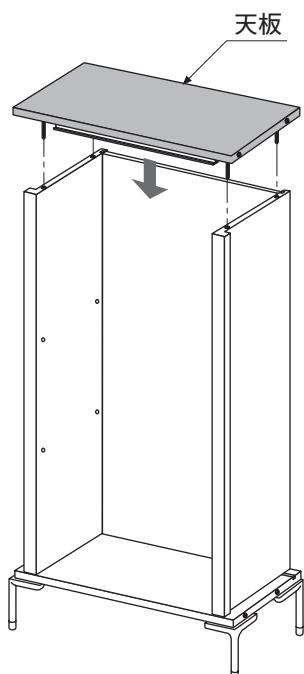


図6



## 中板の取付け

- 中板取付用のラフィックスボルトを内側板の指定位置（取付穴にはインサートナットが打ち込んであります）に取付けます。（内側板1枚につき4ヶ所）（図1）
  - 上段用の中板【樹脂レール付き】を正面からユニットに差し込み、内側板に取付けたラフィックスボルトに、中板に取付けてあるラフィックスの穴を合わせて落とし込んでください。（図2）
  - 下段用の中板も上段用と同じように取付けてください。（図3）
- MNS(T)1(5)A1 - B120(90)UDA、MNS(T)1(5)F - 120(90)UDAの場合、スライドコンセント取付穴が開いています。
- ラフィックスのネジを+ドライバーでしっかりと締め付けて固定してください。（図4）

図1

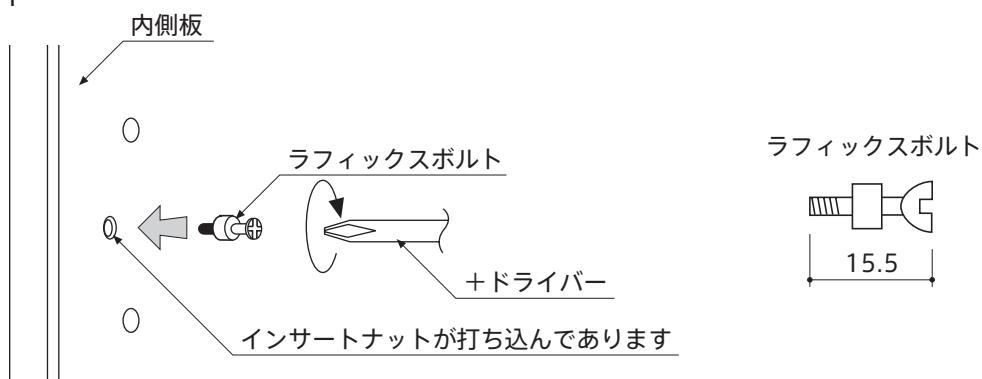


図2

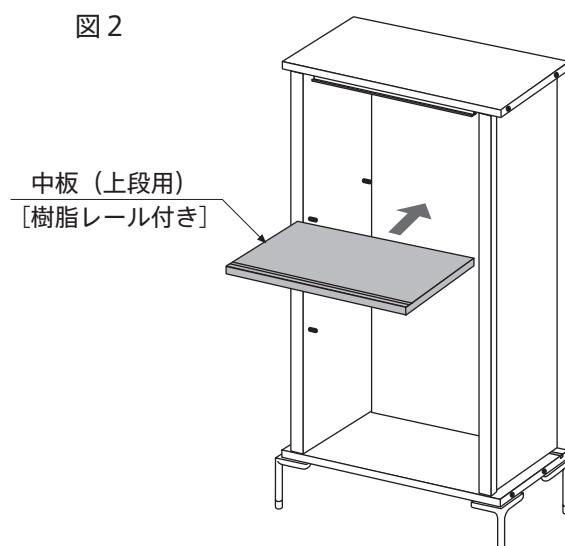
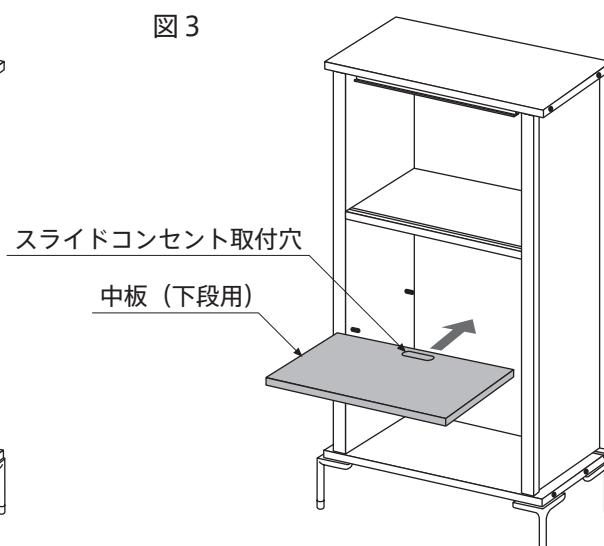
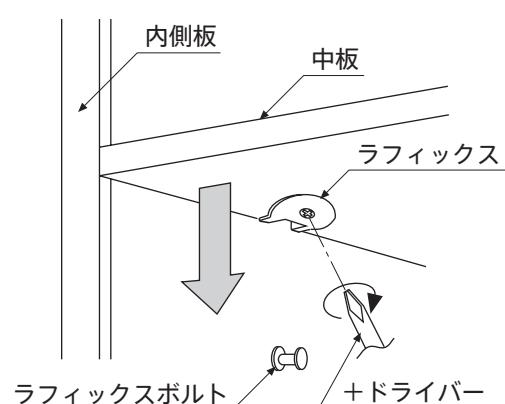


図3



※MNS(T)1(5)A1 - B120(90)UDA、  
MNS(T)1(5)F - 120(90)UDAの場合のみ、スライドコンセント取付穴  
が開いています。

図4



- 中板にはラフィックスが4ヶ所に付いています。（白い樹脂製の部品）

## スリット化粧板の取付け

### 【MNS(T)1(5)F - 120(90)UDAの場合】

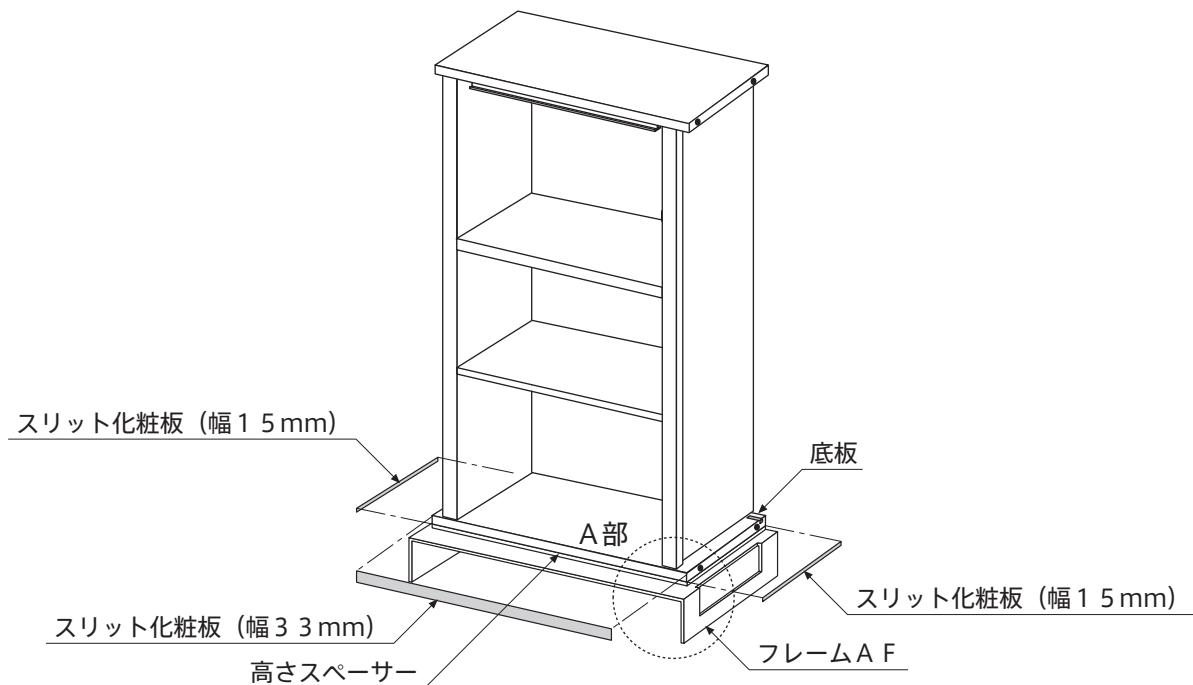
※スリット化粧板を取付ける前に、高さスペーサーの表面をきれいに拭き取ってください。

- ・スリット化粧板（幅15mm）を高さスペーサーの奥行に合わせてカットします。
- ・スリット化粧板（幅15mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、高さスペーサーの側面下端に合わせて貼り付けます。
- ・スリット化粧板（幅33mm）を高さスペーサーの間口と両側のスリット化粧板（幅15mm）の厚みを合わせたサイズにカットします。
- ・スリット化粧板（幅33mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、高さスペーサーの前面下端に合わせて、底板と高さスペーサーに貼り付けます。

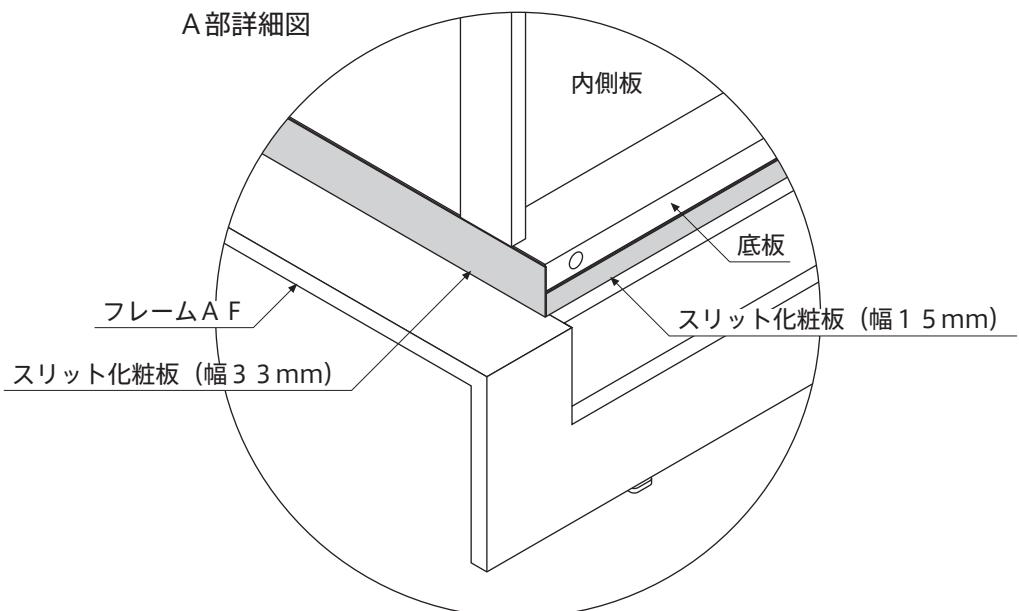
※コーナー部分は間口方向が前面にくるように合わせてください。

※一度貼ったら剥がしにくいため、しっかりと位置出しを行ってから貼り付けてください。

貼り付け後は、両面テープがしっかりと貼り付くようにスリット化粧板を押させてください。



A部詳細図



## スライドコンセントの取付け

【MNS(T)1(5)A1 - B120(90)UDA、MNS(T)1(5)F - 120(90)UDAの場合】

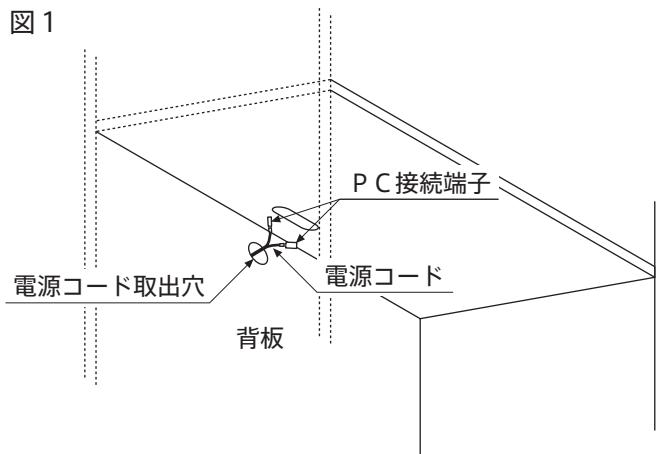


電気工事は、関連する法令・規程に従って必ず「有資格者」が行ってください。



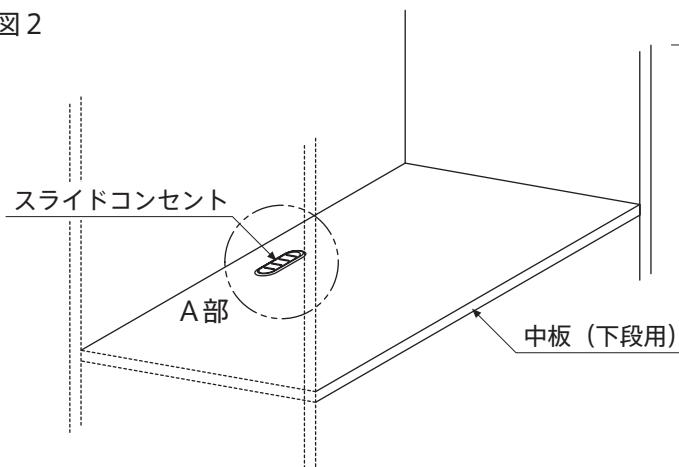
火災、感電の原因になることがあります。

図 1



- 事前に壁出ししておいた電源コードを背板の電源コード取出穴からユニット内に引き込みます。 (図1)
- スライドコンセントに付属のPC接続端子を電源コードの先に取付けます。 (図1)
- 下段用の中板のスライドコンセント取付穴にスライドコンセントを差し込みます。 (図2)
- スライドコンセントと電源コードのPC接続端子を接続します。 (図3)

図 2



A部詳細図

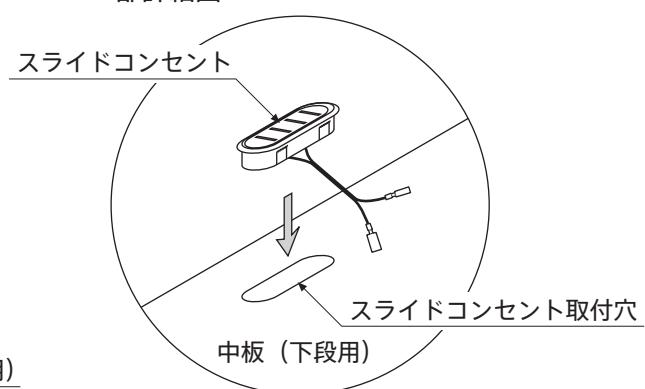
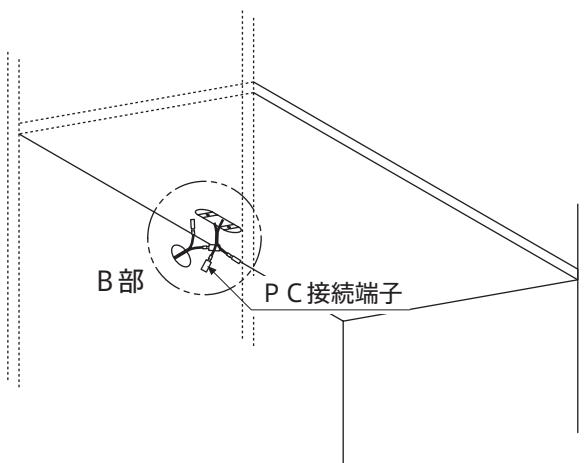
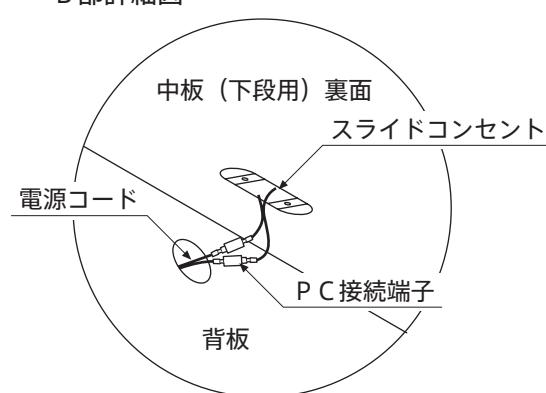


図 3

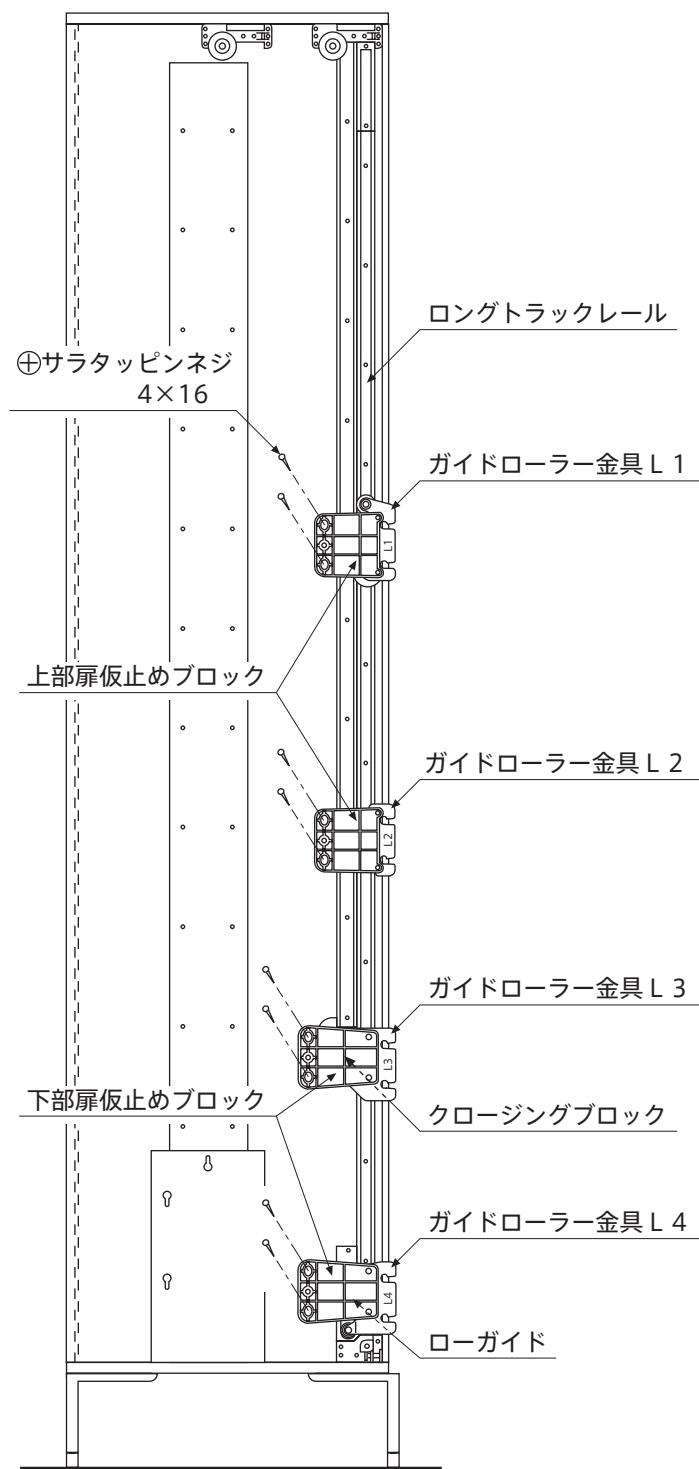


B部詳細図



## ガイドローラー金具の取付け

- ガイドローラー金具 L 1・L 2・L 3・L 4を取付けた仮止めブロックを左内側板の指定位置に④サラタッピンネジ $4 \times 16$ にて仮固定します。  
左内側板の上から順に L 1・L 2・L 3・L 4の順番で固定します。  
L 1・L 2のガイドローラー金具は、ロングトラックレールにはめ込んで仮固定します。  
L 3のガイドローラー金具は、クロージングブロックにはめ込んで仮固定します。  
L 4のガイドローラー金具は、ローガイドにはめ込んで仮固定します。
- 右内側板も左内側板と同様に、ガイドローラー金具 R 1・R 2・R 3・R 4を取付けた仮止めブロックを指定位置に④サラタッピンネジ $4 \times 16$ にて仮固定します。（詳細は、左内側板に準ずる。）



## ワイヤーの取付け

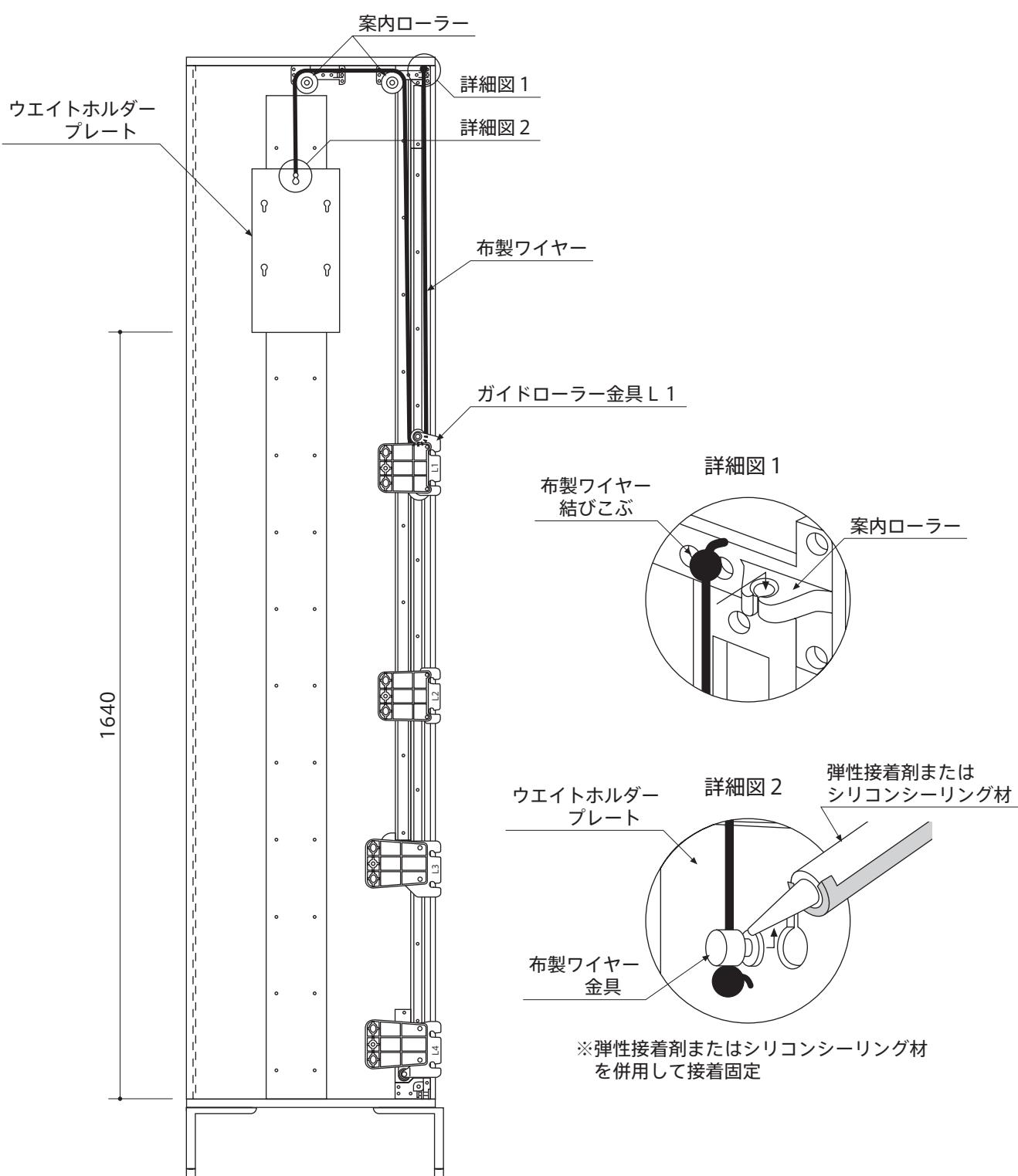
・布製ワイヤーを取付けた後、スチールワイヤーを取付けます。

### ■布製ワイヤーの取付け

・布製ワイヤーの結びこぶを案内ローラーに引っ掛けます。（詳細図1）

・布製ワイヤーをガイドローラー金具L1（R1）の上側のローラーに引っ掛けたから、案内ローラー2ヶ所に引っ掛け、仮止めしてあったウェイトホルダープレートのネジを外し、弾性接着剤またはシリコンシーリング材を併用して布製ワイヤーの金具をウェイトホルダープレートの穴に引っ掛け、接着固定します。（詳細図2）

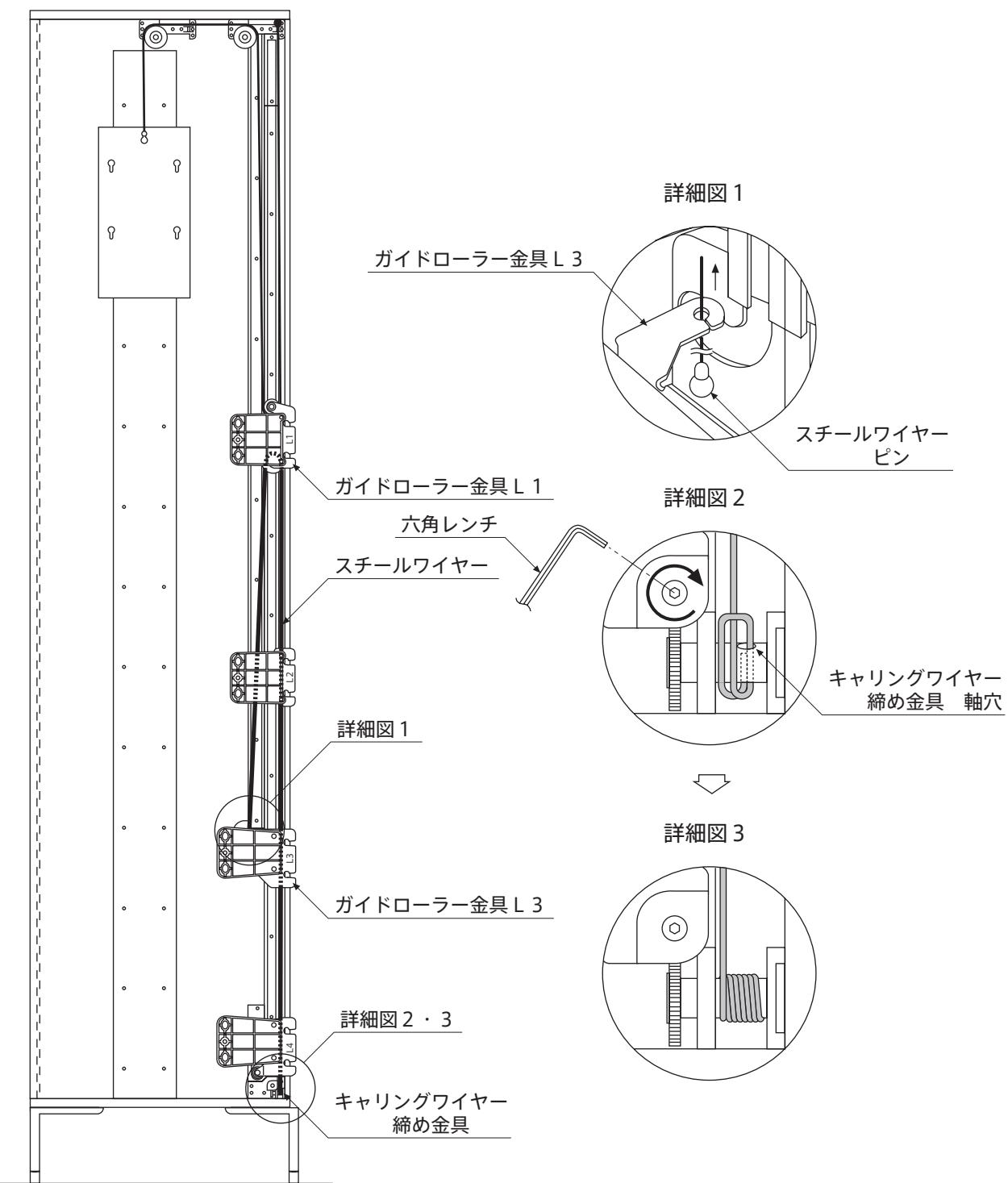
※ユニットの底板からウェイトホルダープレートの下端まで間隔を1640mm以上開けること。



※弾性接着剤またはシリコンシーリング材  
を併用して接着固定

## ■スチールワイヤーの取付け

- ・スチールワイヤーの先端（ピンがついてない方）をガイドローラー金具 L 3 (R 3) に通します。（詳細図 1）
- ・スチールワイヤーをガイドローラー金具 L 1 (R 1) の下側のローラーに引っ掛けます。
- ・スチールワイヤーをキャリングワイヤー締め金具の軸穴の下から上に通し、詳細図 2 のようにクロスさせ、先端を軸穴に差し込みます。六角レンチでスチールワイヤーを巻き取り、少し張る程度に締め付けます。（詳細図 3）  
(スチールワイヤーの調整は、仮止めブロックを取り外してから行います。)



## 上下スライド扉の取付け

- 上部扉取付金具をユニット本体に付いているガイドローラー金具 L 1・L 2、R 1・R 2 のミゾの内側にはめ込み、六角レンチで左右 4ヶ所ずつ締め付けます。（図 1・図 2・図 3・詳細図 1・詳細図 2）
- 下部扉取付金具をユニット本体に付いているガイドローラー金具 L 3・L 4、R 3・R 4 のミゾの内側にはめ込み、六角レンチで左右 4ヶ所ずつ締め付けます。（図 1・図 2・図 4・詳細図 1・詳細図 2）

図 1

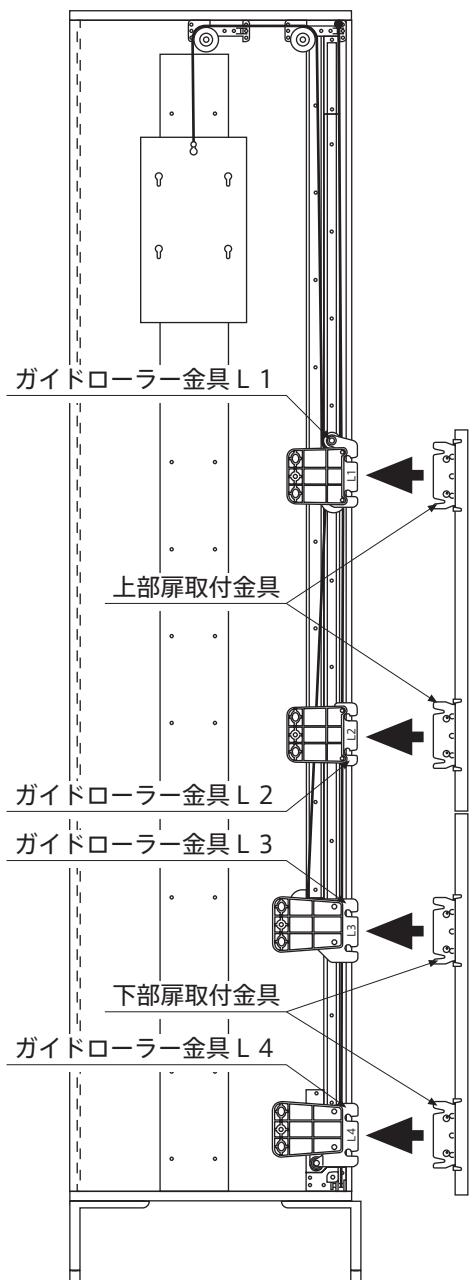


図 2

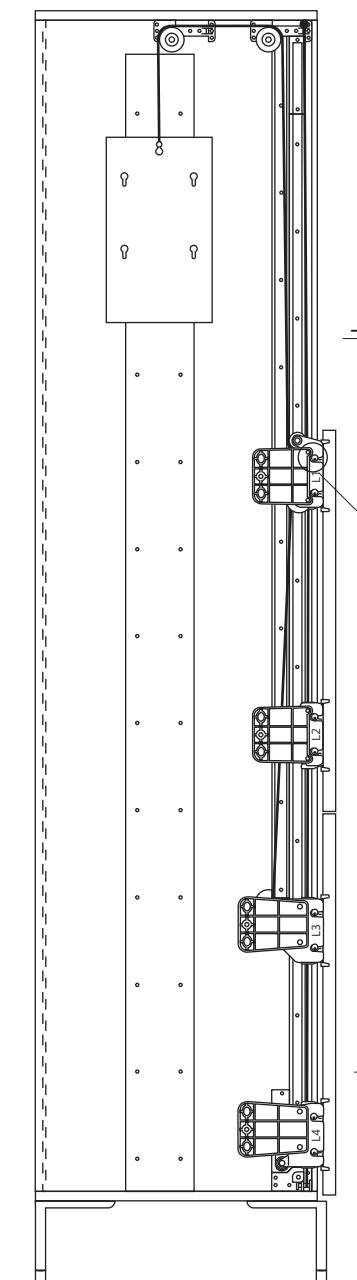


図 3

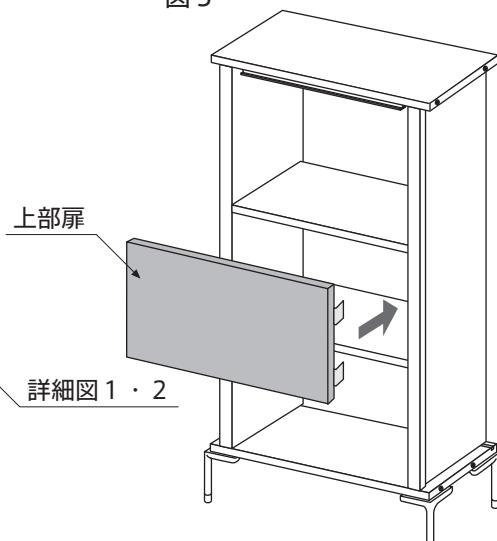
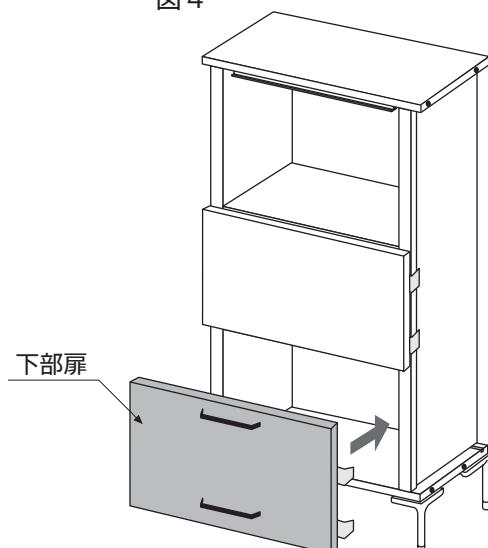


図 4



六角レンチ

詳細図 1

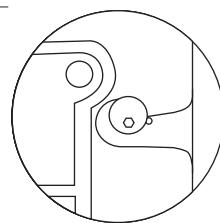
ガイドローラー金具 L 1

上部扉取付金具

右に回す

詳細図 2

固定



## 上下スライド扉の固定

・仮止めブロックを外す時は、必ず両サイドのウエイトホルダープレートにウエイトを取り外し作業を行ってください。取付けるウエイトは、4 kg（両面に⊕サラ小ネジが取付けてあるウエイト）と1 kgの1枚ずつです。（詳細図1）

※下記の扉タイプの場合は、4 kgのウエイトの代わりに、6 kg（8 kgまたは9 kg）のウエイトを取付けます。

4 kgのウエイトについている⊕サラ小ネジを取り外し、6 kg（8 kgまたは9 kg）のウエイトにつけ替えてからウエイトホルダープレートに取付けます。

・仮止めブロックを左右各2ヶ所（合計8ヶ所）取り外します。

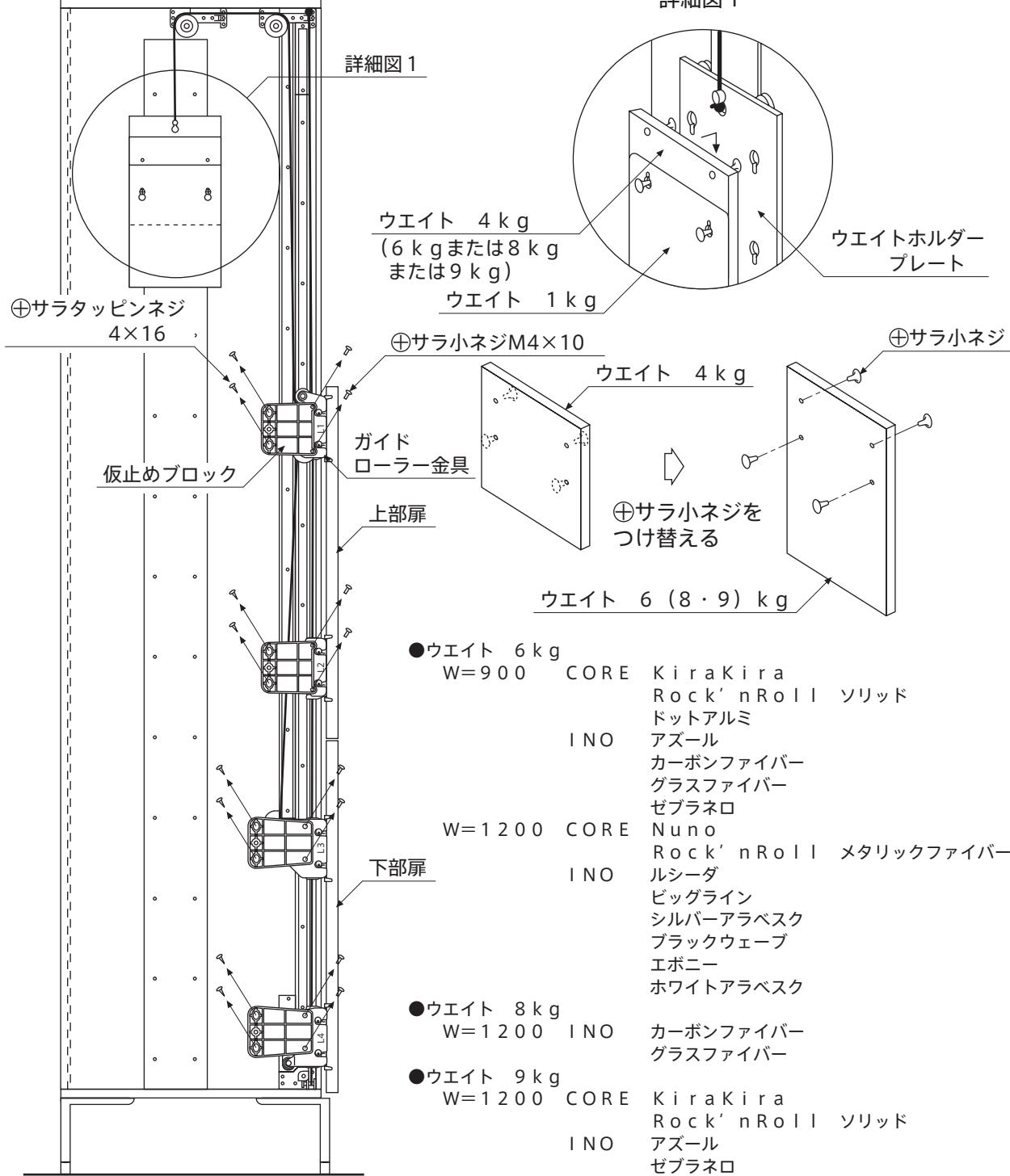
仮止めブロックとガイドローラー金具を固定してある⊕サラ小ネジM4×10を16本取り外します。

次に仮止めブロックと内側板を固定してある⊕サラタッピンネジ4×16を16本取り外します。

（仮止めブロックを取り外すと、ウエイトと上下スライド扉が自由になり、下部扉が手前に開きます。）

・全てのガイドローラー金具L1～L4、R1～R4と扉固定金具を丸頭小ネジM4各1本で締め付け、上下スライド扉を固定します。全部で8ヶ所あります。

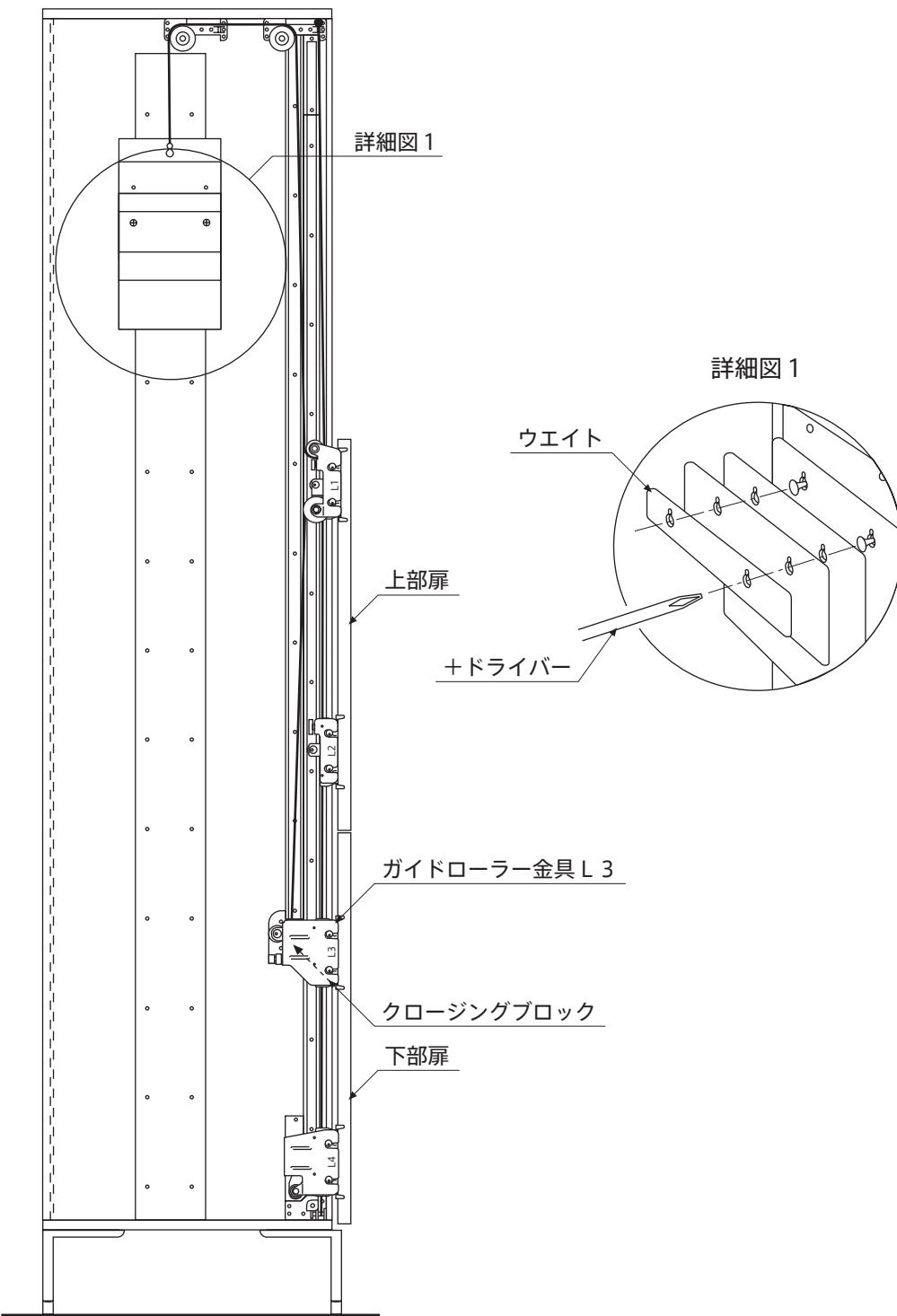
詳細図1



## 上下スライド扉の調整

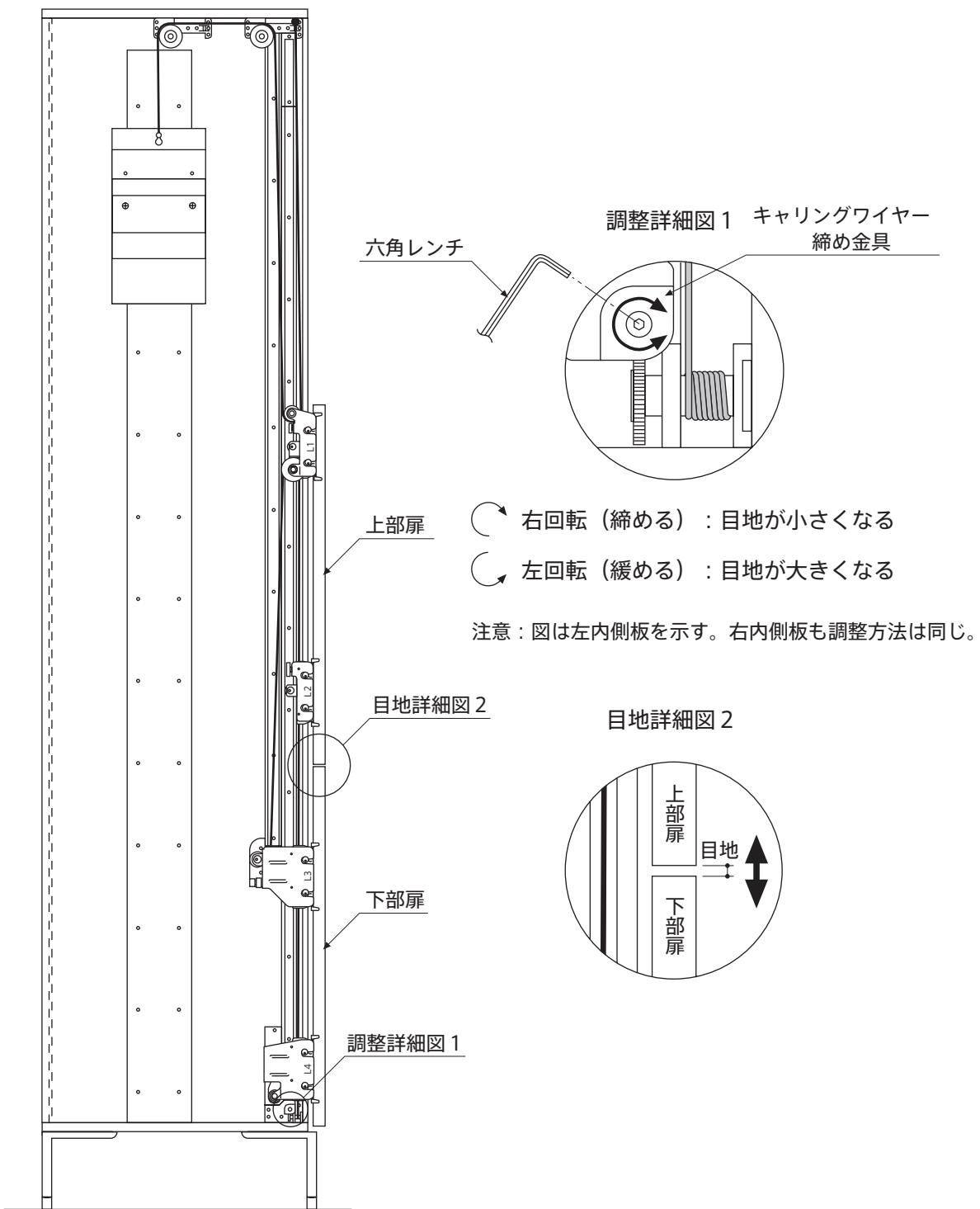
### ■上下スライド扉の開閉調整

- ・上下スライド扉の開閉調整は、両サイドのウエイトバランスによって決まります。
- ・ウエイトは、上下スライド扉の種類によって違います。
- ・ウエイトの目安としては、扉を上に開けた時、軽く持ち上がり、途中で手を離したとき、扉がゆっくり途中で止まるぐらいにウエイトを調整してください。  
(手を離した時、扉が自然に上がってしまう場合は、ウエイトが重すぎます。)  
(手を離した時、扉が下がってしまう場合は、ウエイトが軽すぎます。)
- ・扉重量とウエイトのバランスがよい場合は、扉を閉めた時に、クロージングブロックとガイドローラー金具 L3、R3が磁石でロックされ、扉はきちんと閉まりますが、ウエイトが軽い場合は、ロックされずに、下部扉の上部が手前に開いた状態になります。ウエイトを調整してください。
- ・ウエイトは、最初に吊り下げるある4 kg (6 kg または8 kg または9 kg) のウエイトから出ているネジに穴を引っ掛けるように取付け、バランスが決まったら、ウエイトが落ちないように+ドライバーで締め付けてください。(詳細図1)



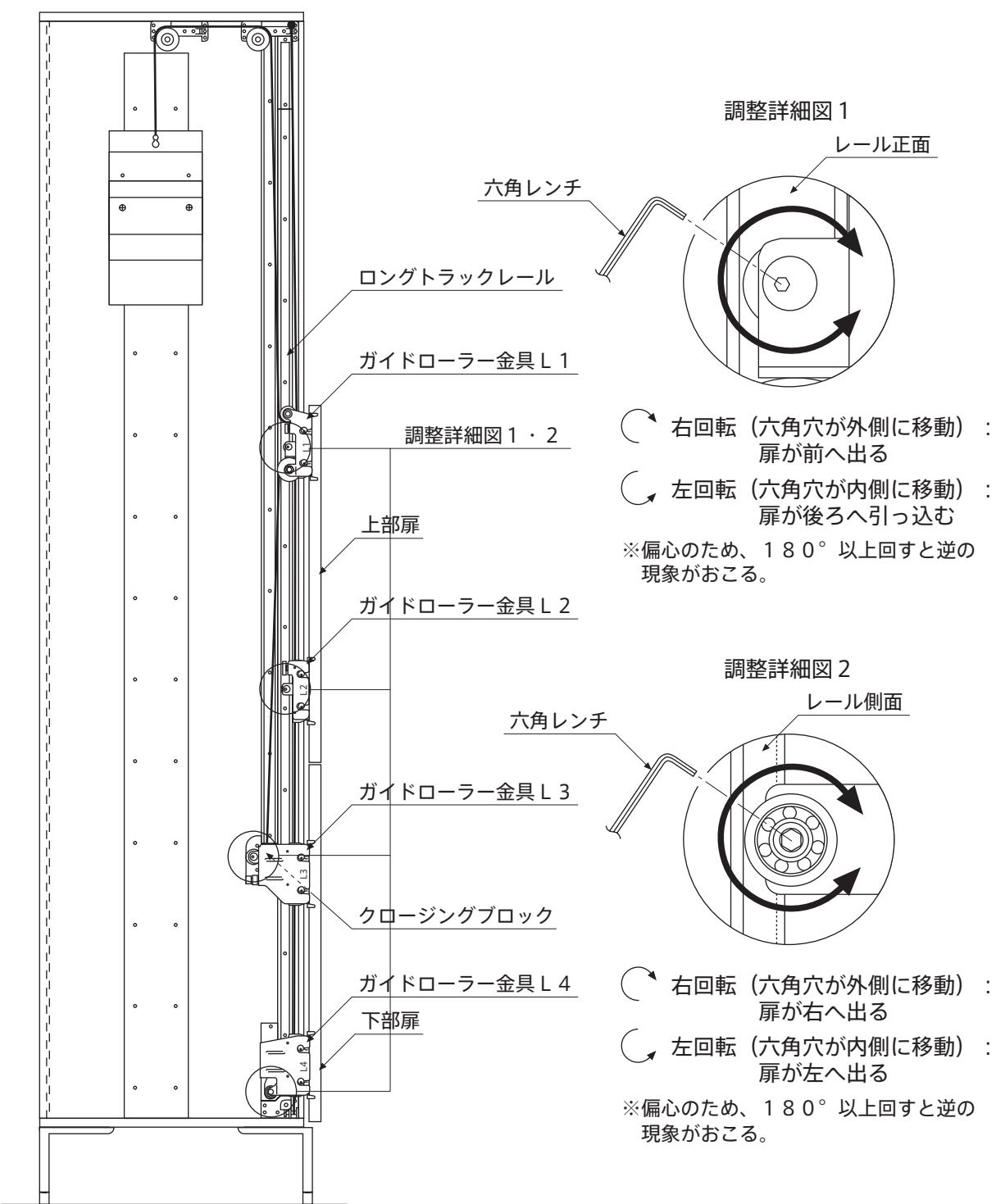
## ■上下スライド扉の目地調整

- 上下スライド扉の目地調整は、キャリングワイヤー締め金具を六角レンチで調整します。（調整詳細図1  
・目地詳細図2）
- 上部扉と下部扉の目地を小さくするには、右へ回転させます。（ワイヤーを締め付ける）
- 上部扉と下部扉の目地を大きくするには、左へ回転させます。（ワイヤーを緩める）



## ■上下スライド扉の前後・左右調整

- 上部扉の前後調整は、ガイドローラー金具 L 1・L 2、R 1・R 2 のローラー（ロングトラックレールと平行に走るローラー）を六角レンチで調整します。（調整詳細図 1）
- 上部扉の左右調整は、ガイドローラー金具 L 1・L 2、R 1・R 2 のローラー（ロングトラックレールと垂直に走るローラー）を六角レンチで調整します。（調整詳細図 2）
- 下部扉の前後調整は、ガイドローラー金具 L 3・L 4、R 3・R 4 のローラー（ロングトラックレールと平行に走るローラー）を六角レンチで調整します。（調整詳細図 1）  
(下部扉の調整時に、クロージングブロックの戸当たりが当たり、扉が後ろへ引っ込まない場合は、戸当たり部の小ネジを緩め、六角レンチで戸当たりを前後に調整します。調整後は、小ネジを締め付け、戸当たりが動かないようにします。)
- 下部扉の左右調整は、ガイドローラー金具 L 3・L 4、R 3・R 4 のローラー（ロングトラックレールと垂直に走るローラー）を六角レンチで調整します。（調整詳細図 2）



## 外側板の取付け

### 【MNT1(5)A1 - B120(90)UDAの場合】

- ・外側板に取付けたミニフィックスボルトに、天板・底板の側面木口に開いている穴を合わせ、しっかりと差し込んでください。(図1・図2)  
(天板・底板のミニフィックスケーシングについている矢印が外側板側に向いているか確認してください。)  
※外側板の下部に取付いているL金具を底板へ乗せながら差し込んでください。
- ・天板・底板に取付けてあるミニフィックスケーシングを+ドライバー又は六角ドライバーで図3に示すように締め付けてください。(図3は天板の左前部分ですが、他の箇所もこれに準ずる。)  
※MNT1(5)A1 - B120(90)\*\*\*\*の場合、スペーサーは2個になります。

図1

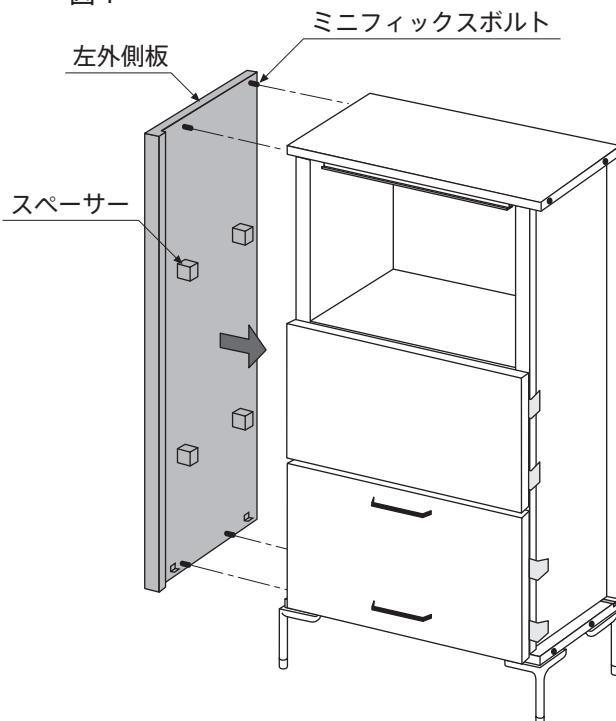


図2

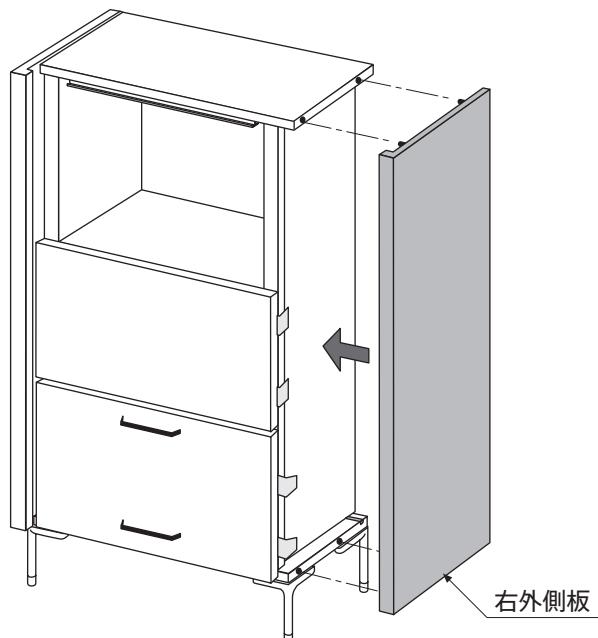
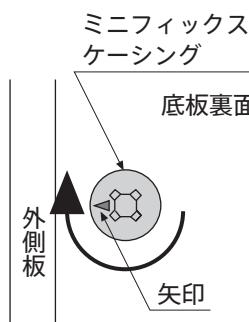
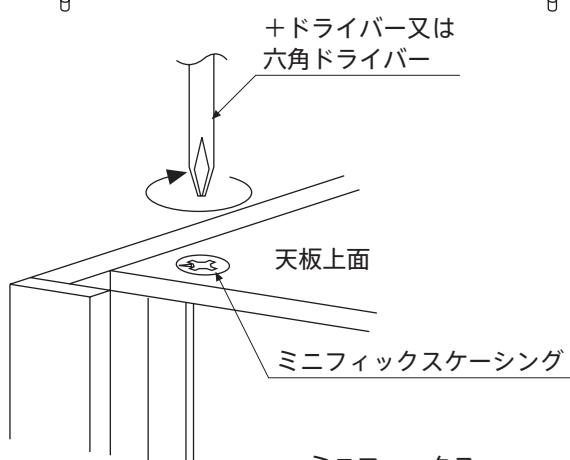
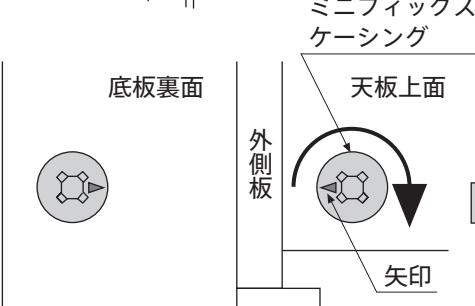


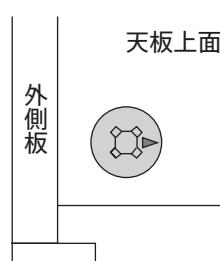
図3



右に180°回す



右に180°回す



固定

### 【MNT1(5)F - 120(90)UDAの場合】

・外側板に取付けたミニフィックスボルトに、天板・底板の側面木口に開いている穴を合わせ、しっかりと差し込んでください。（図4・図5）

（天板のミニフィックスケーシングについている矢印が外側板側に向いているか確認してください。）

・天板に取付けてあるミニフィックスケーシングを+ドライバー又は六角ドライバーで図6に示すように締め付けてください。（図6は天板の左前部分ですが、他の箇所もこれに準ずる。）

※底板にはミニフィックスケーシングはありません。

※MNT1(5)F - 120(90)\*\*\*\*の場合、スペーサーは3個になります。

図4

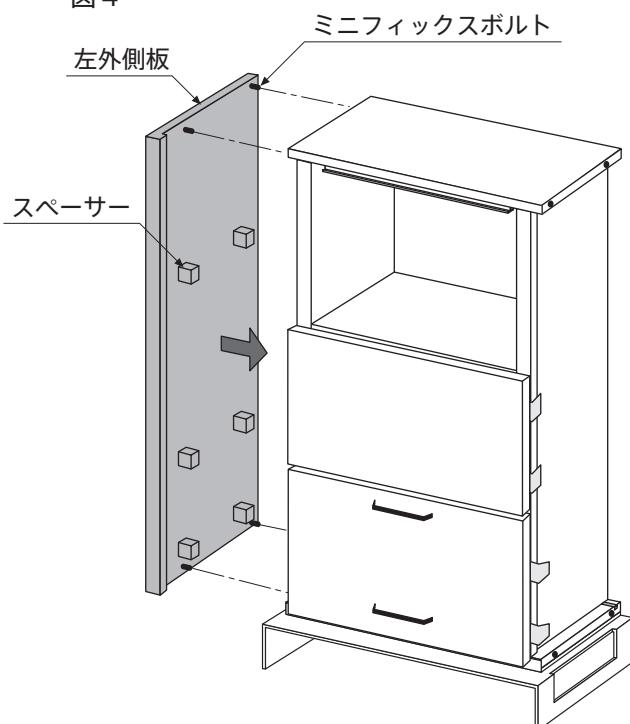


図5

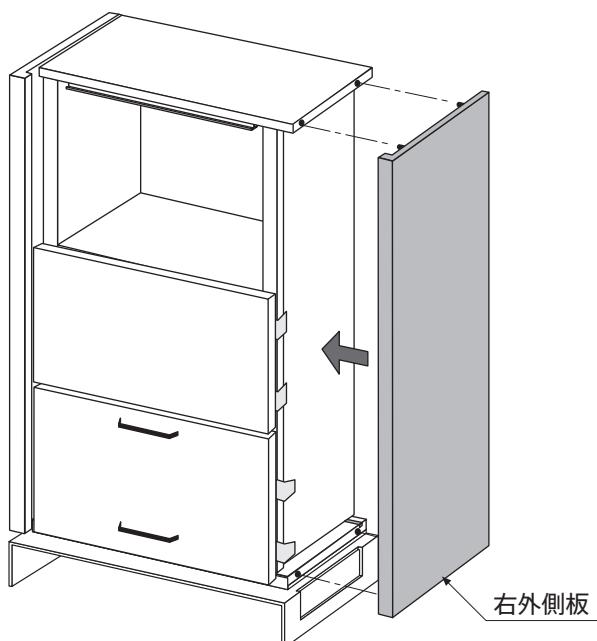
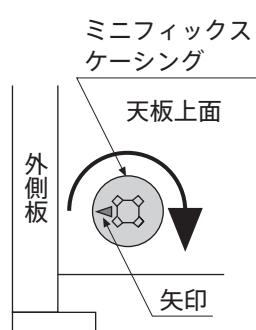
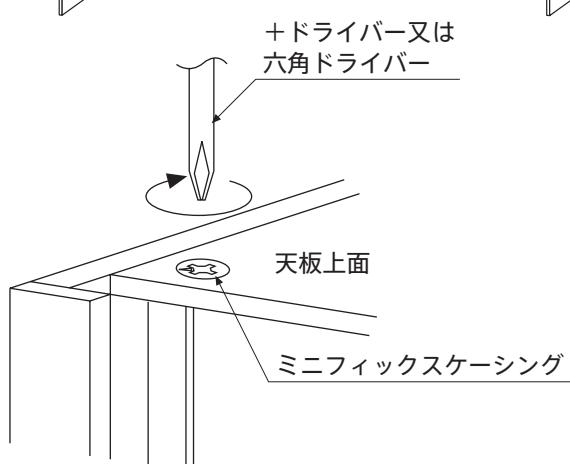


図6



右に180°回す

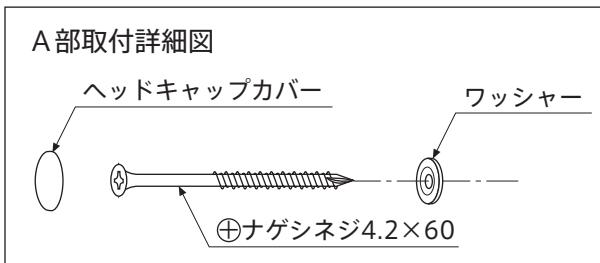
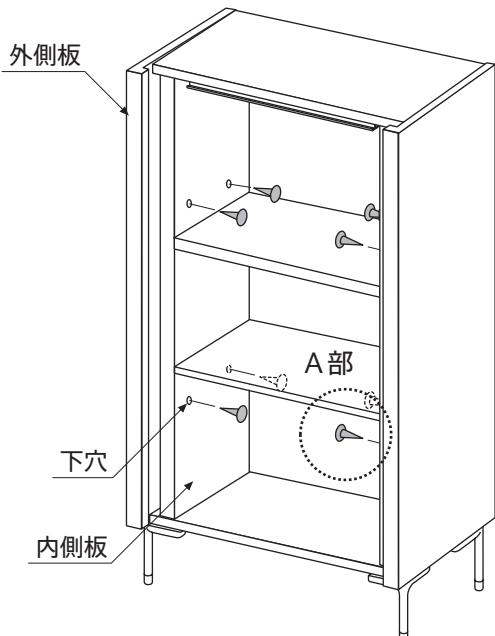
固定

## 外側板の固定

### 【MNS(T)1(5)A1 - B120(90)UDAの場合】

- 外側板を固定する時は、内側板に開いている下穴より、 $\oplus$ ナゲシネジ4. 2×60にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

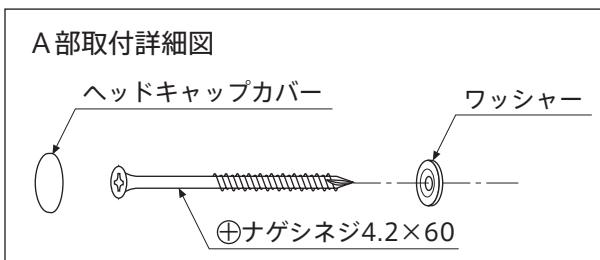
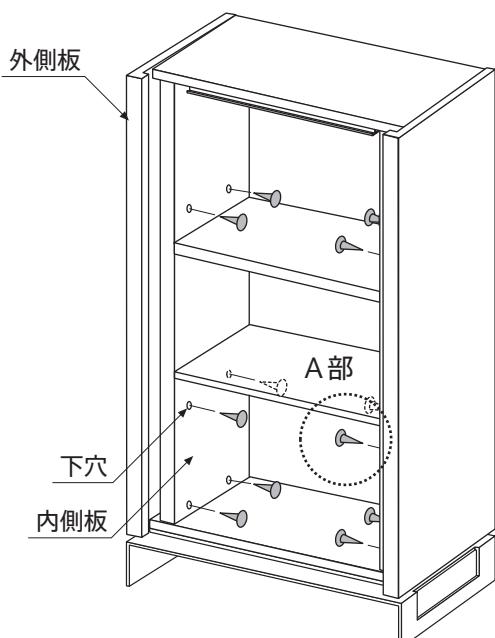
\*MNS1(5)A1 - B120(90)\*\*\*\*の場合は4ヶ所、MNT1(5)A1 - B120(90)\*\*\*\*の場合は2ヶ所固定します。



### 【MNS(T)1(5)F - 120(90)UDAの場合】

- 外側板を固定する時は、内側板に開いている下穴より、 $\oplus$ ナゲシネジ4. 2×60にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

\*MNS1(5)F - 120(90)\*\*\*\*の場合は6ヶ所、MNT1(5)F - 120(90)\*\*\*\*の場合は3ヶ所固定します。



## ユニット本体の固定



ワインクの取付・設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。



転倒して、ケガをする恐れがあります。

※ユニット本体を固定する前に、ユニット本体のレベル調整を必ず行ってください。

- ・ユニット内側から図1に示す位置にΦ4.6～Φ5.0下穴を開け、 $\oplus$ ナゲシネジ4.2×60にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。（図2）

取付・設置について

図1

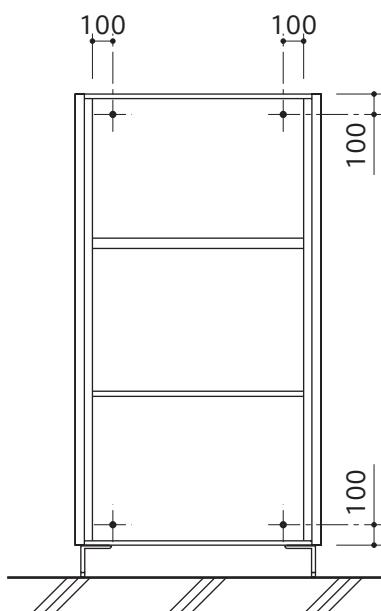
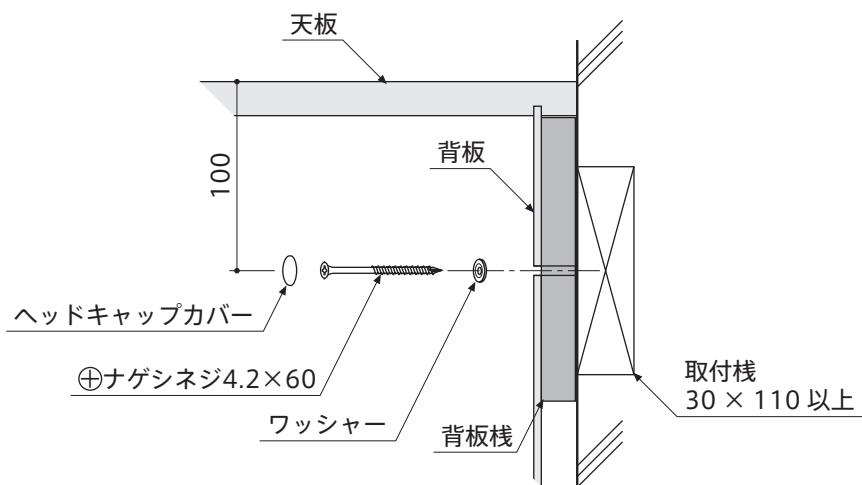


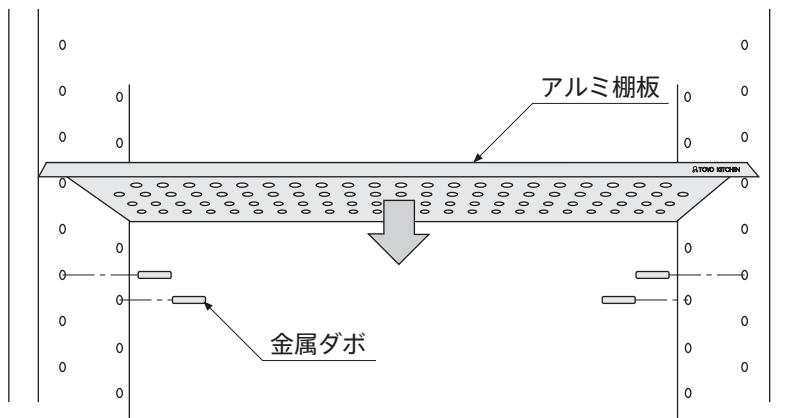
図2



## アルミ棚板の取付け

### 【MNS(T)1(5)A1 - B120(90)UDA、MNS(T)1(5)F - 120(90)UDAの場合】

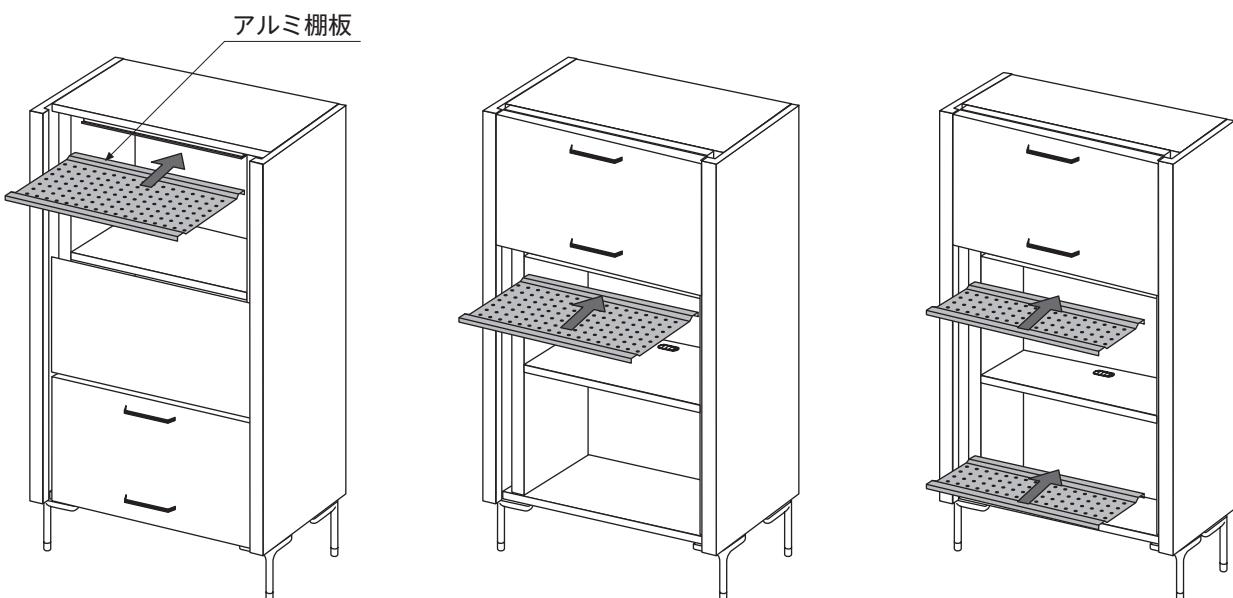
- ・内側板の任意の穴位置に金属ダボを差し込んでください。
- ・アルミ棚板を金属ダボに乗せてください。
- ・アルミ棚板は自由に移動できますので、使用用途に合わせてお使いください。



取付・設置について

●MNS1(5)A1 - B120(90)UDA、  
MNS1(5)F - 120(90)UDAの場合

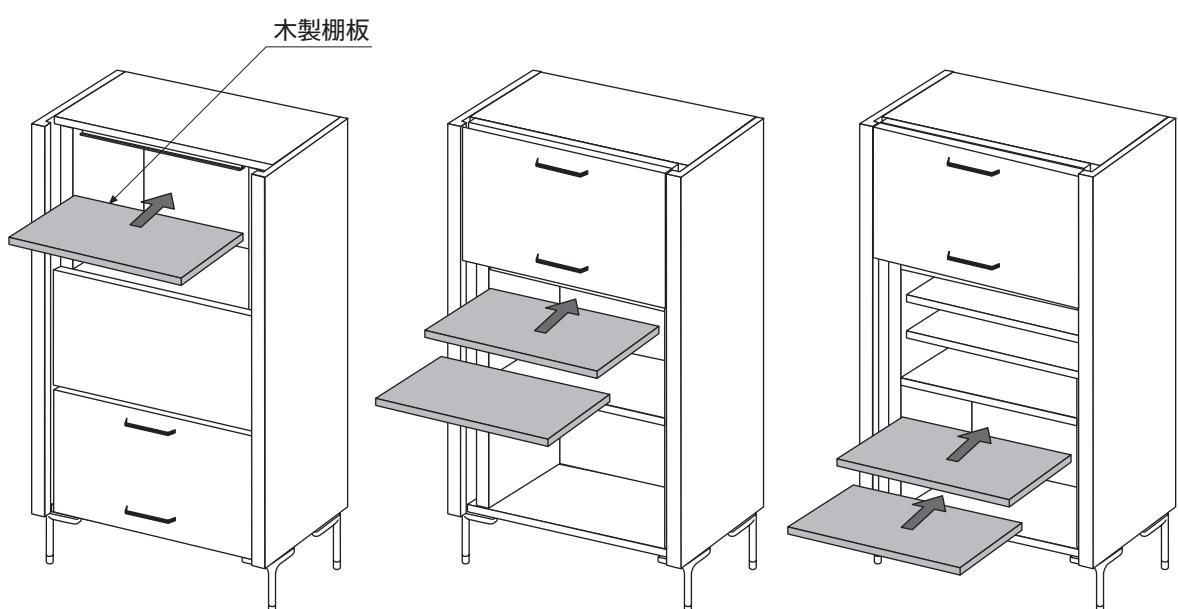
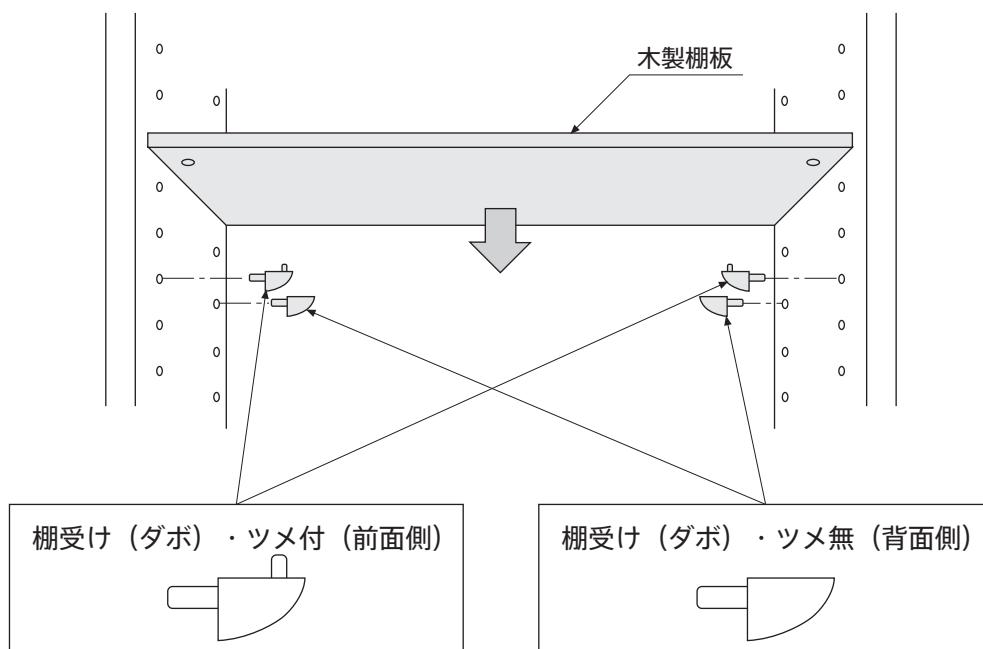
●MNT1(5)A1 - B120(90)UDA、  
MNT1(5)F - 120(90)UDAの場合



## 木製棚板の取付け

### 【MNS(T)1(5)A1 - B120(90)TUDA、MNS(T)1(5)F - 120(90)TUDAの場合】

- 内側板の任意の穴位置に棚受け（ダボ）を差し込んでください。  
前面側にツメ付ダボ、背面側にツメ無ダボを差し込んでください。
- 木製棚板を棚受け（ダボ）に乗せてください。
- 木製棚板は自由に移動できますので、使用用途に合わせてお使いください。



## 引出しの取付け

【MNS(T)1(5)A1 - B120(90)UDA、MNS(T)1(5)F - 120(90)UDAの場合】

### ■引出しの取付け

- ・引出しレールをいっぱいまで引出してください。（図1）
- ・引出しレールの上に引出しを乗せてください。（図2）
- ・引出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引出しレールに固定します。（図3）
- ・引出しあは下段より順番に取付けてください。

※取付け時は、引出し見付けを持たずに引出し本体を持って行ってください。

深型の引出しのみ2人で取付けを行ってください。

※MNS1(5)A1 - B120(90)UDA、MNS1(5)F - 120(90)UDAの場合は引出し3段、

MNT1(5)A1 - B120(90)UDA、MNT1(5)F - 120(90)UDAの場合は引出し1段になります。

図1

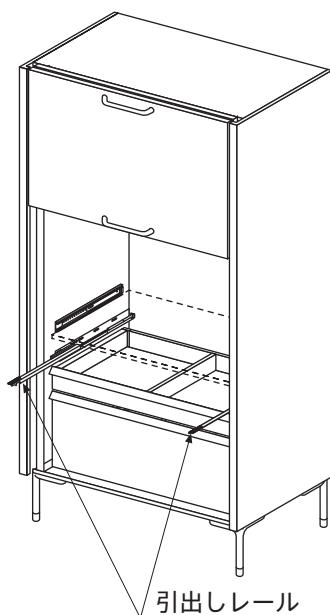


図2

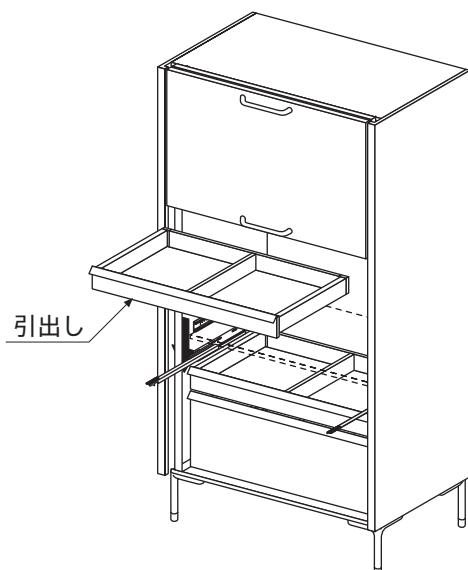
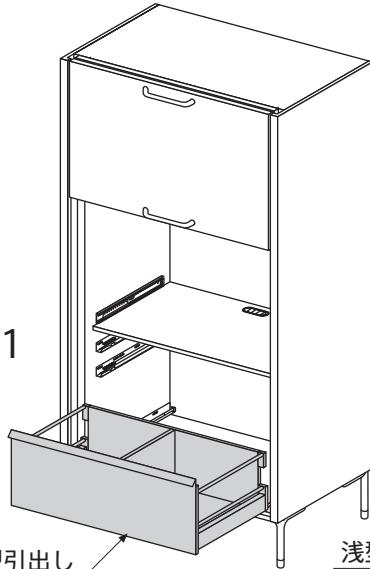
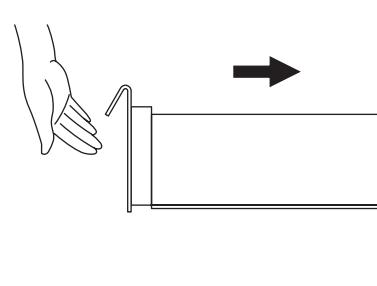
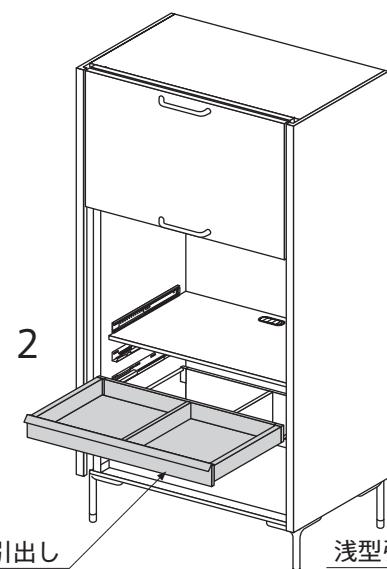


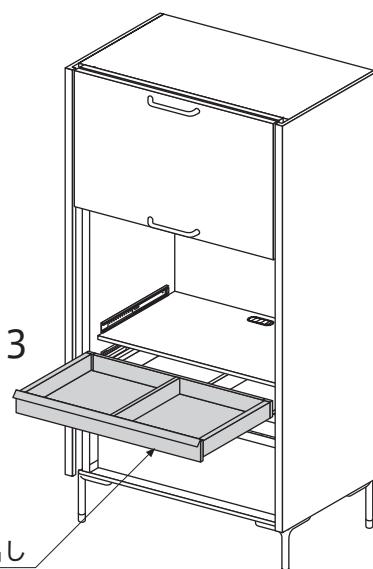
図3



1



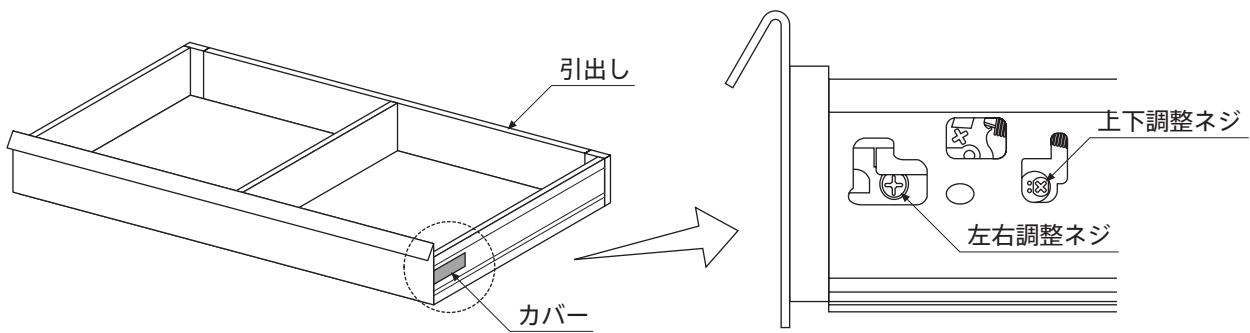
2



3

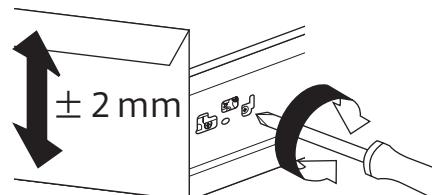
## ■引出し前板の調整

- 引出しの側板左右外側についているカバーをマイナスドライバー等で外してください。
- 調整が終わりましたら、カバーを取付けてください。



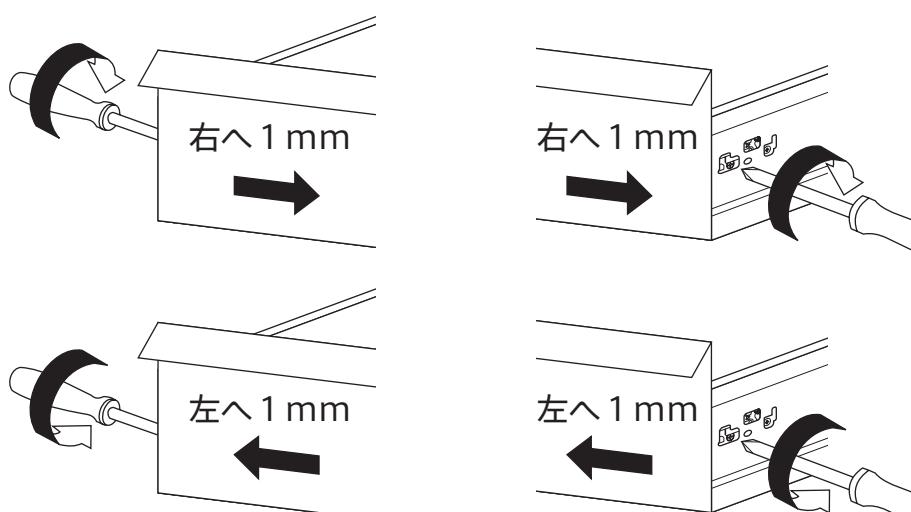
### [上下方向の調整]

- 上下調整ネジを+ドライバーで回して、引出し前板の上下方向を調整します。
- ±2 mm調整できます。



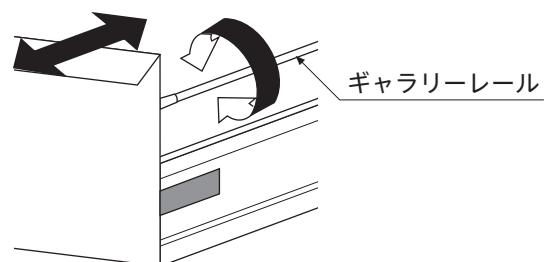
### [左右方向の調整]

- 左右調整ネジを+ドライバーで回して、引出し前板の左右方向を調整します。
- ±1 mm調整できます。



### [前板の傾き調整]

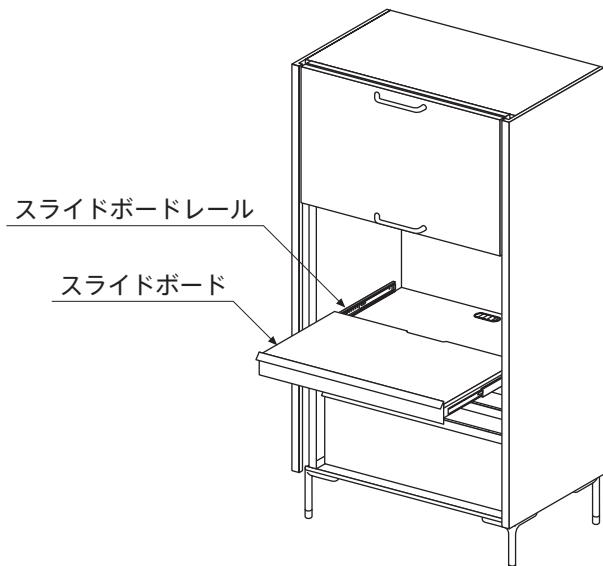
- ※MNS1(5)A1 - B120(90)UDA、  
MNS1(5)F - 120(90)UDAの引出し（深型）  
のみ調整できます。
- ギャラリーレールを回して、引出し前板の傾きを調整します。



## スライドボードの取付け

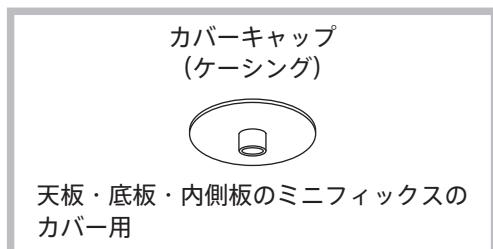
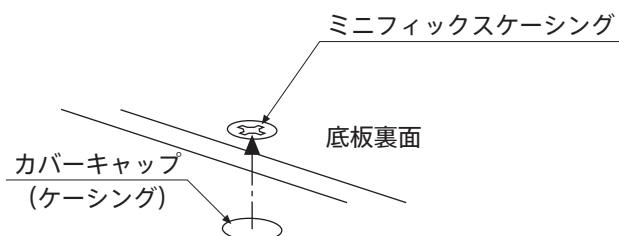
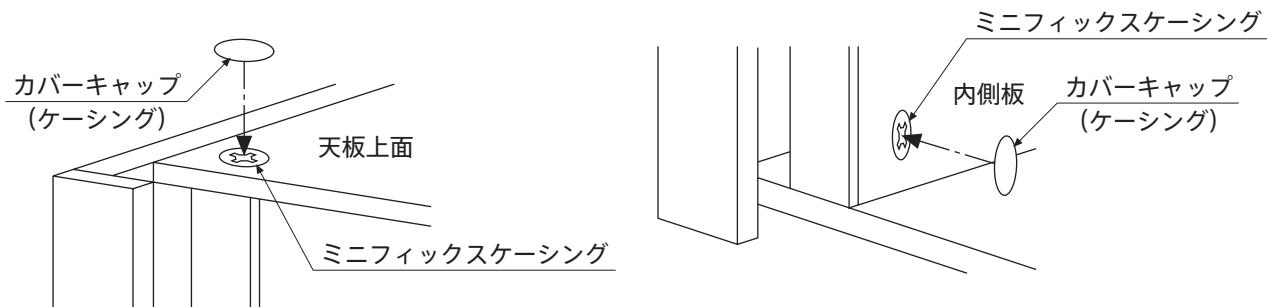
【MNS(T)1(5)A1 - B120(90)UDA、MNS(T)1(5)F - 120(90)UDAの場合】

- ユニット本体に取付いているレールに、スライドボード本体のレールを差し込むようにスライドさせて取付けてください。



## カバークリップの取付け

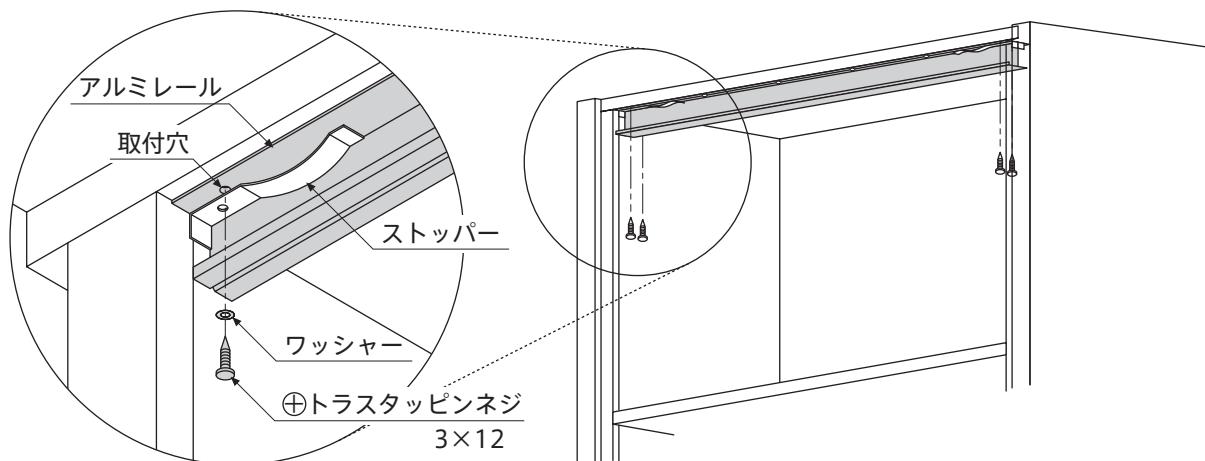
- 天板、底板、内側板のミニフィックスケーシングにカバークリップ（ケーシング）を取付けてください。  
※MNS(T)1(5)F - 120(90)\*\*\*\*の場合、底板裏面のミニフィックスケーシングはありません。



## アルミ引き戸の取付け

### ■ストッパーの固定

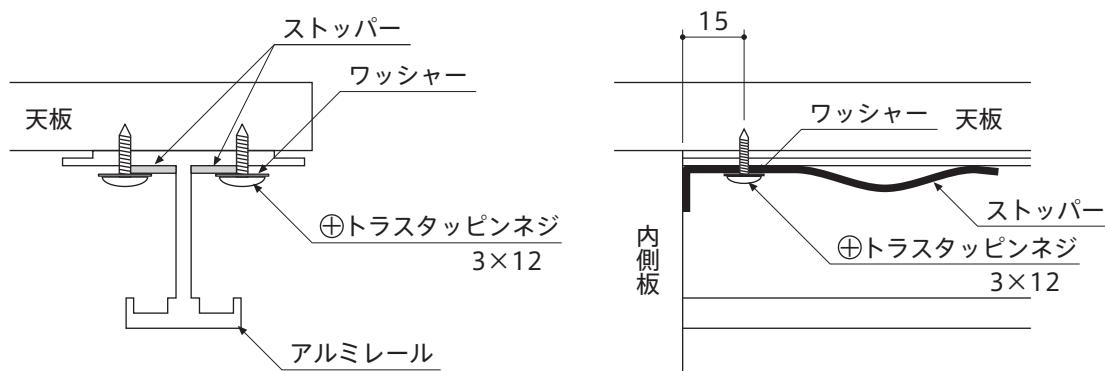
- ④トラスタッピンネジ  $3 \times 12$  にワッシャーを通して、アルミレールの取付穴を使用してストッパーを固定してください。（納まり図はストッパー取付詳細図を参照してください。）
- ※ストッパーに穴が開いていますが、使用しませんのでご注意ください。
- ※後でレールカバーを取付けるため、ネジは少しゆるめに固定してください。



ストッパー取付詳細図

側面断面図

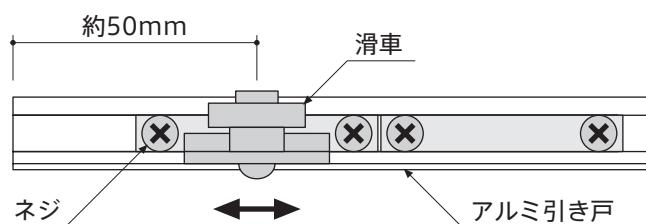
正面図



### ■左右方向の調整

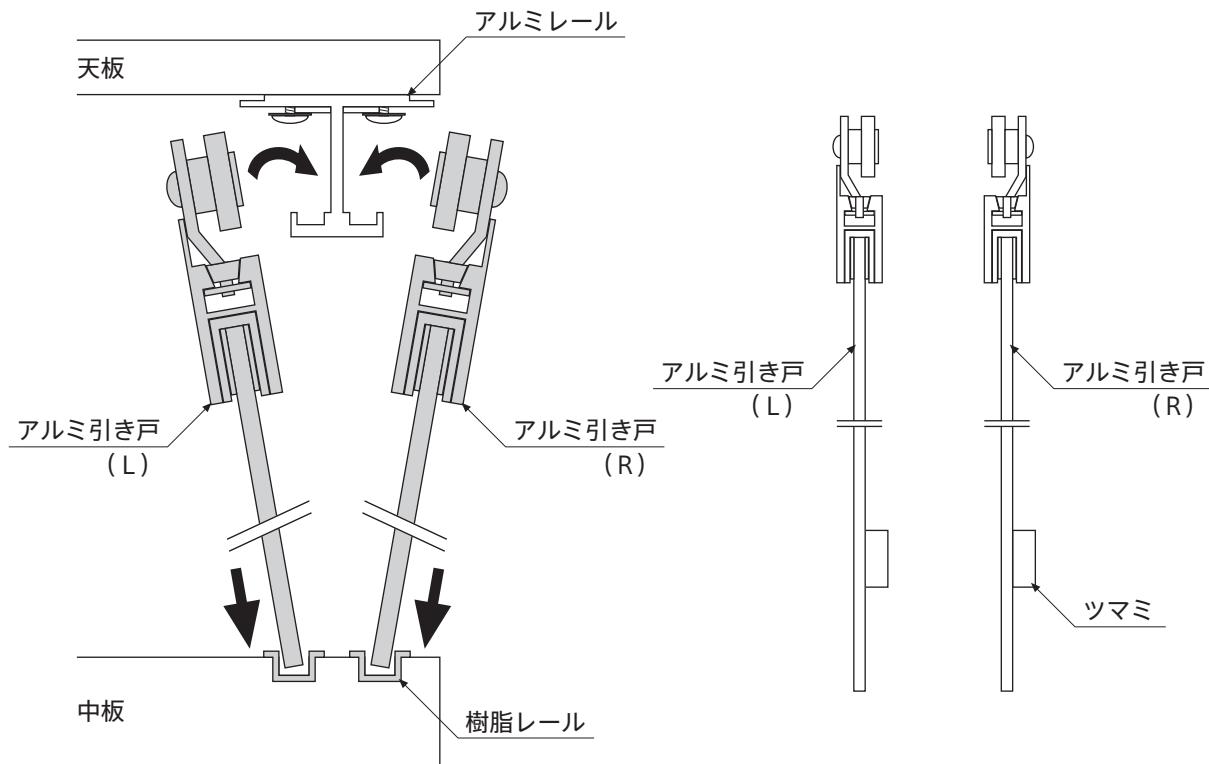
- アルミ引き戸上部の滑車の左右のネジをゆるめ、左右に移動させて調整します。
- ※滑車の位置は、「上下方向の調整」の「正面詳細図」のようにストッパーの弧の頂点に滑車の頂点が当たるようにしてください。  
(目安としては、滑車の中心がアルミ引き戸の端から約50mmの位置になります。)
- 調整が終わりましたら、ネジを締めて滑車を固定してください。

アルミ引き戸上面詳細図



## ■アルミ引き戸の取付け

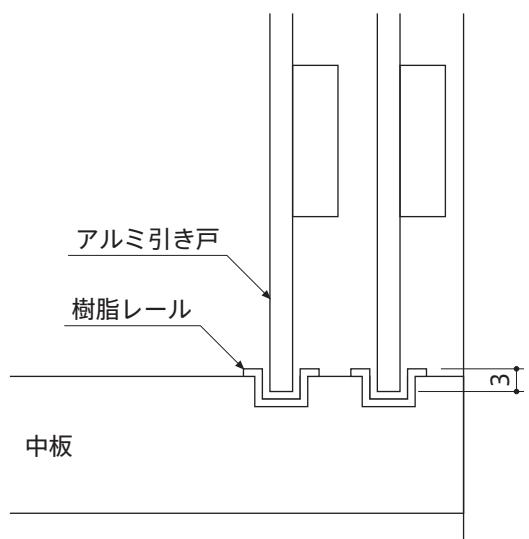
- ・アルミ引き戸（L）を中板の後ろ側の樹脂レールに差し込みながら、アルミレールに引っ掛けます。
- ・アルミ引き戸（R）を中板の前側の樹脂レールに差し込みながら、アルミレールに引っ掛けます。



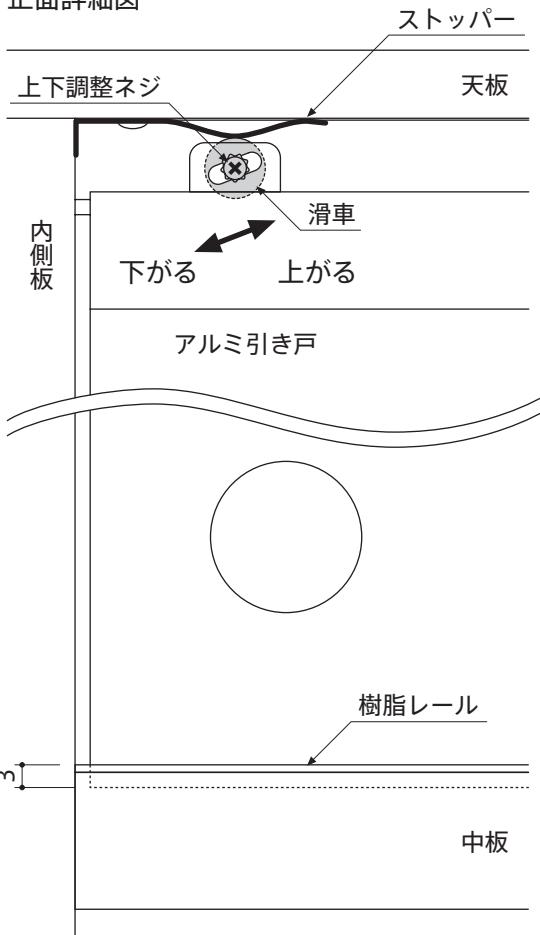
## ■上下方向の調整

- ・アルミ引き戸の滑車の上下調整ネジをゆるめます。
  - ・アルミ引き戸を斜めに移動させ、上下方向を調整します。
- ※アルミ引き戸の下面が樹脂レールに入るように調整します。
- ・調整が終わりましたら、上下調整ネジを締めてアルミ引き戸を固定してください。

側面図

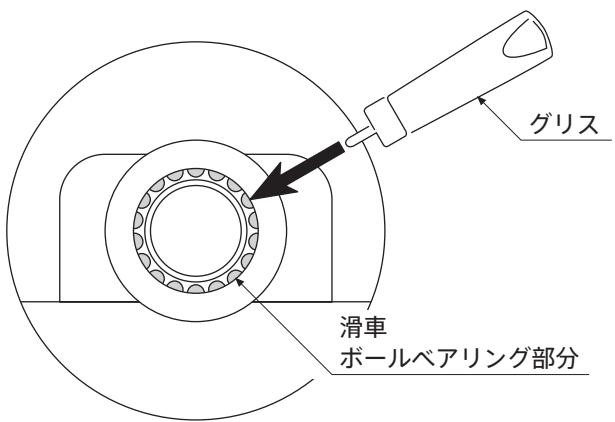


正面詳細図



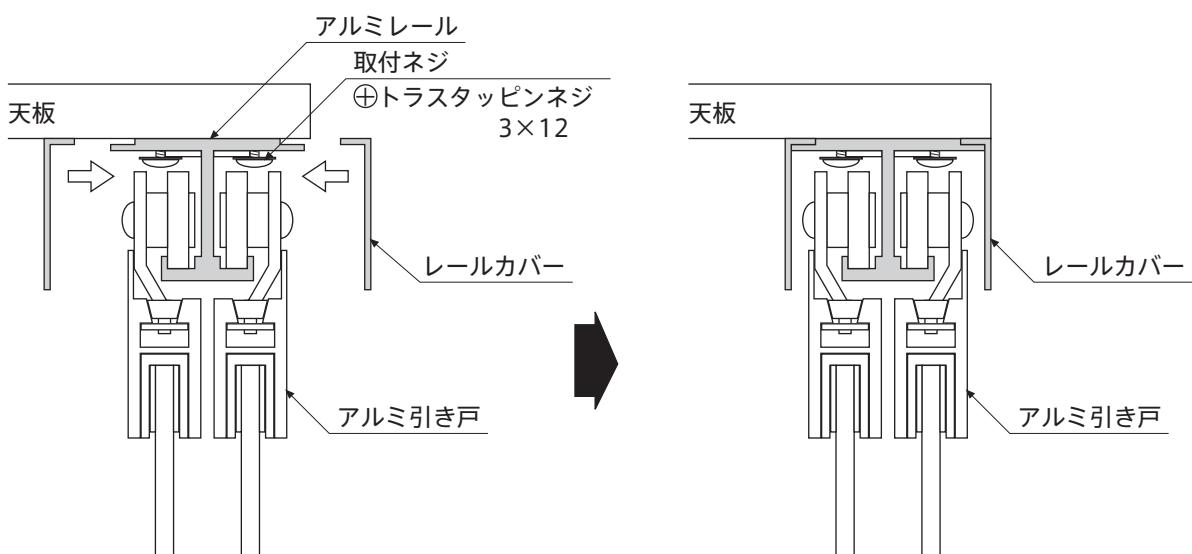
## ■滑車へのグリス塗布

- 滑車のボールベアリング部分にグリスを塗布してください。



## ■レールカバーの取付け

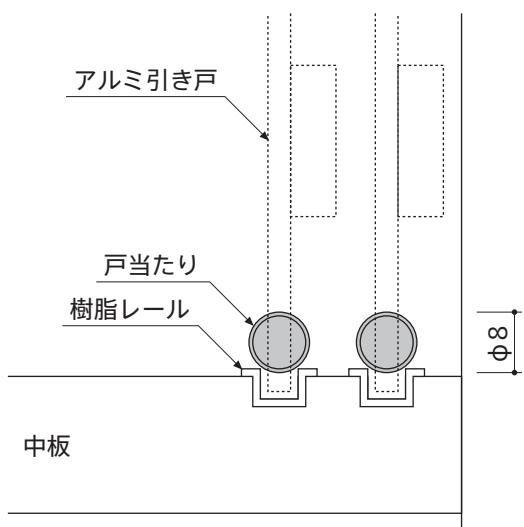
- 天板とアルミレールの切り欠き部分のすき間にレールカバーを差し込みます。
- 取付ネジ（ $\oplus$ トラスタッピンネジ  $3 \times 12$ ）をしっかりと締めてレールカバーを固定します。



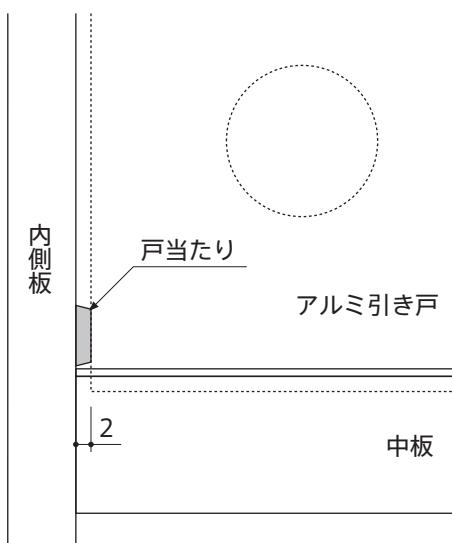
## ■戸当たりの取付け

- 樹脂レール中央のすぐ上にくるように、内側板に戸当たりを取付けます。
- 前後左右 4ヶ所取付けます。

側面図



正面図



## アース付コンセントの取付け【電気工事】

【MNS(T)1(5)A1 - B120(90)UDA、MNS(T)1(5)F - 120(90)UDAの場合】



電気工事は、関連する法令・規程に従って必ず「有資格者」が行ってください。



火災、感電の原因になることがあります。

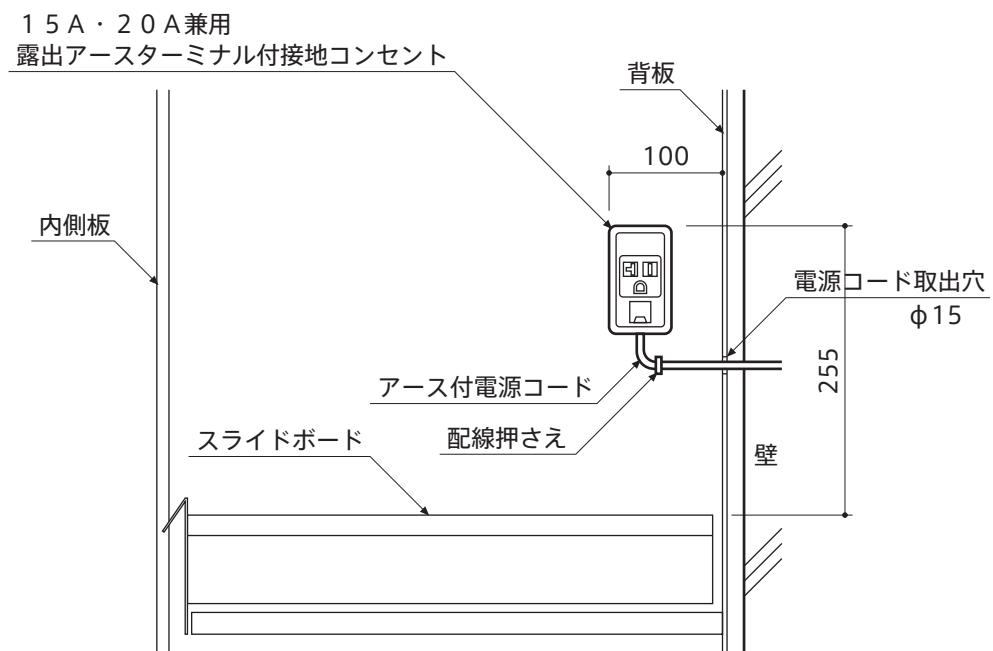
取付・設置について

※アース付家電製品をご使用になる場合は、別途アース付コンセントを設置してください。

- ・事前にコンセント取付位置付近にアース付電源コードを壁出ししておきます。
- ・コンセント取付位置付近の背板に電源コード取出用の穴Φ15を開けてください。
- ・事前に壁出ししておいた電源コードをユニット内に引き込み、内側板の指定位置（下図参照）に15A・20A兼用露出アースターミナル付接地コンセントを取付けます。
- ・電源コードのたるんでいる部分を配線押さえにて固定してください。

※イラストは、左側の内側板の場合を示しますが、左右どちらでも取付け可能です。

使用用途に合わせて取付けてください。



## 取付・設置後の確認

- ・アルミ引き戸の目地を確認してください。
- ・上下スライド扉の目地を確認してください。
- ・上下スライド扉の開閉具合を確認してください。

※上下スライド扉の取付け時に使用した仮止めブロックは、本体を分解する（上下スライド扉を外す）時に必要ですので、お客様の方で保管をお願いします。

※余ったウエイトについてもお客様の方で保管をお願いします。（上下スライド扉の開閉具合の調整が必要になった時に使用する場合があります。）

※ワインクの分解は、組立てと逆の手順で行ってください。

ただし、分解・組立ては必ず専用業者に依頼してください。

## 取付・設置後の点検・清掃

- ① 「安全上のご注意」および説明書の内容通り取付・設置されているかを点検し、異常の無いことを確かめてください。
- ② 表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いかを調べてください。

ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも	F ★★★★☆
表 示 ル ー ル	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による	
製 造 番 号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください	
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	化粧パネル（P B） 合 板 接着剤	F ★★★★☆ F ★★★★☆ F ★★★★☆

トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。  
詳しくは、[store.toyokitchen.co.jp](http://store.toyokitchen.co.jp)をご覧ください。

トヨーキッチンスタイルカスタマーサービス <https://www.toyokitchen.co.jp/ja/maintenance/>  
トヨーキッチンスタイルカスタマーサービスでは、保証期間内、経過後のメンテナンスやパーツの販売を承ります。

**お問い合わせ先**

T E L 050 - 3852 - 2392 <受付時間 平日9:00~18:00 (※土・日・祝日・夏期・年末年始は除く)>

メール [tks@toyo1.toyokitchen.co.jp](mailto:tks@toyo1.toyokitchen.co.jp)

F A X 0575 - 23 - 1262

スマートフォンからでも  
修理／メンテナンスの  
依頼ができます。

アクセスはこちらから →

